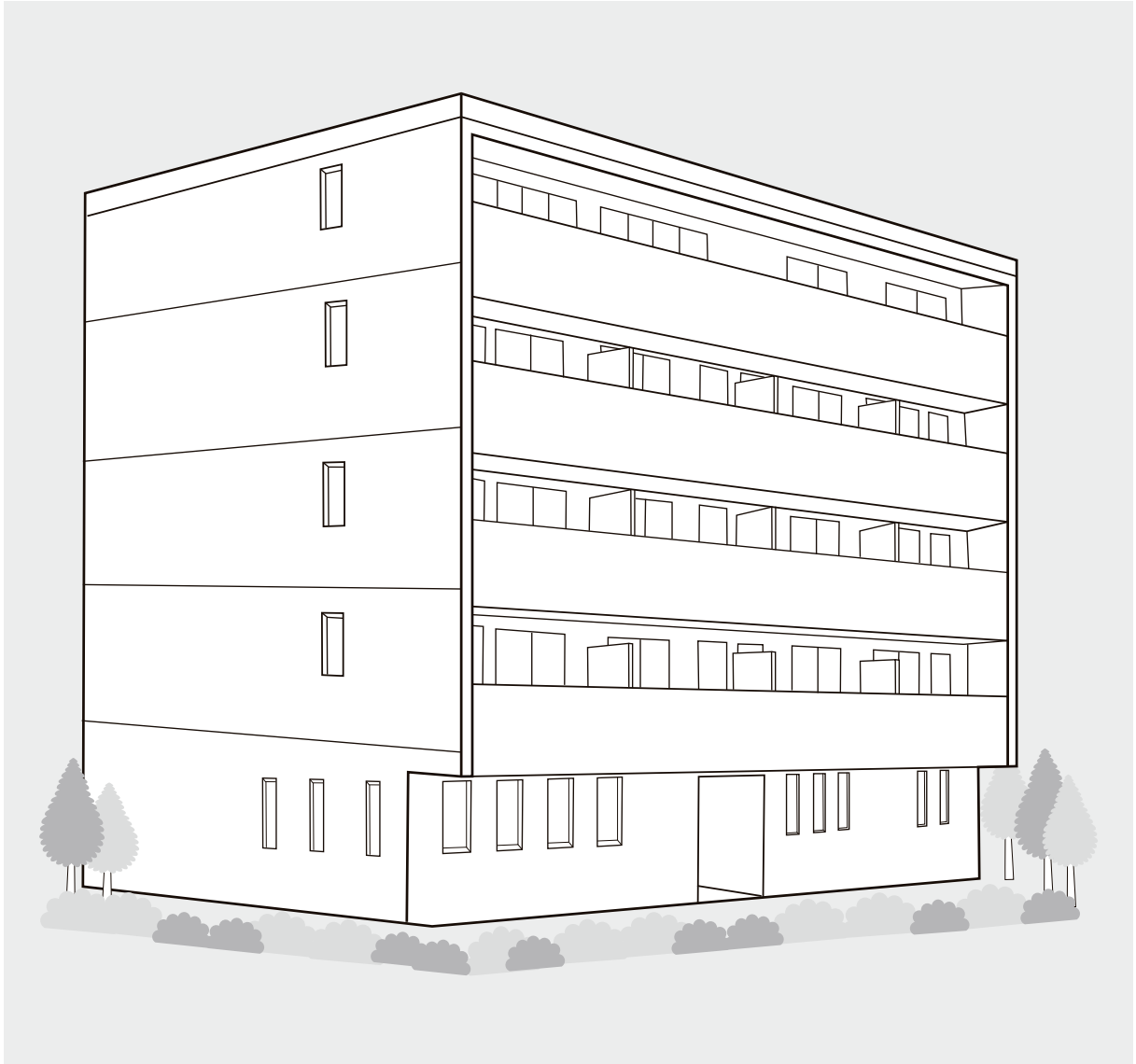


### 集合住宅用

# ビル商品取扱い説明書



#### ご使用にあたって

- この取扱い説明書を読んで理解した上で、「ビル商品」の操作およびお手入れをしてください。
- この取扱い説明書は、ご使用中に不明な点やお手入れの方法などをいつでも調べられるよう大切に保管してください。

# はじめに

このたびは、当社商品をご使用いただき誠にありがとうございます。

本書は、商品をながく安全にお使いいただくための、主なご注意・お願いおよび商品の操作・お手入れ方法をまとめたものです。

本書をよくお読みいただいた上で、当社商品をご使用いただきますようお願いいたします。

# 重要なお知らせ

ご使用の前に

- 安全のために必ずお守りください。



「ビル商品」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。なお、この取扱い説明書にしたがわず、乱用または誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、株式会社LIXILおよびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって、「ビル商品」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。

## 安全に正しくお使いいただくために

### 警告用語の種類と意味

- この「取扱い説明書」では、危険度の高さ(または事故の大きさ)にしたがって、次の3段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容(指示)にしたがってください。

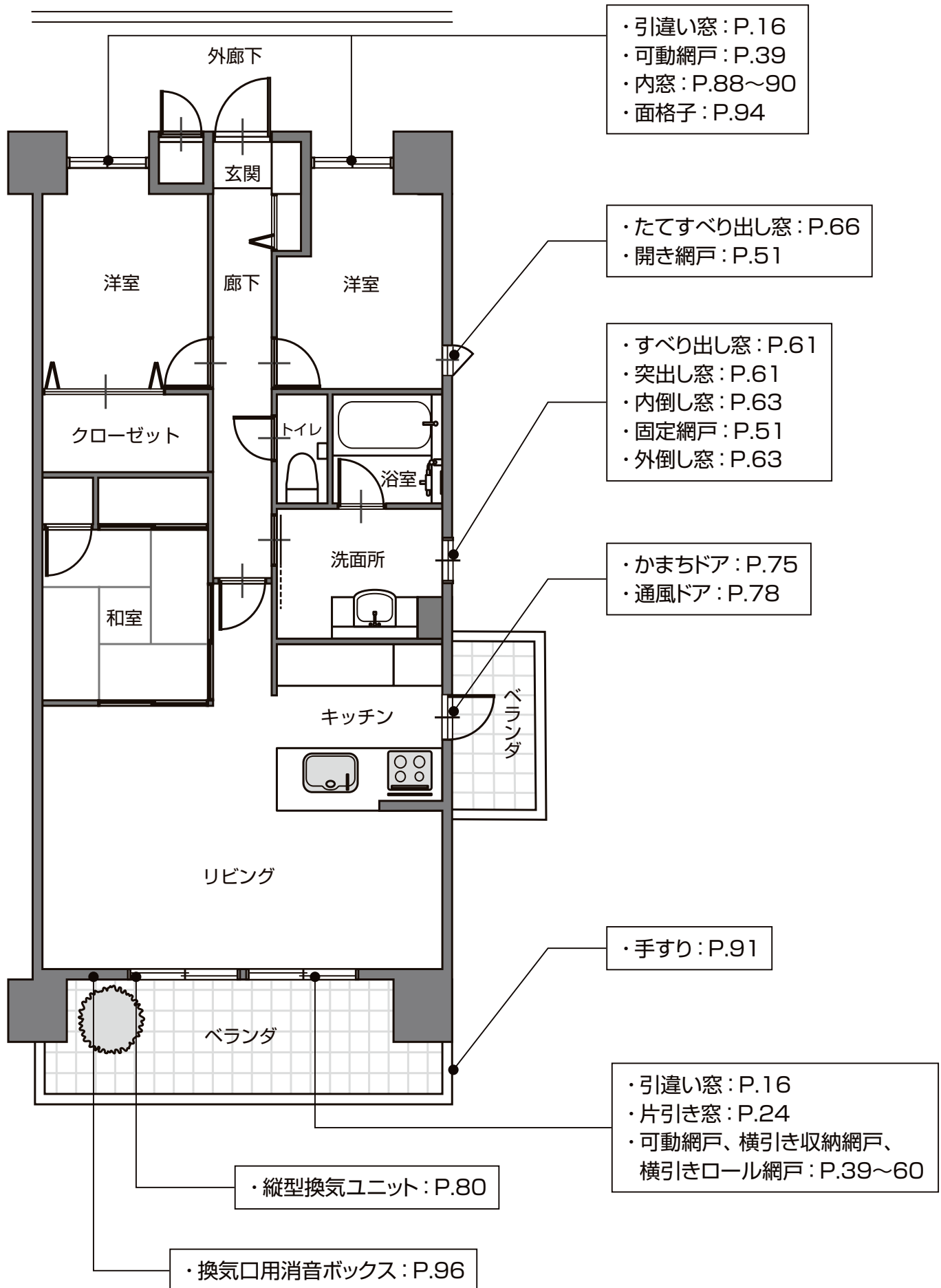
警告用語	意味
 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷故障などにつながる場合があります。

# 目次

商品種類	商品名	ページ
■ 共通事項	商品使用代表例 お手入れ方法 使用上のご注意 商品保証について BL認定品の商品保証について	4~15
<input type="checkbox"/> 引違い窓	PRO-SE PRO PRESEA-S PRESEA-H SAMOS-H RF RMA-70G・TC RMA-100 RMN-100	16~23
<input type="checkbox"/> 片引き窓(両袖片引き窓)	PRO-SE PRO-SE100 PRO PRESEA-S PRESEA-H RMA-100 RMN-100	24~35
<input type="checkbox"/> 換気小窓・換気かまち	PRO-SE PRO SAMOS-H RF	36~38
<input type="checkbox"/> 網戸	可動網戸 固定網戸 自走防止ストッパー付網戸	39~51
<input type="checkbox"/> 横引き収納網戸	内付け	52~54
<input type="checkbox"/> 横引きロール網戸	額縁付タイプ テラストイプ	55~60
<input type="checkbox"/> すべり出し窓 <input type="checkbox"/> 突き出し窓	PRO-SE PRO	61~62
<input type="checkbox"/> 内倒し窓 <input type="checkbox"/> 外倒し窓	PRO-SE PRO	63~65
<input type="checkbox"/> たてすべり出し窓	PRO-SE PRO-SE100 PRO PRESEA-H RMA-70G・TC	66~74
<input type="checkbox"/> 開きドア・通風ドア	PRO-SE PRO PRESEA-H	75~79
<input type="checkbox"/> 縦型換気ユニット	シーガルウィンドウ	80~85
<input type="checkbox"/> 風量調整機構付縦型換気ユニット	シーガルスリット	86~87
<input type="checkbox"/> 引違い窓(内窓) <input type="checkbox"/> FIX窓(内窓) <input type="checkbox"/> 開き窓(内窓)	インプラス	88~90
<input type="checkbox"/> 手すり		91
<input type="checkbox"/> Vルーバ		92~93
<input type="checkbox"/> 網付面格子		94~95
<input type="checkbox"/> 換気口用消音ボックス	クレール	96
<input type="checkbox"/> 共通事項	アフターメンテナンスについて	97



# 商品使用代表例



上記以外の品種は、管理責任者さま向け取扱い説明書をご覧ください

主要な窓／ドアの種類(室内側から見たイメージです)

引違い窓	片引き窓	すべり出し窓	突出し窓
			
内倒し窓	外倒し窓	たてすべり出し窓	
			
かまちドア	通風ドア	縦型換気ユニット	換気口用消音ボックス
 <p data-bbox="331 2063 440 2096">※室外側</p>			 <p data-bbox="1358 2063 1466 2096">※室外側</p>

# お手入れ方法(清掃方法)

いつまでも美しく商品をお使いいただくために、それぞれの性質に応じた方法で、定期的なお手入れが必要です。

## 1.アルミ・ステンレス製商品のお手入れ

### お手入れはなるべくこまめに

- 長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となります。汚れが軽微なうちに清掃してください。清掃の目安は、月に1回程度です。レール部分にたまった砂やゴミをそのままにして使用を続けると、汚れや傷の原因となりますので、なるべくこまめなお手入れをおすすめします。

特に沿岸地域(日本海側では沿岸から離れていても)交通量の多い道路沿い、凍結防止剤を使用している地域では、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、清掃の頻度をこまめにしておくことをおすすめします。

※特に台風の後には、塩分等が付着しやすく、腐食の原因となりますので、必ず清掃をお願いします。

### お手入れ方法

- ①表面についた砂やほこりをていねいに取除きます。隅の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。
- ②水でぬらしたやわらかい布またはスポンジで全体の汚れをふき取ります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤をうすめた液で汚れを落とし、そのあと水洗いします。
- ③最後にかたく絞ったやわらかい布またはスポンジで全体をふき取ります。



### お手入れのご注意

- 洗剤や薬品は、中性のものを使用してください。酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品などの化学薬品は、アルミサッシやステンレスなどの金属部分を腐食させたり、塗膜はがれを引き起しますので、絶対に使用しないでください。気密材や水切材等に油性潤滑剤をふきかけますと、部品の破損につながりますので使用しないでください。
- お手入れの際には、やわらかい布またはスポンジなどを使い、ワイヤーブラシやサンドペーパーなどのご使用はさけてください。
- ステンレス製金物部品、網戸のステンレス網も環境条件により放置するとサビ発生のおそれがありますので、定期的な(年数回)お手入れをおすすめします。
- ステンレスが腐食に対して強いのは、表面に保護皮膜が形成されるからです。この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っています。そのため、ステンレスの表面が汚れてくると、酸素との接触が妨げられるので、サビが発生することがあります。したがって、ステンレスは決して「サビない」ものではなく、「サビにくい」金属と言えます。

ステンレスにサビが発生するのは、例えば次のような場合です。

- ・ハウスクリーニングの際、塩素系の洗剤がステンレス部分に付着した場合
- ・海岸沿いなどの住環境において、塩分が付着した場合
- ・大気中に浮遊する鉄分や有害ガス中の成分が付着した場合
- ・ドアの下枠部分のステンレス仕上げで、特にたて枠と下枠のコーナー部分に汚れが溜まった場合
- ・ドアの下枠部分のステンレス仕上げ面で、ヘアライン仕上げ等のヘアライン部に汚れが付着した場合

そのままにしておくと、サビが発生しますので、日頃からこまめにお手入れをしてください。

●ステンレスのサビとして「もらいサビ」と言われるものがあります。例えば、鉄くぎのサビが表面に付着したり、土ぼこりの中に含まれる微細な鉄粉が雨水などによってサビてこびりついた

りすることで、あたかもステンレス自身がサビたように見える現象です。いったん発生したサビは落とすことが難しいので、日頃からこまめにお手入れをしてください。

## 2.樹脂製商品のお手入れ

断熱商品には性能を高めるため、枠および障子が樹脂でつくられているものがあります。樹脂の中でも特に酸、アルカリに対して強い材質を選択していますが、長く快適に使用していただくために、樹脂製商品に対して注意すべき点があります。

### お手入れはなるべくこまめに

樹脂は、アルミニウムなど他の材質と比べると、傷つきやすい性質があります。レール部分にたまった砂やゴミをそのままにして使用を続けると、汚れや傷の原因となりますので、なるべくこまめなお手入れをおすすめします。

### お手入れは布やスポンジで

傷をさけるため、布やスポンジのような柔らかいものを使い、金属ブラシや金べらなどは使用しないようにしてください。

### ベンジンやシンナーはさけてください

樹脂は酸、アルカリに強い特性をもっていますが、ベンジン、ガソリン、エーテル、アセトン、シンナーなど有機溶剤は使用しないようにしてください。



### 薬品に対して

塩素系薬品(次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤等)が、サッシに付着したまま放置された場合、表面が変化することがあります。付着した場合はすみやかに洗い落としてください。

### お手入れ方法

- ①表面についた砂やほこりをていねいに取り除きます。隅の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。
- ②水でぬらしたやわらかい布やスポンジで、全体の汚れを拭きとります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤、アルカリ性洗剤をうすめた液で落とし、そのあと水洗いします。



- ③最後に、かたく絞ったぞうきんで全体を拭きます。

# 3. 網戸商品のお手入れ

## お手入れはなるべくこまめに

- 網戸は虫の侵入を防ぐように網を設定していますが通風時にゴミやホコリが付着することがあり、それだけ汚れるのも早く風通しも悪くなります。なるべくこまめなお手入れをおすすめします。

## お手入れ方法

- お手入れのために網戸を外す時は、網戸の頁(39頁～)の注意事項をお守りください。

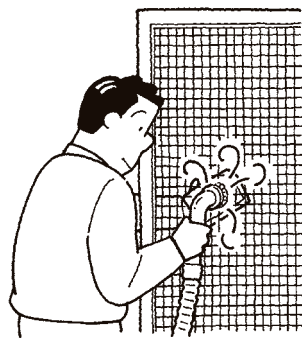
① 外れ止め部品を解除して網戸を外し(ベランダ・廊下がない場合、横引き収納網戸、ロール網戸は取り付いた状態で可)庭やベランダでブラシなどで全体を軽くこすります。そしてゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ網の部分に塗るような気持ちでつけます。このとき、力をいれすぎると網が外れることがあります。

② 最後に全体を水で洗い、乾かします。

③ 網戸を取り付けたら、必ず外れ止め金具が機能するように調整してください。

- 取り外した網戸を元に戻した時には、外れ止め部品が機能しているかを確認してください。

④ 網戸が外せない場合は、乾いた大きめのスポンジを網戸の裏側に当て、その部分をブラシのついた吸込み口を取付けた掃除機で吸取ってください。

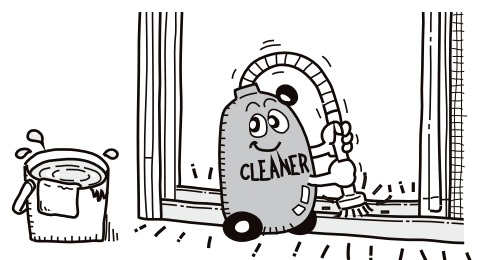


⑤ 横引き収納網戸の場合は網をはさみ込み、両側から同時に水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をうすめて使用し、その後、洗剤が残らないようによくふき取ってください。

⑥ 横引き収納網戸、ロール網戸の場合は、下枠レベル枠に砂や埃がたまらないように掃除機で吸取り、水ぶきをしてください。特に汚れがひどい場合は、歯ブラシ等で汚れを落としてください。汚れを放置しておくとお開閉できなくなります。

## お手入れのご注意

- 清掃時に網を強く押すと、網が外れることがあります。力を入れすぎないでください。
- 横引き収納網戸・ロール網戸はご自分で取り外したり分解しないでください。分解すると開閉操作に支障が生じるおそれがあります。
- 網戸の網や網を押えている網押え部分は、樹脂部品です。直射日光があたったり、風雨にさらされる等、ご使用いただいている住宅立地条件や自然環境によって、劣化が早く進むことがあります。劣化したままにしておきますと、網が破れたり、網が外れることがあります。時々点検して、網破れ、大きなたるみ、周辺部の外れのほか網押えのひび割れなどないか確認してください。異常があれば、お早めに張替えてください。
- 洗剤や薬品は、中性のものを使用してください。酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品、およびエタノール以外の有機溶剤は、アルミ部分などの金属部分を腐食させたり、塗膜はがれを引き起こしますので、絶対使用しないでください。同様に網戸の網や網を押えている網押えの樹脂部品を溶かしたりします。
- 網戸の網がステンレスの場合、サビにくい材質ですが、環境条件によっては、汚れや塩分やもらいサビを放置するとサビが発生するおそれがあります。「お手入れ方法」を参照の上、汚れの軽いうちに清掃してください。
- 海岸に近い所では年3～4回水洗いをしてください。
- 高圧洗浄機やホース等による散水で窓や網戸を洗い流す場合、水が室内側へ浸入するおそれがありますのでご注意ください。(漏水ではありません。)
- ご使用の初期に、網の糸が端から飛び出す場合があります。その際は、引っ張らずにハサミなどでカットしてください。



## 4. 専門業者による定期的な維持管理のお願い

- ・安全・安心にご使用いただくには、専門業者による定期的な維持管理が重要です。
- ・日頃からサッシに異常が無いか、操作・作動状況の変化が無いか注意していただき、異常を感じたら速やかに専門業者にご相談ください。
- ・安全に係る部品として、引違い窓等の戸車、はずれ止め、ストッパーなどは、10年\*を目安に交換することを推奨します。異常が確認されない場合でも、時間とともに故障のリスクが高まる可能性があります。（※使用環境により異なります。また保証期間ではありません。）

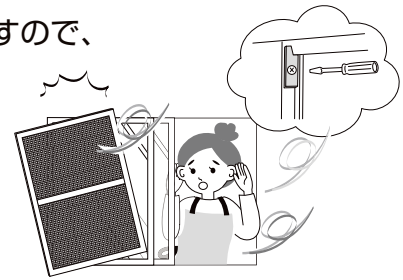
# 使用上のご注意

## 1. 台風に向けて

台風などの暴風雨は、サッシの性能を超える風雨を伴うこともありますので、暴風雨になる前に事前の対策を図ることが必要です。

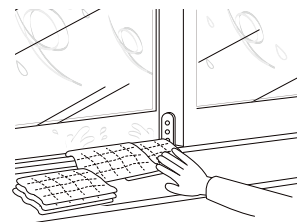
### 台風がくる前に

- 網戸が飛ばされないよう、網戸の外れ止め部品がかり網戸が外れないことを確認してください。製品に貼付されているラベルに記載されている内容をよく読み、正しい作業を行ってください。
- 窓やドアを閉めて、確実に施錠してください。風にあおられて窓やドアが破損、落下するおそれがあります。
- ベランダに置いてある物が飛ばされて、ガラスが破損したりすると危険ですので、植木や空き箱などを室内に入れてください。



### 台風がきたら

- 窓やドアの開閉はできるだけ控えてください。どうしても開閉しなければならない時は、手をはさんだり、ドアがあおられたりしないよう十分に気をつけてください。
- サッシの性能を超えた暴風雨の場合には、風の吹き方によっては雨水が浸入する場合がありますので、このときは、タオルなどを内部からサッシ枠内に詰めるなど対応してください。  
※濡れた雑巾などで床や木額縁が、水染みにならないように注意してください。



### 台風が通過したら

- 窓やドア、ベランダの点検をしてください。窓やドアの開閉に異常がないか、窓のガラスやベランダなどに破損やひび割れがないか点検してください。異常や破損があった場合は、管理会社に連絡してください。  
※高所での作業は大変危険ですので絶対におこなわないでください。



## 2.結露について

窓ガラスやサッシ枠に結露が発生した場合、床や壁の汚損防止、木部の腐食防止のために、十分に拭き取ってください。

結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合に、自然現象として季節を問わず発生し、窓の不具合ではありません。(室内の環境条件によっては、複層ガラスを使用しているかあるいは断熱サッシを使用しているか、結露が発生する場合があります。)

一般的には、秋、冬の季節は暖房により結露が一層発生しやすく、乾燥防止のために加湿器をご使用の場合は、さらに結露が発生しやすい状況になります。特に、新築の家では、使用した木材などの建材に水分が含まれているため、冬の暖房時に、地域によっては乾燥しやすい時期に、その水分が放出されやすい室内環境になり、結露が発生しやすくなります。

内外二重サッシの場合、内部サッシには結露が発生しなくても、外部サッシのみ結露が発生する場合があります。室内の湿気を含んだ空気が内部サッシと外部サッシの間に閉じ込められることで、冷やされた外部サッシ側に結露が発生する事があります。窓の不具合ではありません。

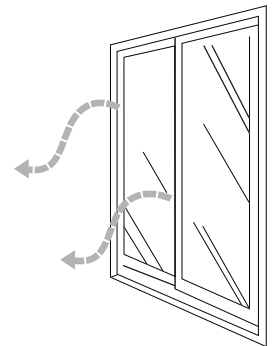
結露を完全に無くすことはできませんが、できるだけ抑える方法として、次のようなことを心がけてください。

- 換気をこまめにおこない、水分を含んだ室内の空気を排出すること。
- 水蒸気の発生をへらし空気中の水分を減らすこと。(室内で洗濯物を干さない、灯油ストーブの上でやかんの湯を沸かさない等)



## 3.サッシの気密性とすきま風について

- サッシの気密性は、サッシから出入りする空気量で示し、少ない程性能が良いと言えますが、日本産業規格(JIS)ではこの空気の入出りを認めたものとなっており、出入りを遮断しなければならないとは規程していません。例えば気密性A-4等級のサッシは、室内外の圧力差が10Pa(約1kgf/m<sup>2</sup>)のときに、サッシ面1m<sup>2</sup>当たり1時間に2m<sup>3</sup>以下の空気の入出りが認められています。(サッシ1窓全体の出入り量は、この数値にサッシ面積を掛け算します)さらに、換気扇やレンジフードの使用時は、強制的に空気を室外に排出することになるため、適切な面積の吸気孔がないと室内外に圧力差が生じて、サッシの微小隙間(気密材の接触部や押縁端部等)から入る空気の量が増えることとなります。強風時も同様で、サッシに直接風があたり室内外に圧力差が生じた時には、サッシの微小なすきまからの空気の流入が増えることとなります。



## 4.サッシの遮音性について

- サッシの遮音性とは、サッシを通して室外から室内へ侵入する音、室内から室外へ漏れる音をどれくらい遮ることができるのかを表す性能であり、音を完全に遮断し、住居内を無音状態にするというものではありません。住居ではサッシ以外に、換気口、換気扇など空気が出入りするところがあり、また、ベランダの有無、ベランダの構造、家具の配置などによっては、同じ遮音性能のサッシが付いたとしても、部屋ごとに室内の騒音レベルが異なります。カタログなどに記載しているサッシの遮音性能値は、サッシ単体の遮音性能のみを測定できる専用の実験室で測定した性能であり、お部屋で実測する数値とは異なります。

室内の騒音レベルを低くする簡単な対策としては、室内に厚地のカーテンや絨毯など、吸音効果のあるものを使用するという方法があります。

## 5. サッシおよびサッシ周辺からの音鳴り現象について

- アルミニウムの特性として、太陽の日射熱の影響を受けて部材の温度上昇により熱膨張が発生して部材が伸縮するという特徴があります。  
また、アルミサッシの構造上、様々な形状の形材や部品にて構成されているため、各部材間のわずかな膨張率の違い等により音(パキパキ・ギシギシ・コーンなど)が鳴ることがあります。さらにアルミサッシに取り合う内装材(木額縁・床材・間仕切り等)の熱伸縮により摩擦・こすれ音が発生することもあります。  
この現象はアルミサッシの性能に影響するものではありません。



## 6. 取扱い上について

### 強風時の障子の開閉について

- テラス部分等に取り付けられている大型の引違い窓や片引き窓では、外部からの強風により障子が枠側に押し付けられ、開閉操作が重くなることがあります。(24時間換気をしている場合も同様に発生する場合があります。) 強風時の開閉は極力控えてください。

### 換気扇・レンジフード使用時の笛鳴りについて

- 換気扇やレンジフードを作動させると、大量の空気を排出させると同時に、ほぼ同量の空気の流入が起こり、サッシから笛鳴りが発生する場合があります。この現象は、建物全体の気密性が高く、かつ流入する空気の導入口が設けられていなかったり、換気口等の導入口の大きさが適切でない場合に、サッシの小さなすきまから高速で空気が流入することにより生じる現象で、サッシの欠陥ではありません。適切な吸気口の設定や、窓を少し開けるなどの対応で笛鳴りは防げますので、外気の取り入れ口を確保して頂けますようお願いいたします。(24時間換気している場合や強風時にも同様に笛鳴りが発生する場合がありますので同じように対応して頂けますようお願いいたします。)

### 二重サッシ取り扱い上の注意

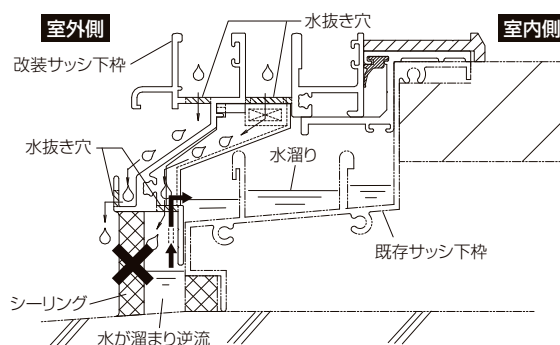
- 二重サッシ(2組のサッシを一对として構成されたサッシ納まり)では、内外のサッシを閉じた状態で諸性能が発揮されます。したがって窓を閉める時は、必ず内外のサッシとも閉めて、施錠してご使用ください。
- あとから室内側にサッシを取付ける場合は、該当商品の取扱い説明書を読んでください。

### ガラスの取扱い(破損時の入れ替えに際して)

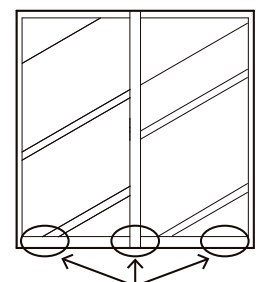
- 窓に使用されるガラスの種類と厚さは、サッシに要求される諸性能に応じて決定されています。万一、ガラスが破損または、ヒビ割れた場合は安全のため、速やかに入れ替えてください。その際、ガラスは必ず以前から入っているものと同等のものを入れてください。

### 改装サッシ取付後の取扱いについて

- 防水工事などでサッシ下枠の下側にシーリングを打たないでください。排水孔をふさぐ事になり、水が逆流して室内側へ漏水するおそれがあります。やむを得ずシーリングを打つ場合は、排水孔を避けてシーリングを打つ様にしてください。※図



※図(外観)



下枠両端100mmと中央部100mmの位置に排水孔があります



# 商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行なうことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取扱いの建築会社様、工務店様、販売店様または、当社営業事業所にご相談ください。

■対象商品	□ビル用建材商品
■保証期間	建築会社様よりの引き渡し日(注1、注2)から2年間(電装・排煙開閉装置部品については1年間)。ただし、商品の不具合による雨水浸入については10年間。 注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。 注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、工事完了後建築主様への引き渡し日とします。
■保証内容	取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。 なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまる場合がありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を超えて室内に雨水が流れ出したり、あふれ出たりすることです。
■免責事項	保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。 ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など) ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合 ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合 ④商品または部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)またはこれらに伴うさび、かびまたはその他の不具合 ⑤商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙・各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など) ⑥商品または部品の材料特性に伴う現象(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど) ⑦天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合 ⑧実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合 ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合 ⑩引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合) ⑪お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合 ⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合 ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社営業事業所にお問合わせください。

※BL認定商品については別途定められた保証期間・保証内容・免責事項によります。

※本商品保証は、日本国内においてのみ有効です。

# BL認定品の商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの建築会社様、工務店様、販売店様、または、当社営業事務所にご相談ください。

## ■保証期間・保証内容

建築会社様よりの引き渡し日(注1、注2)から2年間(電装部品については1年間)。

ただし、商品の不具合による雨水浸入については10年間、サビに起因するものについては2年間。

(注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

(注2)分譲住宅(建築住宅)・分譲マンションの場合は、工事完了後、建築主様への引き渡しの日とします。取扱い説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時、サッシ下枠に雨水がたまることありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ枠を超えて室内に雨水が流れ出したり、あふれ出たりすることです。

また、特定機能については下記のごとく別途定められています。

ただし、ドア・クローザ、錠前については保証期間、保証内容、免責事項が別途定められています。

品目	特定機能	保証期間
サッシ、改修用サッシ	雨水の浸入を防止する機能	10年
墜落防止手すり	全般(取付金物の埋め込みに係るものを除く)	5年

## ■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①住宅用途以外で使用した場合の不具合
- ②当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良による変色や腐食など)
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ④商品または部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質・変色など)またはこれらに伴うさび、かびまたはその他類似の不具合
- ⑤商品周辺の自然環境、住環境に起因する結露、腐食またはその他の不具合(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑥天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑦犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑧引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行なわなかったことによる不具合
- ⑨お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑩本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑪犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
- ⑫建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合。

\*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

\*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社営業事業所にお問い合わせください。

※BL認定品の取り替え部品の供給については、生産中止後10年間と致します。

※本商品保証は、日本国内においてのみ有効です。

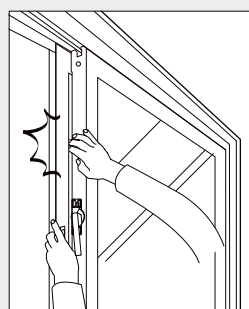
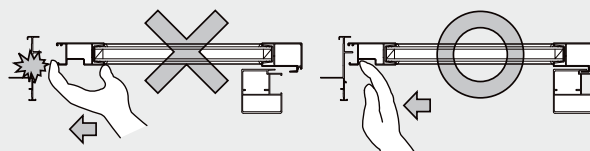
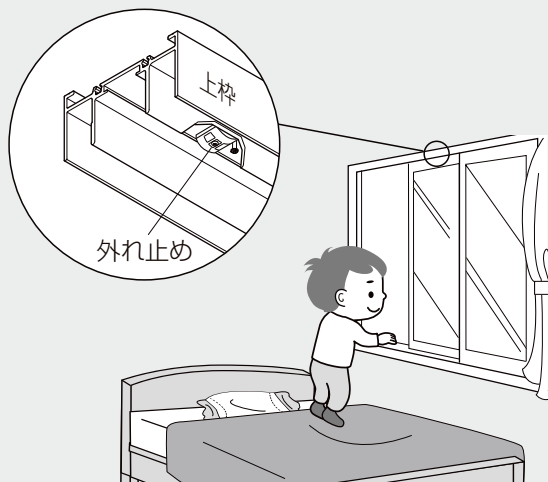
※BL認定品には、部品および施工の瑕疵並びにその瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険が付されています。

# 引違い窓の取扱い

□PRO-SE □PRO □PRESEA-S □PRESEA-H □SAMOS-H RF  
 □RMA-70G・TC □RMA-100 □RMN-100

## ▲注意

- 外れ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠から外れて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・お手入れなどでガラス障子を外し、再び窓枠に取付けるときは、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ずかけてください。
  - ・外れ止め部品が正しくかかっているか、ずれや破損がないか時々点検してください。
- 子供部屋等、窓の近くにベッドや机等を配置する場合は、踏み台にならないように配置し、踏み台になるような物がある場合は、小さなお子様一人で窓を開けられないように配慮してください。転落など、人身事故につながるおそれがあります。
- 開閉時、引手やハンドルなど指定された場所を持って操作してください。指定場所以外のところを持つと手や指を挟まれる等、人身事故につながるおそれがあります。
- 開閉時、枠と障子の間や障子が交差する所に手や指を置かないでください。手や指を挟まれる等人身事故につながるおそれがあります。

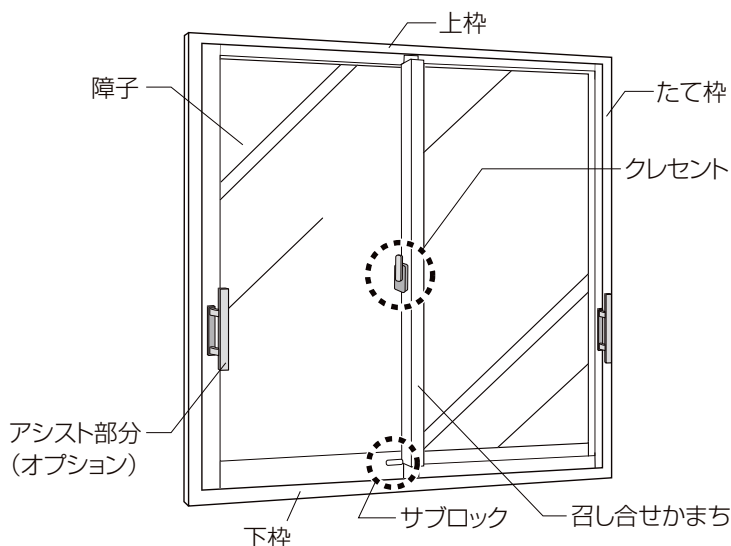


## ■引違い窓各部の名称

引違い窓の各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

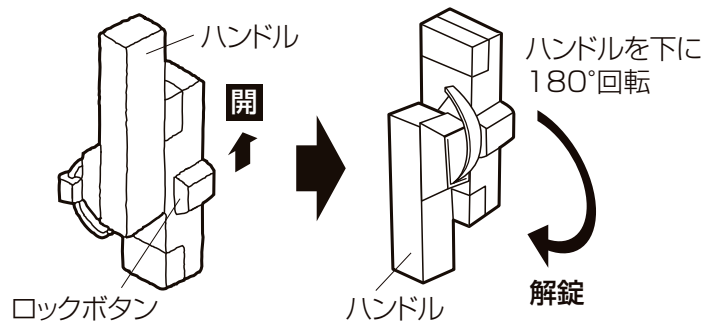
- ・クレセント
- ・クレセント受
- ・戸車
- ・はずれ止め
- ・サブロック
- ・上枠
- ・下枠
- ・たて枠
- ・障子
- ・召し合せかまち



## ■クレセントの操作(ロック付の場合)

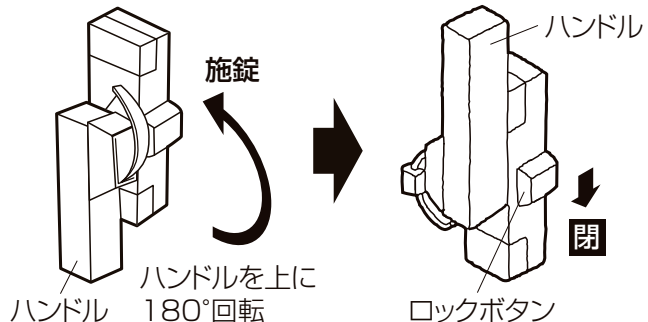
### ●解錠方法

- ロックボタンを上部に押し上げロックを解除しハンドルを下に180°回転させることにより解錠することができます。
- ※ロックボタン下部にオレンジ色が見える状態がロック解除状態です。クレセントを解錠させることにより障子を動かすことができます。
- ※サブロック(防犯補助錠)がある場合は、解除されているかを確認してください。



### ●施錠方法

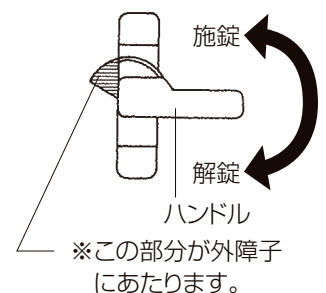
- 障子を閉めた状態でハンドルを上180°回転させることにより施錠することができます。施錠後、ロックボタンを下に下げると、ハンドルは回転しなくなります。



## ■ご使用上のお願い

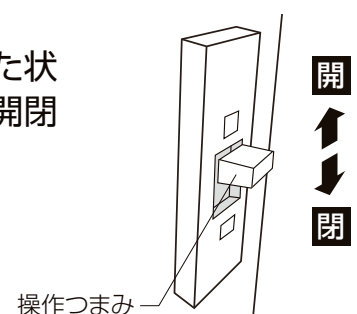
### 【クレセント操作について】

- ハンドルを下に180°回転させてから障子の開閉を行ってください。ハンドルを途中で止めると、障子に当たり型材にキズを付けたり、部品が破損したりします。また、開閉時にハンドルを閉まった状態に戻して障子を閉めてしまうとクレセントの鎌と受が乗りあげて障子が重くなります。(ロック付き、キー付きはその解除を先に操作してください。)
- 内蔵クレセントの施錠は、窓を閉めて召合せかまちをそろえてから操作してください。実施しないと障子型材にキズを付けたり、部品が破損したりします。
- 窓を閉めてクレセントを施錠しないと、サッシ諸性能(耐風圧、気密、水密等)の保持および、強風時に障子が開いてしまうことがあります。
- グレモン方式の場合は、一般クレセントと比べて、作動が重くなります。これは機構上によるもので、不具合ではありません。
- ダブルロックの場合ボタンが解除(開の位置)されていることを確かめてからハンドルを回してください。また、キー付きの場合もキーが解除されていることを確かめてからハンドルを回してください。  
解除されていない状態でハンドルを回すと故障の原因になります。



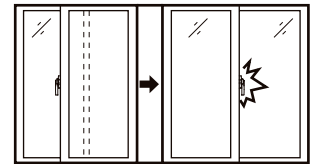
### 【戸先錠操作について】

- 障子を閉める時に戸先錠付の場合は、必ず操作つまみが上がった状態で窓を操作してください。操作つまみが下がった状態で窓を開閉すると戸先錠が破損したりします。

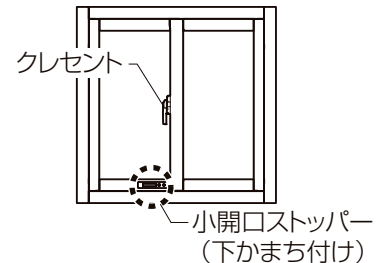


### 【障子の開閉について】

- 4枚建障子を開け閉めするときは、反対側の施錠されているクレセントに強い衝撃を与えないようにしてください。クレセントおよび受けが破損するおそれがあります。
- 障子を開けるときに障子ストッパーに強い衝撃を与えないでください。障子や部品の変形・破損が生じたり、それによりクレセントの施解錠が困難になるなどのおそれがあります。



※強く閉めないでください。

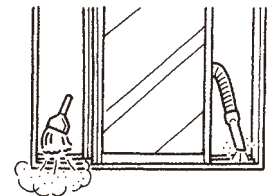


### 【安全にお使いいただくために】

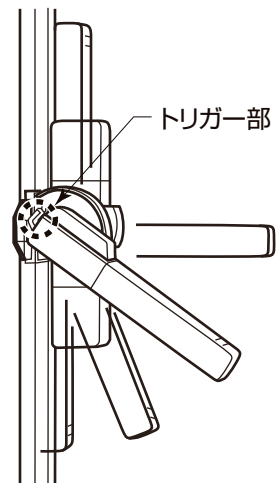
- 外出時や就寝時には必ず窓を閉め、クレセントや補助錠も必ず施錠してください。

### 【お手入れについて】

- 下枠にゴミなどをためないよう時々清掃してください。水抜き穴がつまり漏水したり、戸車が破損するおそれがあります。



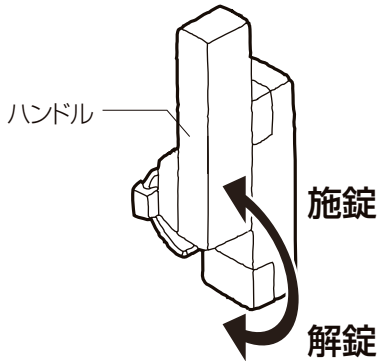
- 空かけ防止付クレセントのトリガー部は、時々汚れを布などで拭き取ってください。ハンドルの開閉時に引っ掛かりが発生する場合があります。



## ■クレセントの種類と操作(代表例)

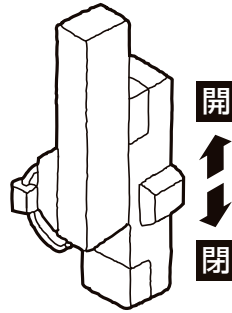
### ■ロックなし

- 標準型のクレセントでハンドルを180°回転させることにより、施錠・解錠ができるタイプです。



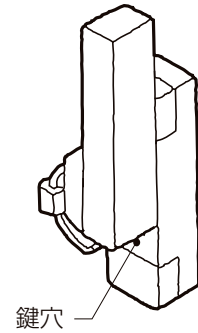
### ■ロック付

- クレセントの横についているボタンを上下に動かすことにより、ハンドルの回転を止めたり、動かしたりすることができるタイプです。



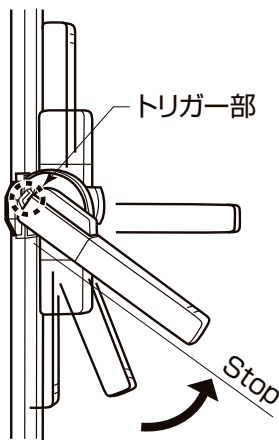
### ■キー付

- クレセントの鍵穴にキーを挿入して操作することにより、ハンドルの回転を止めたり、動かしたりすることができるタイプです。



### ■空かけ防止付(トリガー付)

- 障子が最後まで閉まっていない場合、トリガーが受けに押されないためハンドルが回らず、空かけを防止します。

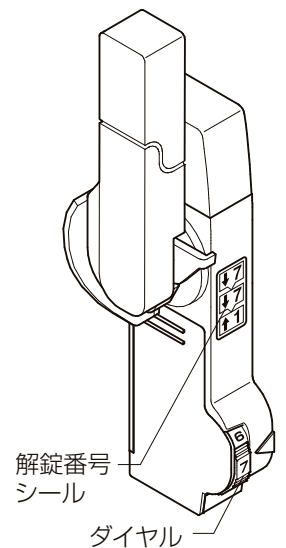


### ■ダイヤルロック付

解錠：解錠番号シールの上から順番の「方向」と「番号」にダイヤルを回して合わせることで、クレセントが解錠できます。

施錠：クレセントをかけて、ダイヤルを1回転以上回すとロック状態になります。

注)解錠番号シールは、1例を示しています  
解錠番号シールは剥がさないでください。



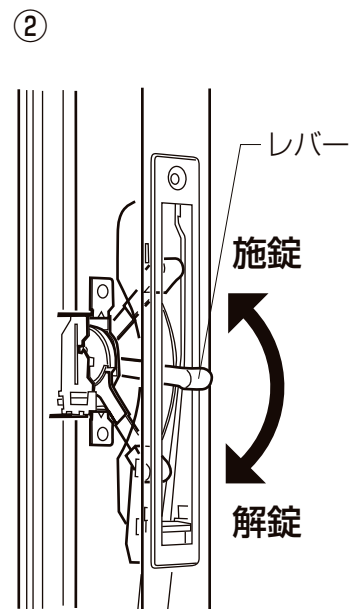
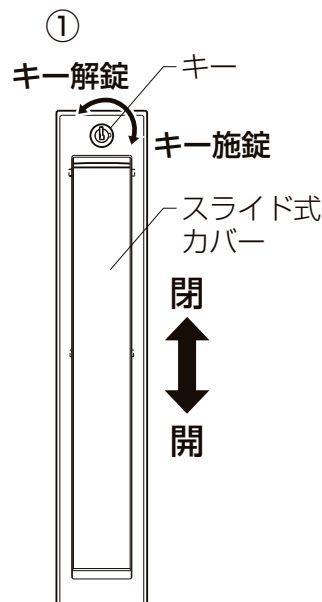
### ■内蔵式クレセント(キー付)

- クレセントを召合せかまちに内蔵し、すっきりとした意匠を実現しました。外部からはクレセントが見えないため防犯性も向上します。

※召合せかまち見付け寸法は60mmのみの設定になります。

- ①解錠はカバーを開けて、レバーを下へ下げます。
- ②施錠はレバーを上へ上げてからカバーを閉めます。
- ③キーを90°右に回すとカバーがロックされ開かなくなります。

注)施錠は召合せかまちを内外そろえてから行ってください。トリガー付ですので召合せかまちをそろえないと施錠できません。

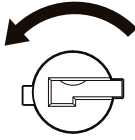


## ■PRO-SE非防火 空かけ防止付、キー付クレセント操作方法

●キー付クレセントの施解錠は、下記に示す要領にて行ってください。（※SAMOS-H RFも同じです。）

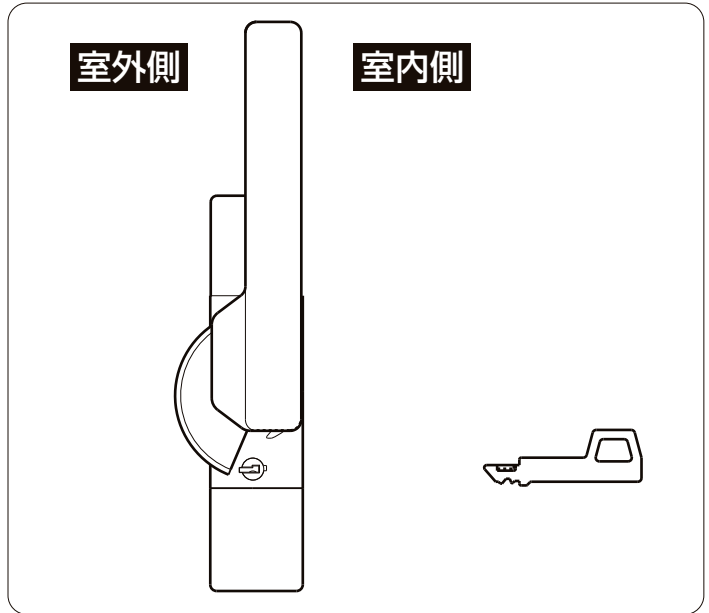
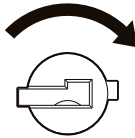
### ●鍵をかけるとき

●鍵を差込み反時計回りに回す。



### ●鍵をあけるときの

●鍵を差込み時計回りに回す。

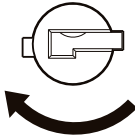


## ■PRO-SE防火 キー付クレセント操作方法

●キー付クレセントの施解錠は、下記に示す要領にて行ってください。（※PRESEA-Hも同じです。）

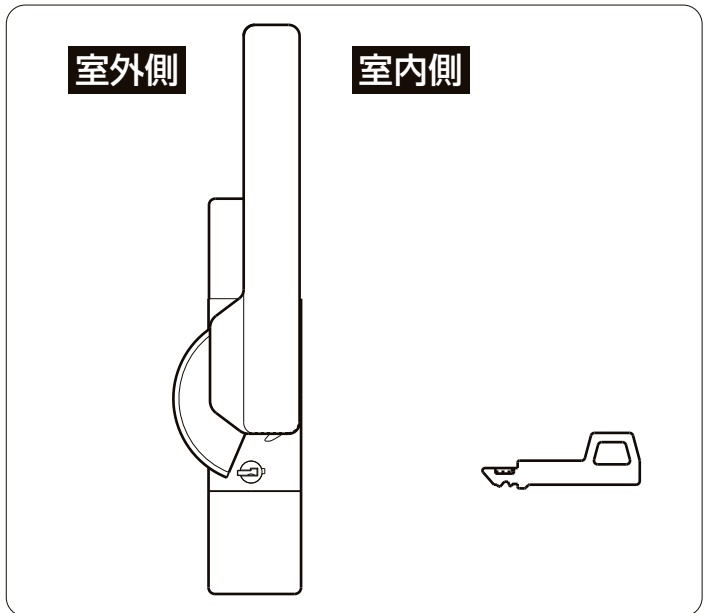
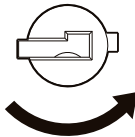
### ●鍵をかけるとき

●鍵を差込み時計回りに回す。



### ●鍵をあけるときの

●鍵を差込み反時計回りに回す。



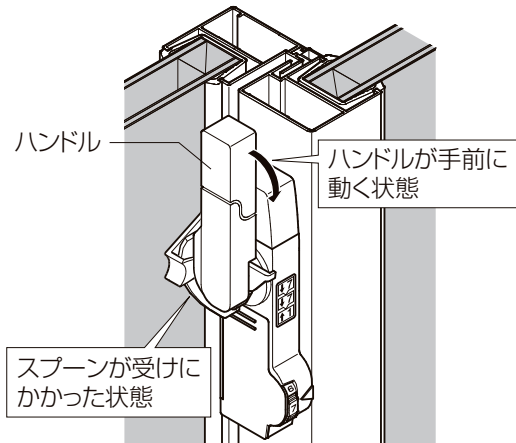
### 【サッシ金物の鍵について】

クレセントや小開口ストッパー等のサッシ金物の鍵は、堅固な施錠を保證するものではありません。いたずらや不正な解錠およびキーを完全に差し込まずに無理な力でキーを回す等の誤操作では、開いてしまう場合があります。

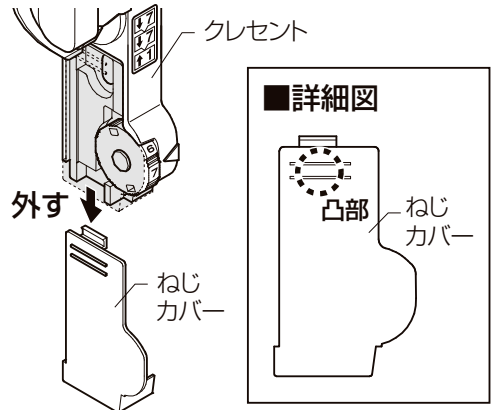
## ■ダイヤルロック付クレセントの施錠番号の変更方法

- 変更可能な番号は最終解錠番号(3番目に合せる数字)のみとなります。最終番号の前に2回合せている番号は初期設定のパターンをもとに自動で決定されます。
- ハンドルがロックされた状態では番号を変更しないでください。正しい番号に変更できません。

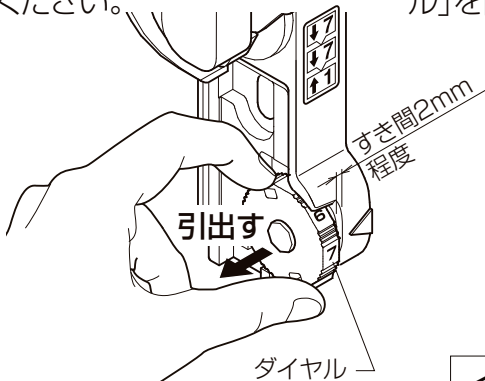
①クレセントを施錠状態にしてください。



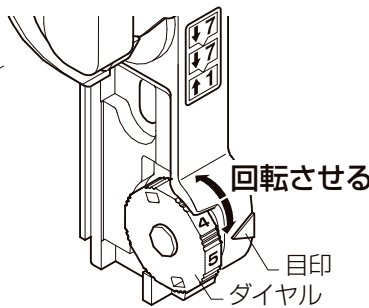
②クレセント下部の「ねじカバー」を下方方向にスライドさせ、外してください。(下図凸部に指をかけて外してください)



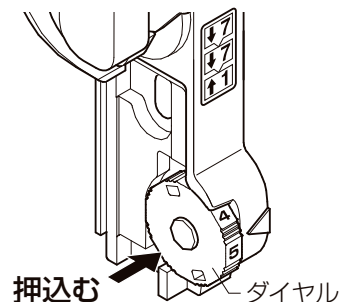
③「ダイヤル」を下図のようにつまんで垂直に引っ張ってください。



④「目印」に合うように、変更したい番号になるまで「ダイヤル」を回転させてください。

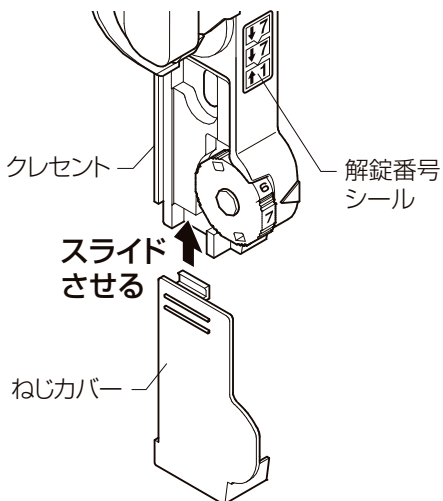


⑤「目印」と変更したい番号が合っていることを確認後、引き上げた「ダイヤル」を元の位置に押し込んでください。



※ダイヤルをつまんで上記のようにすき間ができるまで引っ張ってください。

⑥「ねじカバー」を上方向にスライドさせながら、取付けてください。



### ＜変更後の施錠番号の確認方法＞

●解錠番号の変更で、最終解錠番号を設定すると、それ以外の番号は下表のように自動的に変更されます。下表のA～Fの初期設定パターンを元に右の一覧表から変更後の番号を確認してください。

初期設定	お客さまが設定可能な解錠番号
A ↓8 ↑1	↓1 ↓2 ↓3 ↓4 ↓5 ↓6 ↓7 ↑2 ↑3 ↑4 ↑5 ↑6 ↑7 ↑8
B ↓7 ↑1	↓8 ↓1 ↓2 ↓3 ↓4 ↓5 ↓6 ↑2 ↑3 ↑4 ↑5 ↑6 ↑7 ↑8
C ↓6 ↑1	↓7 ↓8 ↓1 ↓2 ↓3 ↓4 ↓5 ↑2 ↑3 ↑4 ↑5 ↑6 ↑7 ↑8
D ↓5 ↑1	↓6 ↓7 ↓8 ↓1 ↓2 ↓3 ↓4 ↑2 ↑3 ↑4 ↑5 ↑6 ↑7 ↑8
E ↓4 ↑1	↓5 ↓6 ↓7 ↓8 ↓1 ↓2 ↓3 ↑2 ↑3 ↑4 ↑5 ↑6 ↑7 ↑8
F ↓3 ↑1	↓4 ↓5 ↓6 ↓7 ↓8 ↓1 ↓2 ↑2 ↑3 ↑4 ↑5 ↑6 ↑7 ↑8

(例) ↓7 の最終解錠番号を「1」から「5」に変更した場合

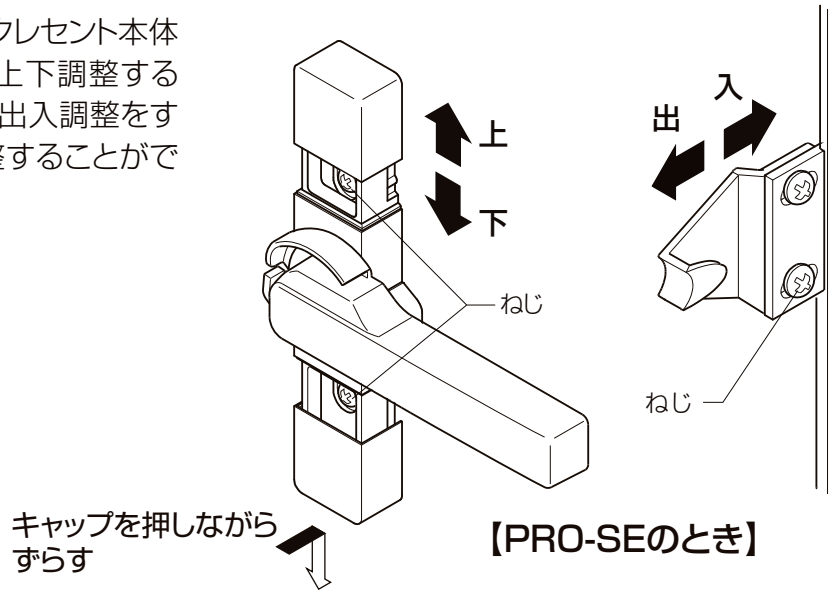
●左の一覧表の「初期設定」のうち、↓7 の行(B行目)を見ます。

●「お客さまが設定可能な解錠番号」の中で、最終解錠番号が「5」のものは ↓3 となります。

■ …最終解錠番号

## ■クレセントのかかり調整

- クレセントのかかりが悪くなったら、クレセント本体のキャップをずらしてねじをゆるめ上下調整するか、クレセント受のねじをゆるめて、出入調整をすることで、クレセントのかかりを調整することができます。



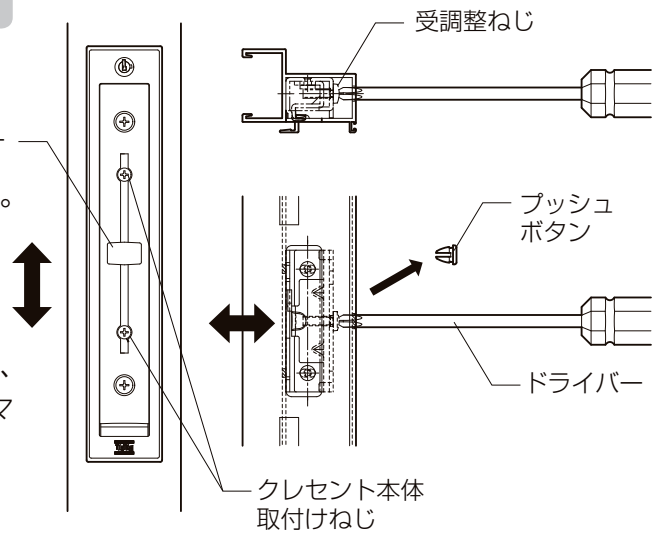
## ■内蔵クレセントのかかり調整

### ■クレセント本体

- ①カバーを下げてレバーを水平にします。
- ②クレセント本体取付けねじをゆるめます。
- ③レバーを持ってクレセント本体を上下に動かします。
- ④クレセント本体取付けねじを締めます。

### ■クレセント受

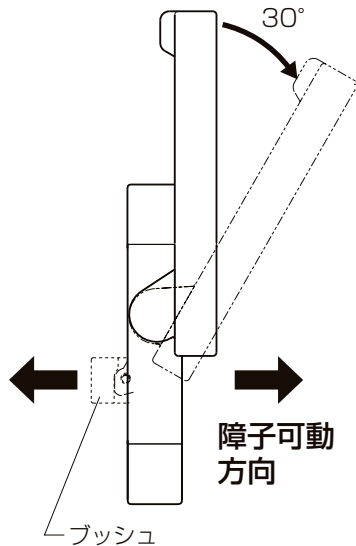
- ①召外かまちのプッシュボタンを外します。
- ②受調整ねじを時計回りに回すと引分けが強くなり、反時計回りに回すと引分けが弱くなります。(各々2mm調整可能)



## ■ 把手、引手、錠の種類(代表例)

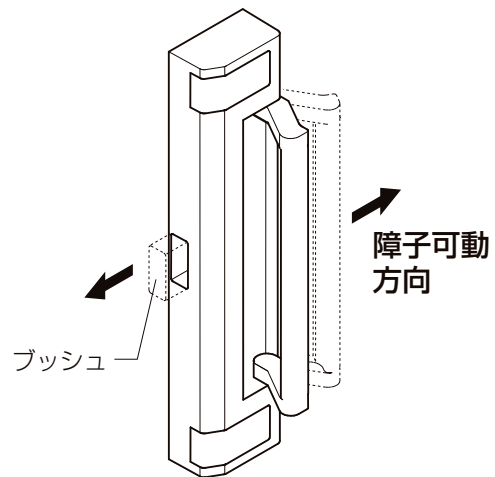
### ■ アシスト把手(オプション)

- ①クレセントを解錠してから操作してください。
- ②障子の可動方向にハンドルを傾けスライドさせます。
- ③ブッシュが出てきて、枠をけり出します。



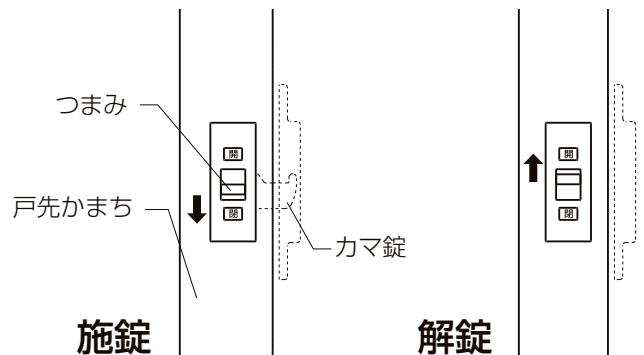
### ■ アシスト引手(オプション)

- ①クレセントを解錠してから操作してください。
- ②障子の可動方向に引手をスライドさせます。
- ③ブッシュが出てきて、枠をけり出します。



## ■ 戸先錠(オプション)(外部シリンダー付もあり)(PRO-SE)

- ①つまみを下へさげると閉状態になり施錠されます。
  - ②つまみを上へあげるとカマ錠が収納されて開状態になり解錠されます。操作つまみが確実にあがっていることを確認(解錠)して障子进行操作してください。
- ※RMA-70G・TCについては、つまみを上へあげると閉状態になり施錠されます。  
つまみを下へさげると解錠されます。
- ※お出かけの際は、必ずクレセントと併用してください。  
クレセントを施錠しないと、気密性や水密性など、本来のサッシ性能値が保証できません。

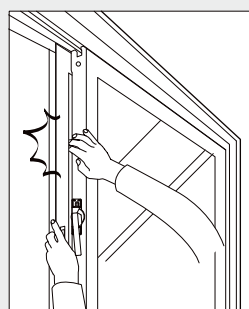
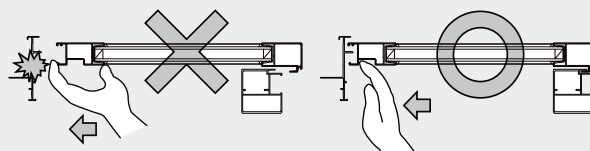
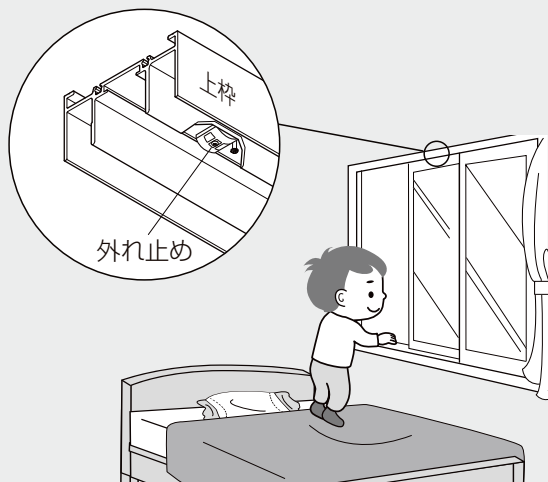


# 片引き窓(両袖片引き窓)の取扱い

□PRO-SE □PRO-SE100 □PRO □PRESEA-S □PRESEA-H  
□RMA-100 □RMN-100

## ▲注意

- 外れ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠から外れて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・お手入れなどでガラス障子を外し、再び窓枠に取付けるときは、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ずかけてください。
  - ・外れ止め部品が正しくかかっているか、ずれや破損がないか時々点検してください。
- 子供部屋等、窓の近くにベッドや机等を配置する場合は、踏み台にならないように配置し、踏み台になるような物がある場合は、小さなお子様が一人で窓を開けられないように配慮してください。転落など、人身事故につながるおそれがあります。
- 開閉時、引手やハンドルなど指定された場所を持って操作してください。指定場所以外のところを持つと手や指を挟まれる等、人身事故につながるおそれがあります。
- 開閉時、枠と障子の間や障子が交差する所に手や指を置かないでください。手や指を挟まれる等人身事故につながるおそれがあります。

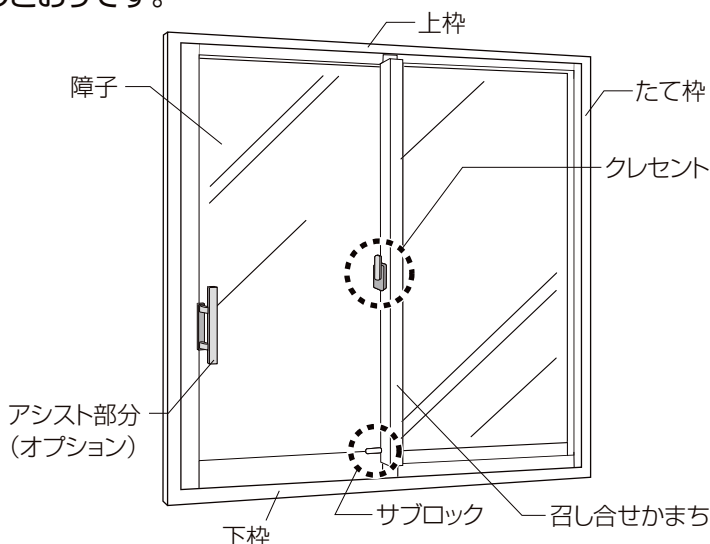


## ■片引き窓(両袖片引き窓)各部の名称

片引き窓(両袖片引き窓)の各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

- ・クレセント
- ・クレセント受
- ・戸車
- ・はずれ止め
- ・サブロック
- ・上枠
- ・下枠
- ・たて枠
- ・障子
- ・召し合せかまち



## ■クレセントの操作(ロック付の場合)

### ●解錠方法

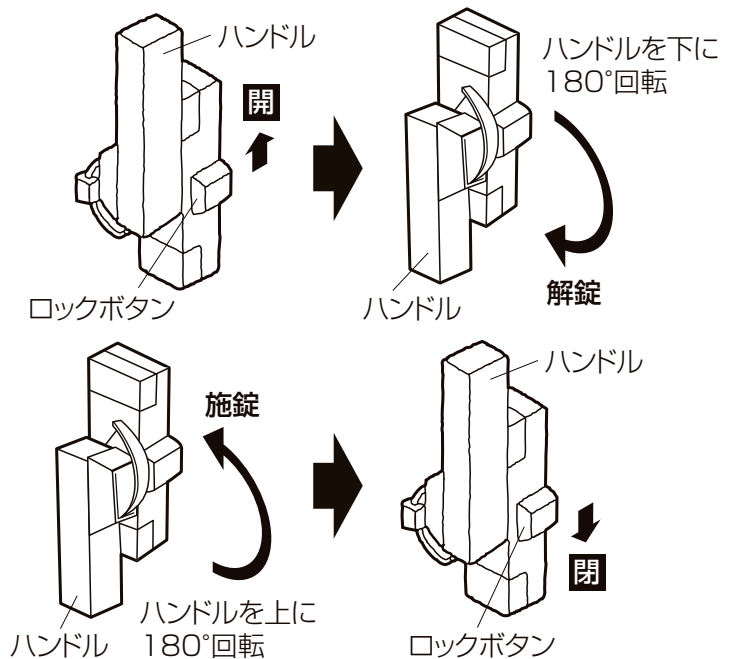
●ロックボタンを上部に押し上げロックを解除しハンドルを下に180°回転させることにより解錠することができます。

※ロックボタン下部にオレンジ色が見える状態がロック解除状態です。クレセントを解錠させることにより障子を動かすことができます。

※サブロック(防犯補助錠)がある場合は、解除されているかを確認してください。

### ●施錠方法

●障子を閉めた状態でハンドルを上180°回転させることにより施錠することができます。施錠後、ロックボタンを下に下げると、ハンドルは回転しなくなります。



## ■ご使用上のお願い

### 【クレセント操作について】

●ハンドルを下に180°回転させてから障子の開閉を行ってください。ハンドルを途中で止めると、障子に当たり形材にキズを付けたり、部品が破損したりします。また、開閉時にハンドルを閉まった状態に戻して障子を閉めてしまうとクレセントの鎌と受が乗りあげて障子が重くなります。(ロック付き、キー付きはその解除を先に操作してください。)

●窓を閉めてクレセントを施錠しないと、サッシ諸性能(耐風圧、気密、水密等)の保持および、強風時に障子が開いてしまうことがあります。

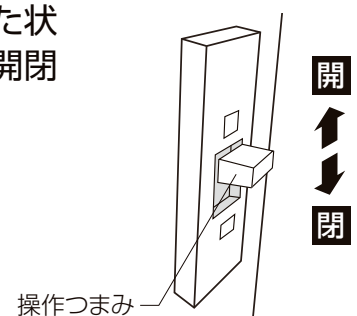
●グレモン方式の場合は、一般クレセントと比べて、作動が重くなります。これは機構上によるもので、不具合ではありません。

●ダブルロックの場合ボタンが解除(開の位置)されていることを確かめてからハンドルを回してください。また、キー付きの場合もキーが解除されていることを確かめてからハンドルを回してください。

解除されていない状態でハンドルを回すと故障の原因になります。

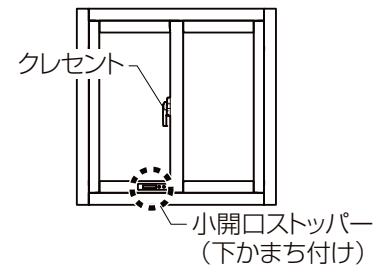
### 【戸先錠操作について】

●障子を閉める時に戸先錠付の場合は、必ず操作つまみが上がった状態で窓を操作してください。操作つまみが下がった状態で窓を開閉すると戸先錠が破損したりします。



### 【障子の開閉について】

- 障子を開けるときに障子ストッパー（オプション）に強い衝撃を与えないでください。障子や部品の変形・破損が生じたり、それによりクレセントの施錠が困難になるなどのおそれがあります。

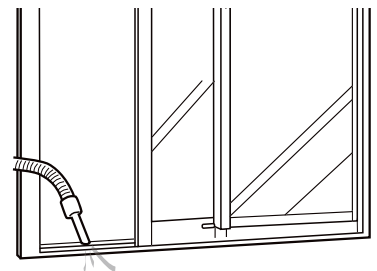


### 【安全にお使いいただくために】

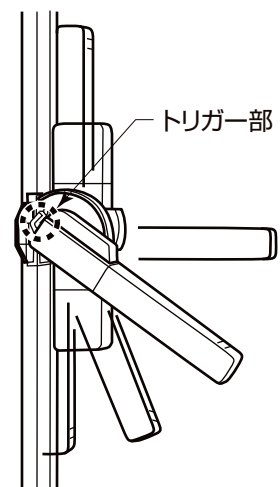
- 外出時や就寝時には必ず窓を閉め、クレセントや補助錠も必ず施錠してください。

### 【お手入れについて】

- 下枠にゴミなどをためないよう時々清掃してください。水抜き穴がつまり漏水したり、戸車が破損するおそれがあります。



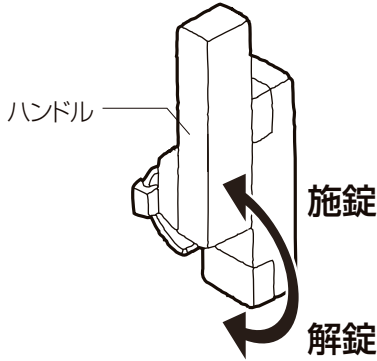
- 空かけ防止付クレセントのトリガー部（次頁）は、時々汚れを布などで拭き取ってください。ハンドルの開閉時に引っ掛かりが発生する場合があります。



## ■クレセントの種類と操作(代表例)

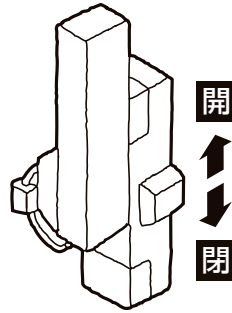
### ■ロックなし

- 標準型のクレセントでハンドルを180°回転させることにより、施錠・解錠ができるタイプです。



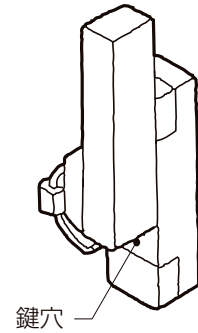
### ■ロック付

- クレセントの横についているボタンを上下に動かすことにより、ハンドルの回転を止めたり、動かしたりすることができるタイプです。



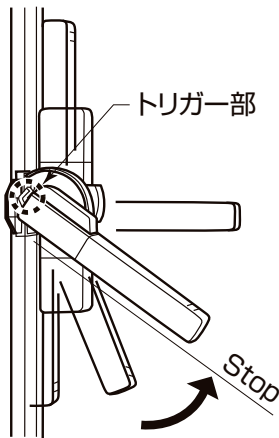
### ■キー付

- クレセントの鍵穴にキーを挿入して操作することにより、ハンドルの回転を止めたり、動かしたりすることができるタイプです。



### ■空かけ防止付(トリガー付)

- 障子が最後まで閉まっていない場合、トリガーが受けに押されないためハンドルが回らず、空かけを防止します。

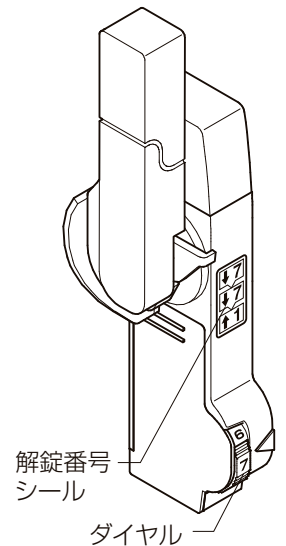


### ■ダイヤルロック付

- 解錠：解錠番号シールの上から順番の「方向」と「番号」にダイヤルを回して合せることで、クレセントが解錠できます。

- 施錠：クレセントをかけて、ダイヤルを1回転以上回すとロック状態になります。

- 注)解錠番号シールは、1例を示しています  
解錠番号シールは剥がさないでください。



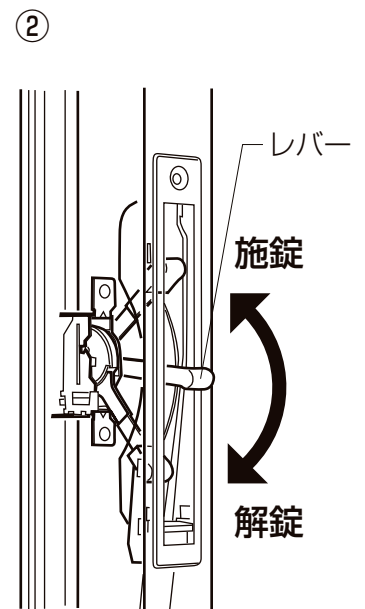
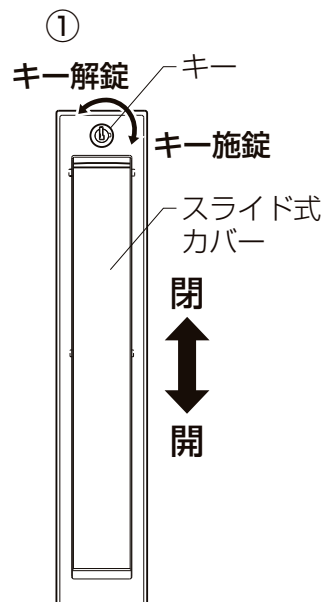
### ■内蔵式クレセント(キー付)

- クレセントを召合せかまちに内蔵し、すっきりとした意匠を実現しました。外部からはクレセントが見えないため防犯性も向上します。

※召合せかまち見付け寸法は60mmのみの設定になります。

- ①解錠はカバーを開けて、レバーを下へ下げます。
- ②施錠はレバーを上へ上げてからカバーを閉めます。
- ③キーを90°右に回すとカバーがロックされ開かなくなります。

注)施錠は召合せかまちを内外そろえてから行ってください。トリガー付ですので召合せかまちをそろえないと施錠できません。

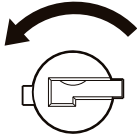


## ■PRO-SE非防火 空かけ防止付、キー付クレセント操作方法

●キー付クレセントの施解錠は、下記に示す要領にて行ってください。（※SAMOS-H RFも同じです。）

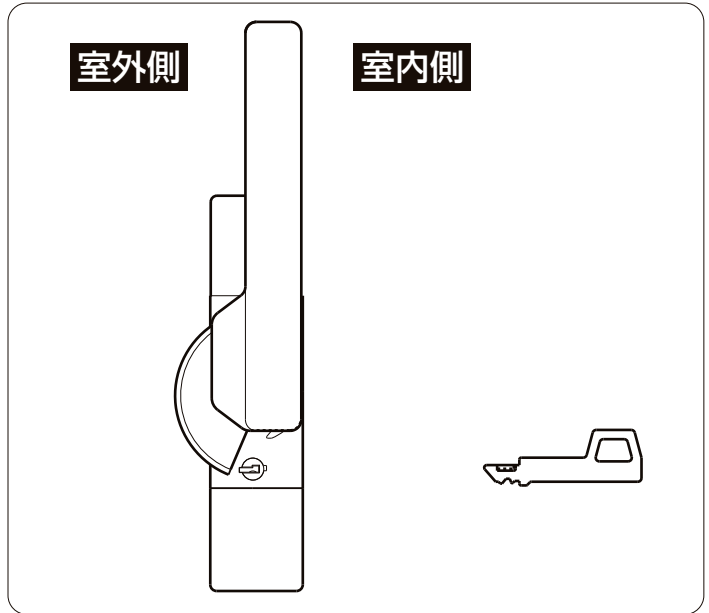
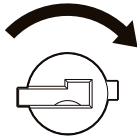
### ●鍵をかけるとき

●鍵を差込み反時計回りに回す。



### ●鍵をあけるときの

●鍵を差込み時計回りに回す。

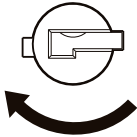


## ■PRESEA-H キー付クレセント操作方法

●キー付クレセントの施解錠は、下記に示す要領にて行ってください。

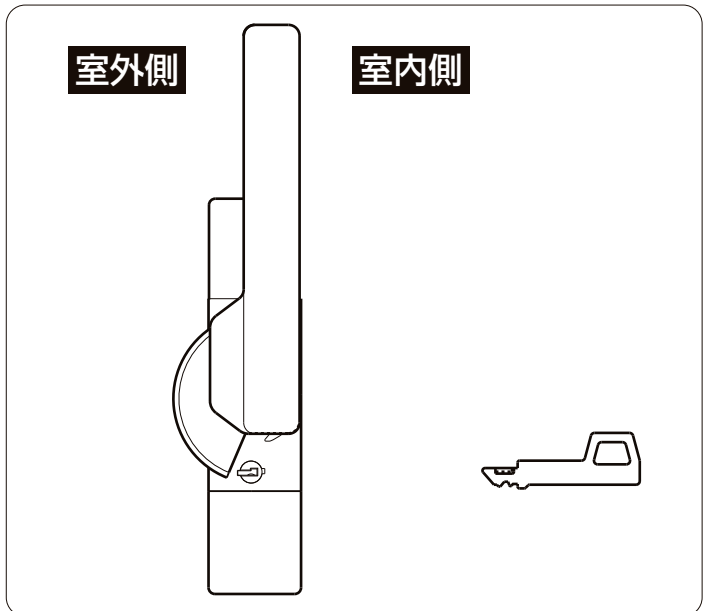
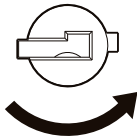
### ●鍵をかけるとき

●鍵を差込み時計回りに回す。



### ●鍵をあけるときの

●鍵を差込み反時計回りに回す。



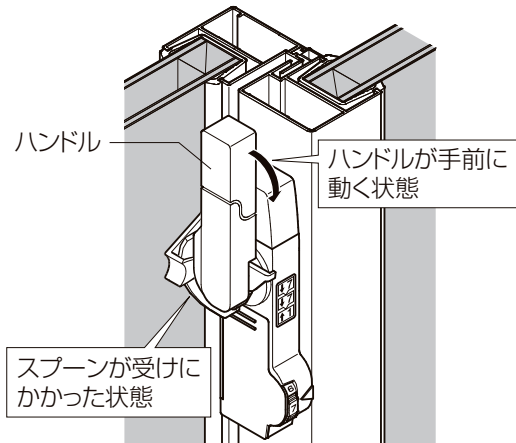
### 【サッシ金物の鍵について】

クレセントや小開口ストッパー等のサッシ金物の鍵は、堅固な施錠を保証するものではありません。いたずらや不正な解錠およびキーを完全に差し込まずに無理な力でキーを回す等の誤操作では、開いてしまう場合があります。

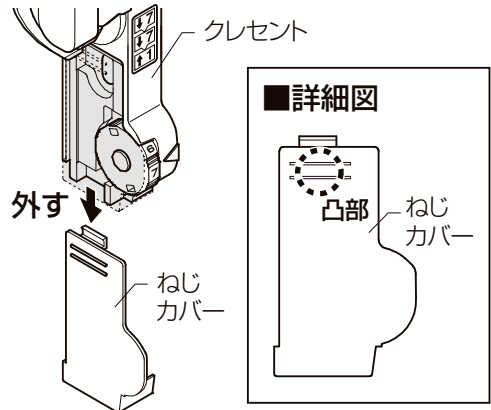
## ■ダイヤルロック付クレセントの施錠番号の変更方法

- 変更可能な番号は最終解錠番号(3番目に合わせる数字)のみとなります。最終番号の前に2回合せている番号は初期設定のパターンをもとに自動で決定されます。
- ハンドルがロックされた状態では番号を変更しないでください。正しい番号に変更できません。

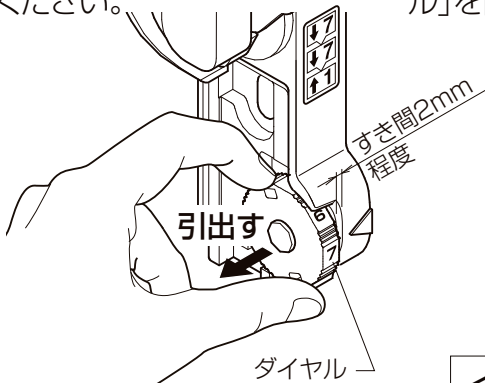
①クレセントを施錠状態にしてください。



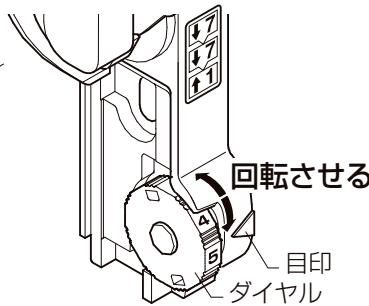
②クレセント下部の「ねじカバー」を下方方向にスライドさせ、外してください。(下図凸部に指をかけて外してください)



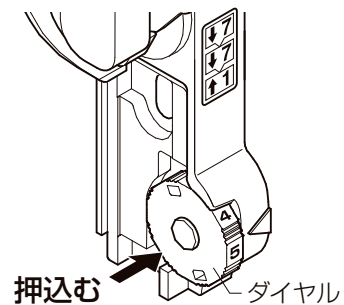
③「ダイヤル」を下図のようにつまんで垂直に引っ張ってください。



④「目印」に合うように、変更したい番号になるまで「ダイヤル」を回転させてください。

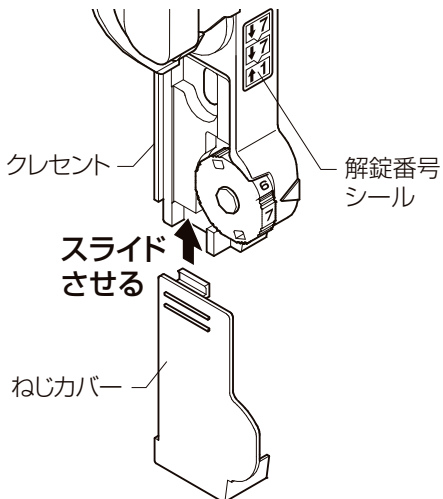


⑤「目印」と変更したい番号が合っていることを確認後、引き上げた「ダイヤル」を元の位置に押し込んでください。



※ダイヤルをつまんで上記のようにすき間ができるまで引っ張ってください。

⑥「ねじカバー」を上方向にスライドさせながら、取付けてください。



### ＜変更後の施錠番号の確認方法＞

●解錠番号の変更で、最終解錠番号を設定すると、それ以外の番号は下表のように自動的に変更されます。下表のA～Fの初期設定パターンを元に右の一覧表から変更後の番号を確認してください。

初期設定	お客さまが設定可能な解錠番号
A ↓8 ↑1	↓1 ↓2 ↓3 ↓4 ↓5 ↓6 ↓7 ↑2 ↑3 ↑4 ↑5 ↑6 ↑7 ↑8
B ↓7 ↑1	↓8 ↓1 ↓2 ↓3 ↓4 ↓5 ↓6 ↑2 ↑3 ↑4 ↑5 ↑6 ↑7 ↑8
C ↓6 ↑1	↓7 ↓8 ↓1 ↓2 ↓3 ↓4 ↓5 ↑2 ↑3 ↑4 ↑5 ↑6 ↑7 ↑8
D ↓5 ↑1	↓6 ↓7 ↓8 ↓1 ↓2 ↓3 ↓4 ↑2 ↑3 ↑4 ↑5 ↑6 ↑7 ↑8
E ↓4 ↑1	↓5 ↓6 ↓7 ↓8 ↓1 ↓2 ↓3 ↑2 ↑3 ↑4 ↑5 ↑6 ↑7 ↑8
F ↓3 ↑1	↓4 ↓5 ↓6 ↓7 ↓8 ↓1 ↓2 ↑2 ↑3 ↑4 ↑5 ↑6 ↑7 ↑8

(例) ↓7 の最終解錠番号を「1」から「5」に変更した場合

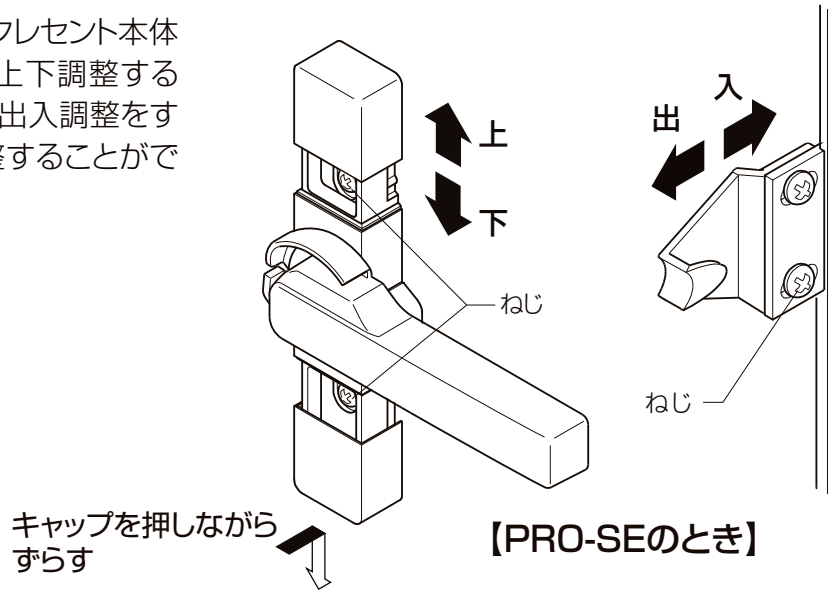
●左の一覧表の「初期設定」のうち、↓7の行(B行目)を見ます。

●「お客さまが設定可能な解錠番号」の中で、最終解錠番号が「5」のものは ↓3 ↑5 となります。

■ …最終解錠番号

## ■クレセントのかかり調整

- クレセントのかかりが悪くなったら、クレセント本体のキャップをずらしてねじをゆるめ上下調整するか、クレセント受のねじをゆるめて、出入調整をすることで、クレセントのかかりを調整することができます。



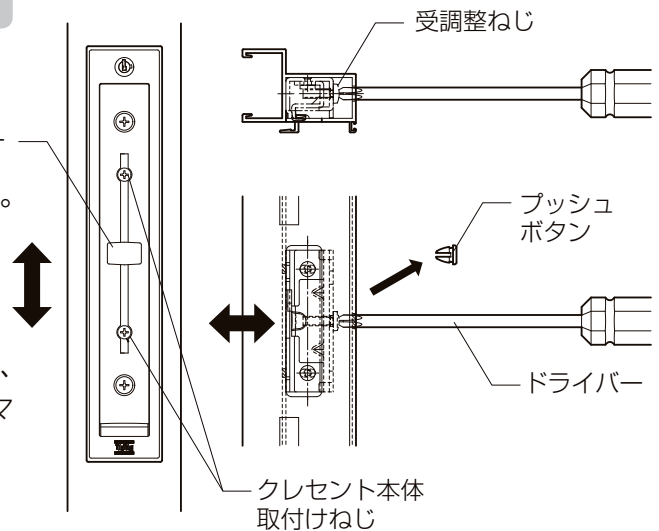
## ■内蔵クレセントのかかり調整

### ■クレセント本体

- ①カバーを下げてレバーを水平にします。
- ②クレセント本体取付けねじをゆるめます。
- ③レバーを持ってクレセント本体を上下に動かします。
- ④クレセント本体取付けねじを締めます。

### ■クレセント受

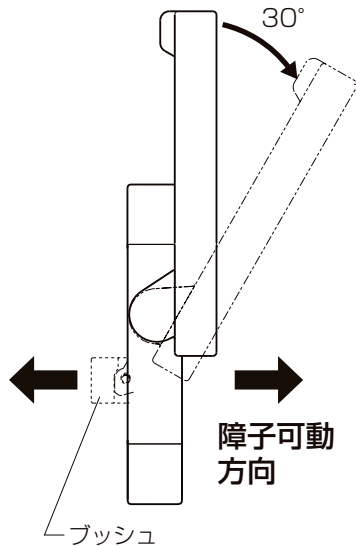
- ①召外かまちのプッシュボタンを外します。
- ②受調整ねじを時計回りに回すと引分けが強くなり、反時計回りに回すと引分けが弱くなります。(各々2mm調整可能)



## ■ 把手、引手、錠の種類(代表例)

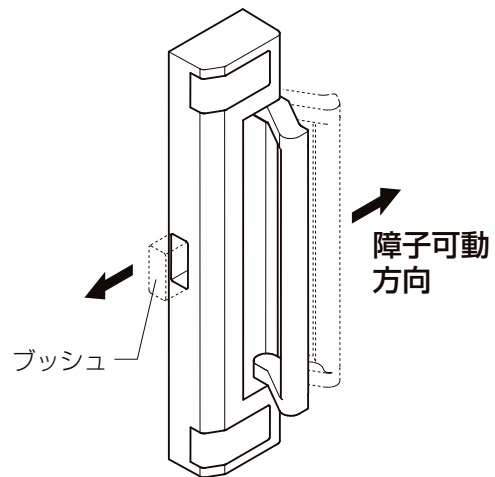
### ■ アシスト把手(オプション)

- ①クレセントを解錠してから操作してください。
- ②障子の可動方向にハンドルを傾けスライドさせます。
- ③ブッシュが出てきて、枠をけり出します。



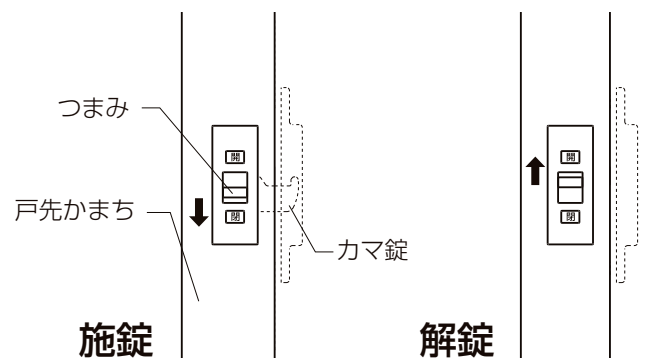
### ■ アシスト引手(オプション)

- ①クレセントを解錠してから操作してください。
- ②障子の可動方向に引手をスライドさせます。
- ③ブッシュが出てきて、枠をけり出します。



## ■ 戸先錠(オプション)(外部シリンダー付もあり)(PRO-SE)

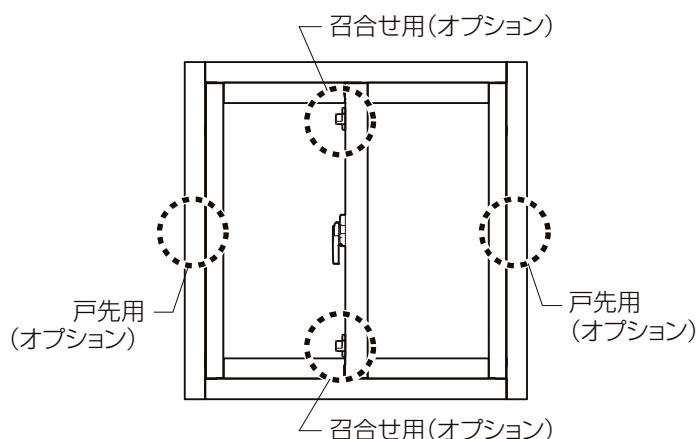
- ①つまみを下へさげると閉状態になり施錠されます。
  - ②つまみを上へあげるとカマ錠が収納されて開状態になり解錠されます。操作つまみが確実にあがっていることを確認(解錠)して障子进行操作してください。
- ※RMA-70G・TCについては、つまみを上へあげると閉状態になり施錠されます。  
つまみを下へさげると解錠されます。
- ※お出かけの際は、必ずクレセントと併用してください。  
クレセントを施錠しないと、気密性や水密性など、本来のサッシ性能値が保証できません。



# 引違い窓・片引き窓(両袖片引き窓) 指はさみ防止ストッパーの取扱い

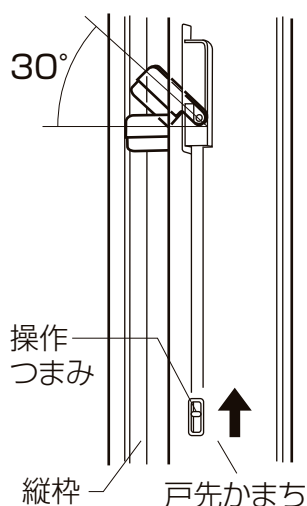
## ■ご使用上のお願い

- クレセントを解錠したら指はさみ防止ストッパーをセット状態にしてお使いください。また清掃時や網戸使用時は、解除状態でお使いください。
- 外障子を開けて網戸を使用するときは、解除状態で使用してください。虫などが侵入するおそれがあります。
- 上下2ヶ所付の場合は、セット時、解除時とも、2ヶ所のストッパー部は同じ状態で使用してください。(どちらか一方でのご使用はおやめください。)
- 障子を開閉する際強い衝撃を与えないでください。部品や形材が破損するおそれがあります。



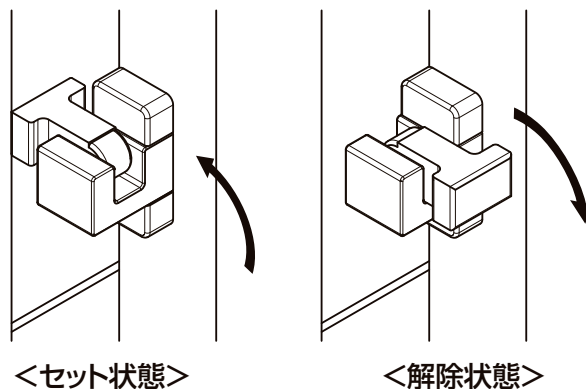
- 戸先かまちと召合せかまちの間に約25mmのクリアランスをつくり、指はさみによるケガに配慮しています。
- 外障子を開けて網戸を使用するときは、解除状態で使用してください。虫などが侵入するおそれがあります。

## ■戸先用(PRO-SE)



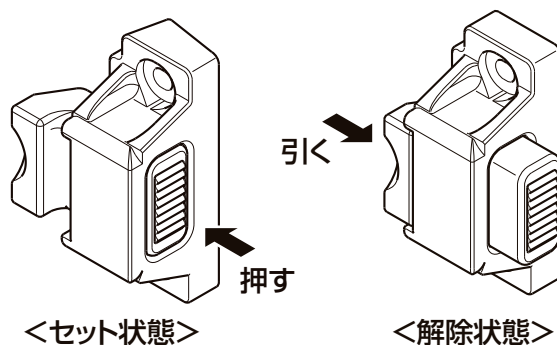
- 常時セット状態になっています。障子を閉めるときは、操作つまみを上へ押し上げながら閉めると、ストッパーが30°位回転しますので、そのまま閉めることができます。
- 戸先かまちとたて枠の間に約25mmのクリアランスをつくり、指挟みによるケガに配慮しています。

## ■起倒式(召合せ用・PRO-SE、PRESEA-S、H)



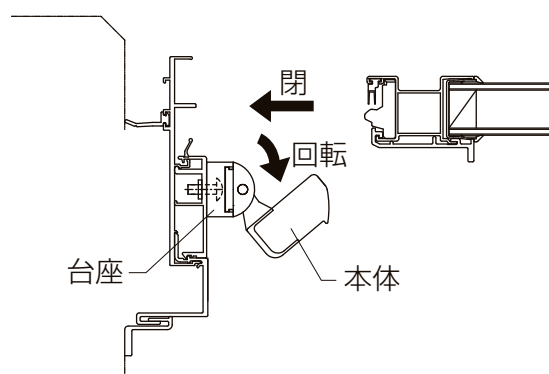
- <セット状態> <解除状態>
- (※SAMOS-H RFも同じです。)  
(※RMA-70G・TC、RMA-100、RMN-100用も形態はちがいますが起倒式です。)

## ■プッシュ式(召合せ用・PRO)



## ■戸先用(SAMOS-H RF)

- 障子を閉める際は、指はさみ防止部品本体を回転させた状態で、障子を操作してください。



# 引違い窓・片引き窓(両袖片引き窓) 小開口ストッパーの取扱い

## ▲ 注意

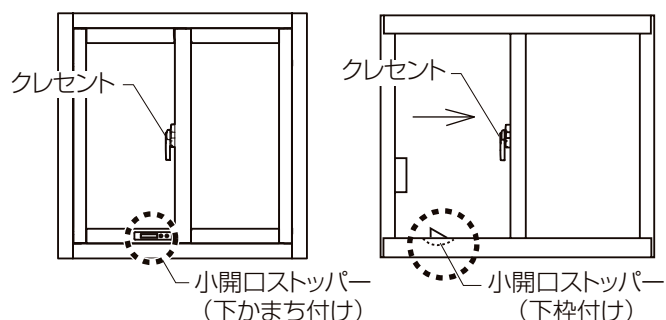
- 室外へ出られる際は、操作部が解除状態にあることを確認してください。使用状況によっては、ストッパーがセットされて室外側に閉じ込められることがありますので、特に小さなお子様に触れることのないよう、十分にご注意ください。

## ■ ご使用上のお願い

- 小開口ストッパーは、換気のため窓を少し開けてストップさせる部品です。就寝時、外出時は、必ずクレセントを施錠してお使いください。
- 障子を開閉する際、強い衝撃を与えないでください。部品が破損するおそれがあります。
- お掃除の際などに操作部が完全に回っている状態であることを定期的にご確認ください。

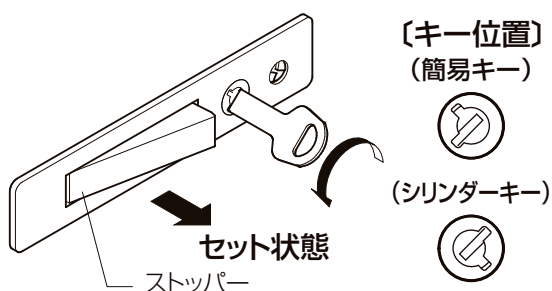
## ■ 小開口ストッパー(オプション)

- 障子の開口寸法を規制する部品です。

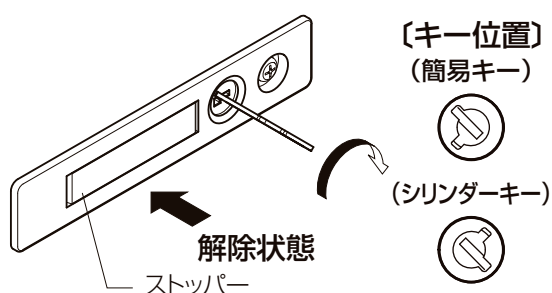


## ● 操作方法

### ■ キー操作タイプ

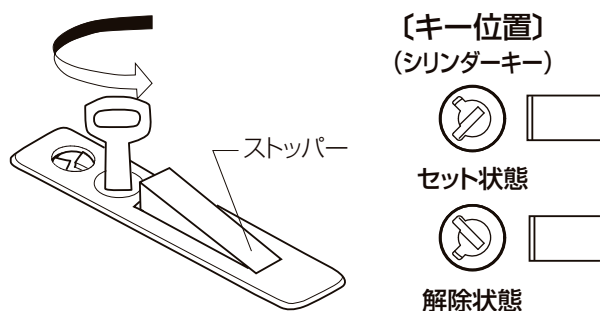


- キーを差し、左に回すとストッパーが起き、セット状態となります。セット後はキーを抜き、なくさないように保管ください。



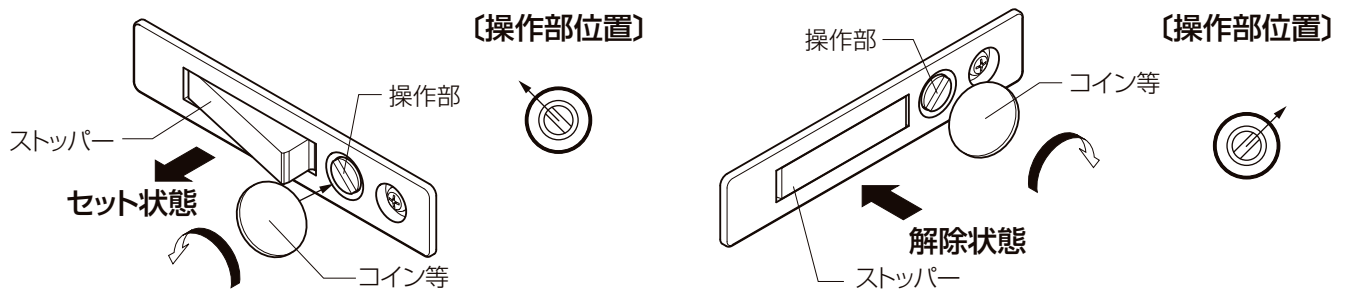
- 右に回すとストッパーが戻り、解除状態になります。

### ■ キー操作タイプ(下枠付け)



- キーを左に回すとセット状態になり、ストッパーがでます。逆に回すと解除します。

## ■コイン操作タイプ



●コイン等を使用し、操作部を左にストップするまで回すとストッパーが起き、セット状態となります。

●操作部を右にストップするまで回すとストッパーが戻り、解除状態になります。

### ▲注意

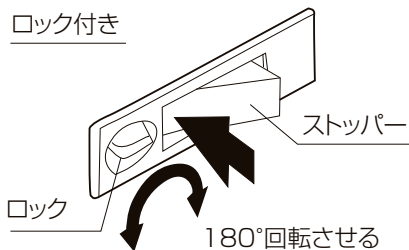
- 使用状況によっては、小開口ストッパーがセットもしくは解除状態となることがありますので、下記事項をお守りください。
- ・セットや解除の際は、操作部を中間位置の状態にせず、ストップするまで回してください。
- ・急激な障子の開閉はせず、引手部に手をかけてゆっくり行ってください。

〔中間位置の状態〕



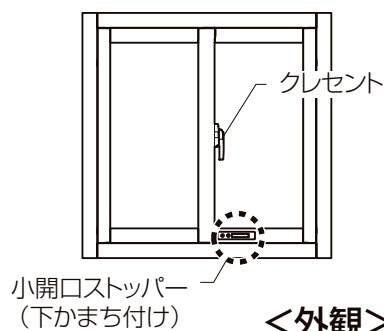
## ■ロック機構タイプ

ロック付き

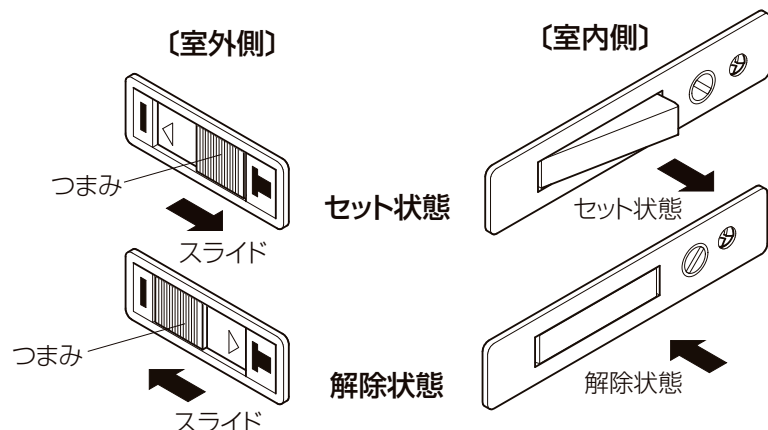


- 指でストッパーの端を押すとストッパーが起き上がってきます。起き上がらない場合は、ロックを反時計回りに180°回転させてからストッパーを押してください。
- ストッパーが起きた状態でロックを時計回りに180°回転させると固定されます。
- ストッパーが引っ込んだ状態でロックを180°回転させておくとストッパーは起きません。(誤作動防止)

## ■外部操作連動タイプ



- ツマミ部を凸方向にスライドするとセット状態になります。
- ツマミ部をI方向にスライドすると解除状態になります。



### 【サッシ金物の鍵について】

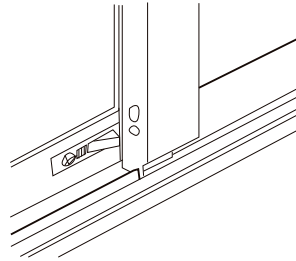
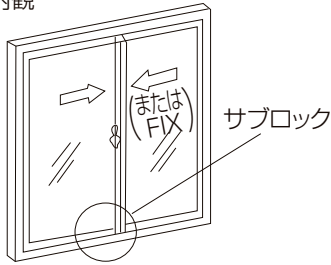
クレセントや小開口ストッパー等のサッシ金物の鍵は、堅固な施錠を保證するものではありません。いたずらや不正な解錠およびキーを完全に差し込まずに無理な力でキーを回す等の誤操作では、開いてしまう場合があります。

# 引違い窓・片引き窓(両袖片引き窓) サブロックの取扱い

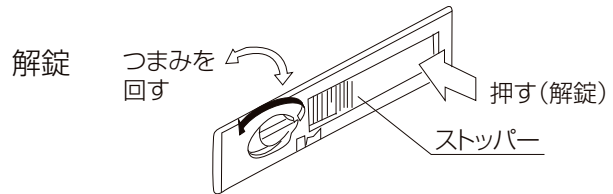
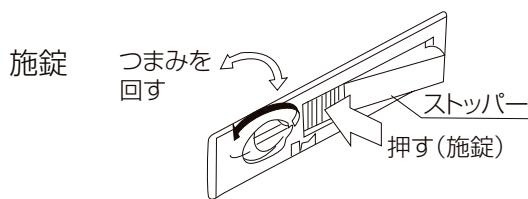
## ■ご使用上のお願い

- サブロック(防犯補助錠)は、必ずクレセントと併用して使用してください。
- お出かけや就寝の際は、クレセントを施錠するとともに、サブロック(防犯補助錠)もセットしてください。

内観

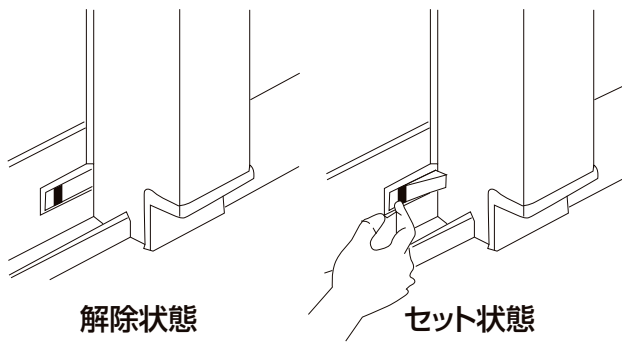


## ■ロック機構付(下かまち付け)



- つまみを左側にストップするまで回しストップ一部を起こしてください。そしてつまみを右側にストップするまで戻します。それによりストップが固定されます。

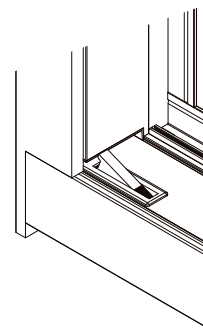
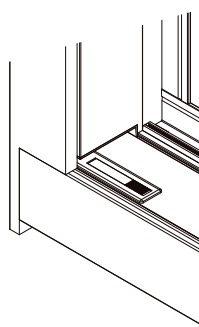
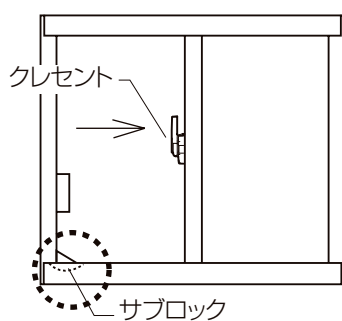
## ■ロック機構なし(下かまち付け)



- ①ストップ一部を押すことでセット状態にできます。
- ②セット状態を解除するときは、起き上がっている部分を押ししてください。
- ③下枠にサブロックが付いている場合もあります。

## ■ロック機構なし(下枠付け)

- ①ストップ一部を押すことでセット状態にできます。
- ②セット状態を解除するときは、起き上がっている部分を押ししてください。



解除状態

セット状態

# 換気小窓・換気かまちの取扱い

□PRO-SE □PRO □SAMOS-H RF

## ■ご使用上のお願い

- 降雨、強風時には、換気小窓のガラスを閉めて小窓締りを施錠してください。また換気かまちも、操作つまみを「閉」の状態にして換気口を閉じてください。
- 就寝、外出時には必ず換気小窓のガラスを閉めて施錠してください。

## ■換気小窓・換気かまち各部の名称

換気小窓・換気かまちの各部の名称は、下記のとおりです。

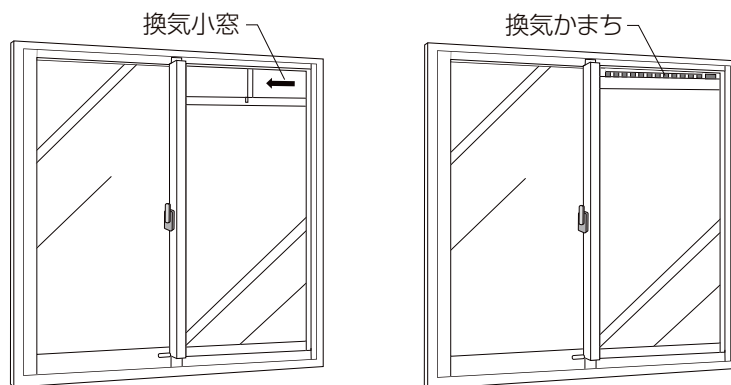
### 主要な部品

換気小窓

・小窓締り

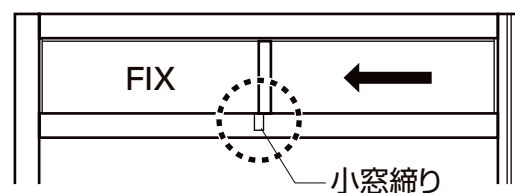
換気かまち

・操作つまみ



## ■換気小窓の操作方法

- 小窓中央部の小窓締りの開閉操作をすることで施錠できます。(商品により形式がちがいます。)

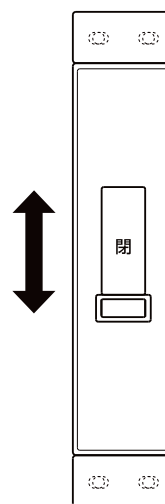


押しながら回転させると開閉できます。

<回転式>(PRO-SE)



<プッシュ式>(PRO)

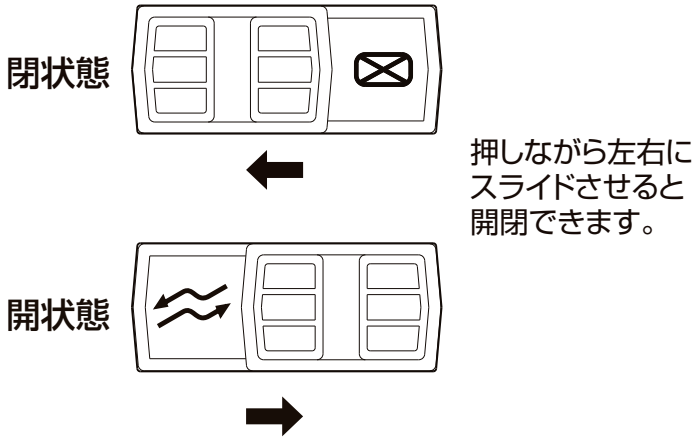


上下にスライドさせます。

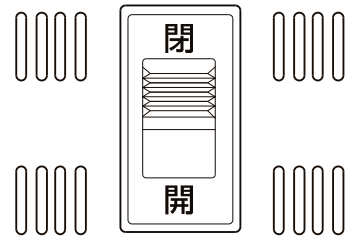
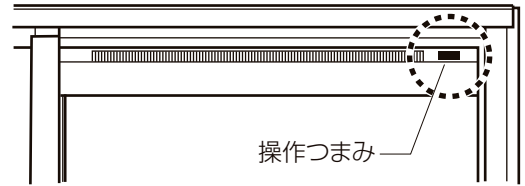
<スライド式>(PRO)

## ■換気かまちの操作方法

- 換気かまちの操作つまみをスライドさせることにより開閉します。(商品により形式・表記がちがいます。)



<スライド式> (PRO-SE)  
(SAMOS-H RF)



上下にスライドさせます。

<スライド式> (PRO)

## ■換気小窓の網戸お手入れ後の注意

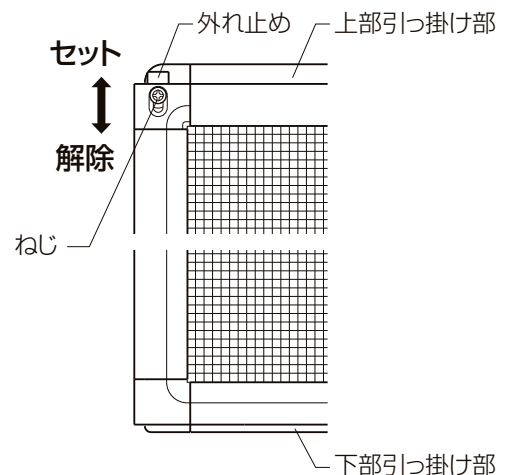
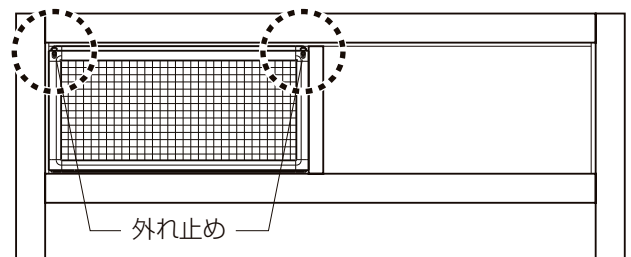
### ▲注意

- お手入れなどの後、網戸を取付けたときは表示ラベルに従って外れ止めを必ずかけてください。また、ご使用中、外れ止めがずれることがあります。時々点検してください。外れ止めが正しくかかっていないと網戸の落下による事故(人身・物損)につながるおそれがあります。

## ●網戸外れ止めのセット方法

- ①網戸の上部引っ掛け部を換気小窓に引っ掛けます。
- ②次にケンドンで下部引っ掛け部を引っ掛けます。
- ③外れ止めのねじを上へずらして締め付けます。(左右2カ所)
- ④網戸が外れないことを確認してください。

### 〔外観〕



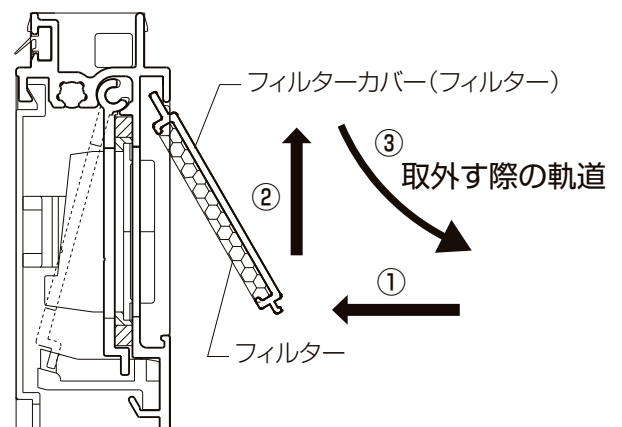
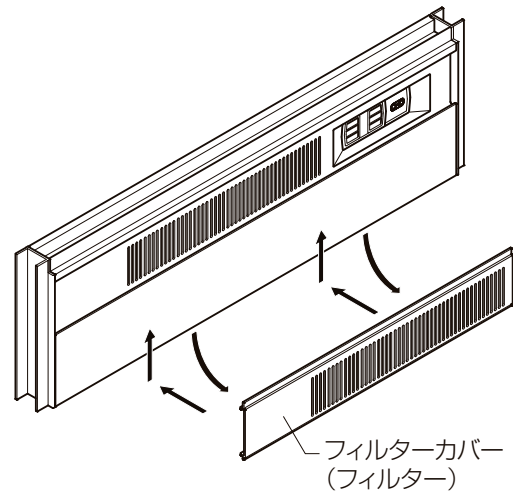
## ■換気かまちのフィルターのお手入れ

### ■お手入れ時のお願い

- 目安として半年ごとの清掃をおすすめします。
- フィルターカバーを取付けた後は、換気かまちに正しく納まっていて、外れないことを確認してください。

### ●お手入れ方法

- ①フィルターカバーを上へ押し上げ、側面を指で引っ掛けて手前側に外します。
  - ②取外したフィルターの汚れが少ない場合は、軽く手でたたいて落としてください。
  - ③汚れがひどい場合は、フィルターカバーごと水またはぬるま湯につけて押し洗いをするか、シャワーなどで洗い流してください。
- ※その際、フィルター自体をもみ洗いしたり、強く絞ったりしますと、フィルターの繊維がほつれたり破れたりしますので注意してください。
- ④洗浄後は、自然乾燥を十分してください。
  - ⑤換気かまちへの取付けは、取外しと逆の要領で行ってください。



【換気かまち断面図】

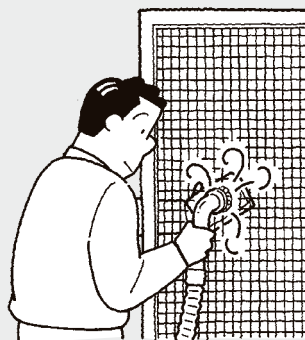
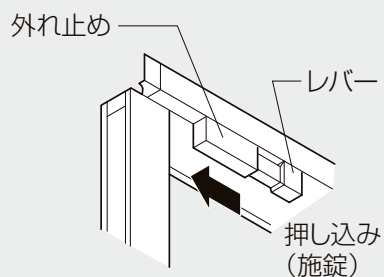
※フィルターカバーが新規に必要なときは、当社お客様担当窓口へお問合せください。

# 網戸の取扱い

□可動 □固定 □自走防止ストッパー付網戸

## ▲注意

- 外れ止め部品、自走防止部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠から外れて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・可動網戸を開閉した後は、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ずかけてください。
  - ・お手入れなどで網戸を外し、再び窓枠に取付けるときは、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ずかけてください。
- 網戸は定期的に清掃してください。網の目がほこりなどで目詰まりすると、強風時に風圧を受けて網戸が落下し、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。
- この製品は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。網戸に寄りかかったり押ししたりしないでください。人身事故につながるおそれがあります。
- 網戸に寄りかからないでください。また、押さないでください。網が破れたり、網戸が枠からはずれてケガをするおそれがあります。特に、お子様にはご注意ください。

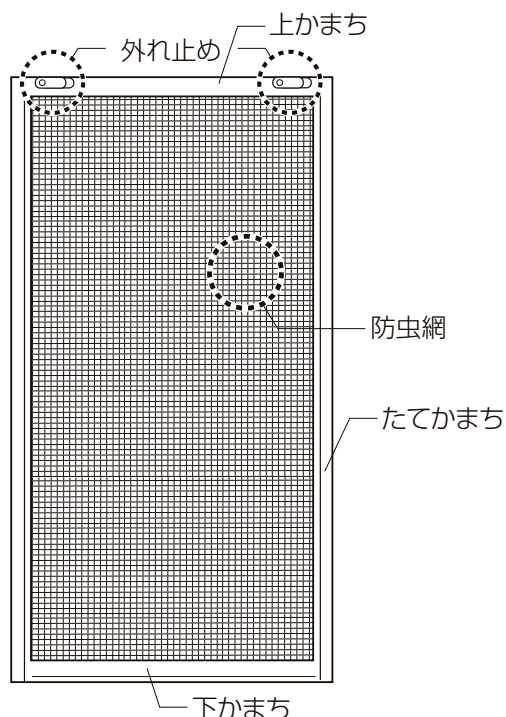


## ■可動網戸各部の名称

可動網戸の各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

- ・外れ止め
- ・戸車
- ・防虫網
- ・上かまち
- ・下かまち
- ・たてかまち



## ■ご使用上のお願い

- 障子開閉した場合、すきまを防ぐための部品のあたりが強かったりすることで、網戸も一緒に動く時がありますが特に製品上の不具合ではありません。

## ■網戸の防虫性について

- 網戸の防虫性は、網目より大きい虫などを防ぐには効果があります。しかし、網戸を可動させるために微小すき間があるため、使用環境によっては、網目より小さな虫やはい回る虫などが侵入する場合があります。

はい回る虫(カメムシ、テントウムシ、アリ等)は、光や暖気、観葉植物を好みわずかなすき間からでも、押し入ろうとする習性があります。

従って、網戸があっても、このような習性を持つ虫の侵入を完全に止めることはできません。

万一、虫が室内へ侵入した場合は、殺虫剤等による駆除をお願いします。

## ■可動網戸操作方法のお願い

- 開閉操作は縦かまちの中央付近を持ってゆっくり行ってください。

上部や下部を持って操作すると網戸が斜めになり開閉が重くなったり、スムーズに作動しない場合があります無理な力がかかって破損の原因になります。

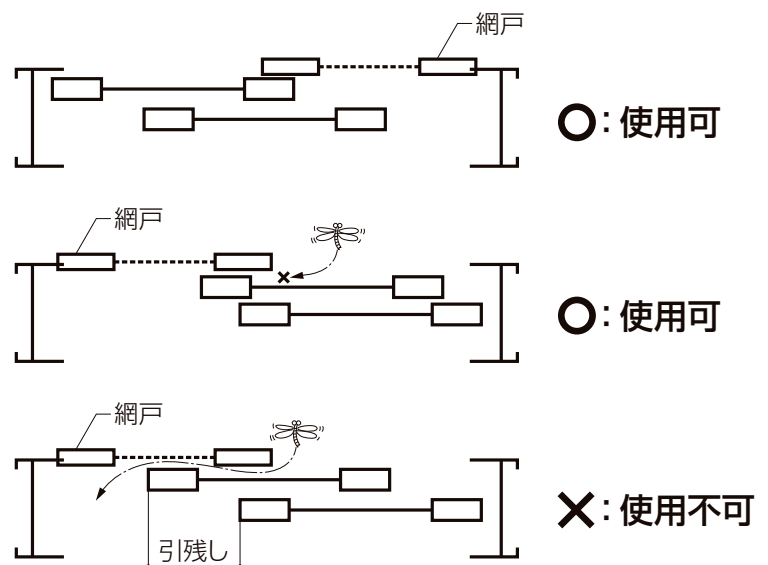
## ■可動網戸の使い方(戸先安全仕様およびアシスト把手・大型把手使用時の障子引残しがあるとき)

### ■2枚建ての場合

- 網戸を使用するときは、右側の障子を開けて網戸を右に寄せて使用してください。左側の障子を開けて使用するには、障子を全開にして使用してください。

左側の障子を半開き状態で使用すると、虫が入るおそれがあります。

- ※戸先安全仕様およびアシスト把手・大型把手使用時は、右側の障子を開けて、使用してください。

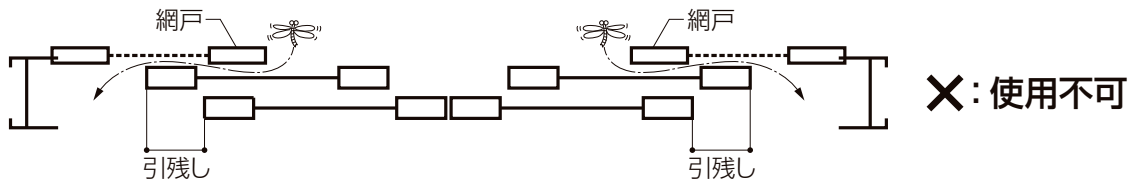
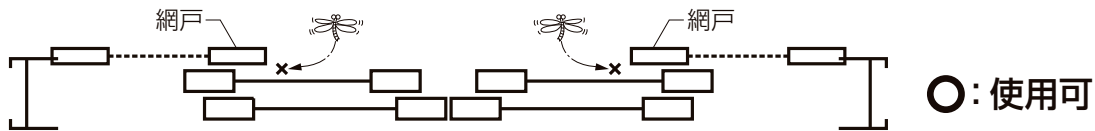
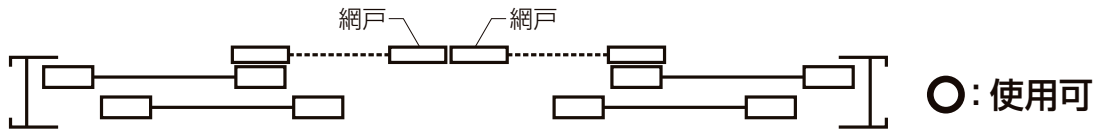


## ■4枚建ての場合

●網戸を使用するときは、中央の障子を開けて網戸を2枚とも中央に寄せて使用してください。左右たて枠側の障子を開けて使用する場合には、障子を全開にして使用してください。

左右たて枠側の障子を半開き状態で使用すると、虫が入るおそれがあります。

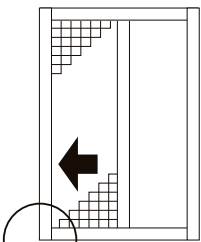
※戸先安全仕様およびアシスト把手・大型把手使用時は、中央の障子を開けて、使用してください。



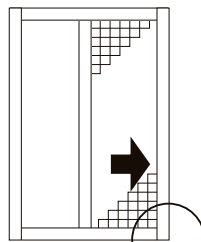
## ■PROシリーズ 可動網戸ご使用上のお願い

強風時に網戸が自走するのを防止する為、風が強い日等は次のようにご使用ください。

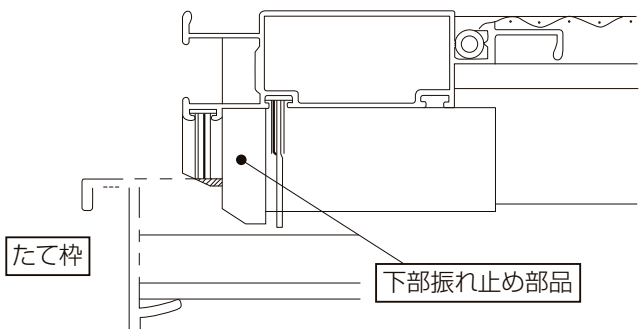
〈室内観左側の時〉



〈室内観右側の時〉



※網戸下部をやや強めに、たて枠にカチッと音がるまで押し当ててください。下図のように網戸下部振れ止め部品がたて枠に噛み込みます。



### ■網戸操作お願いラベル

お願い	右側の時	図の矢印部分を、カチッと音がするまで枠に押し当て、閉めてください。強風の際に、網戸が風で動くことがあります。
	左側の時	

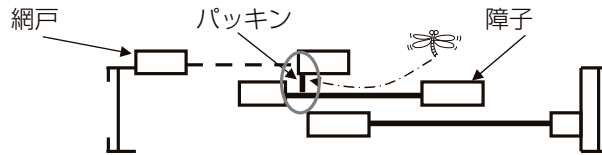
■可動網戸で使用上のお願い(片引き窓(外動)、引分け窓(外動)で障子の引残しが多いとき)

●上記のタイプでは、虫が入りにくくするために、網戸とガラスの間をふさぐパッキンを取付しています。

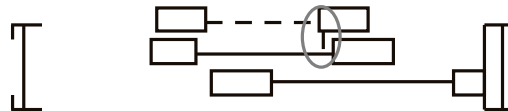
そのため、網戸を開けた状態から障子を閉めると、網戸も一緒に動く場合があります。

片引き窓

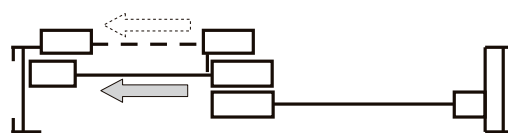
・網戸使用時



・網戸を開けたとき

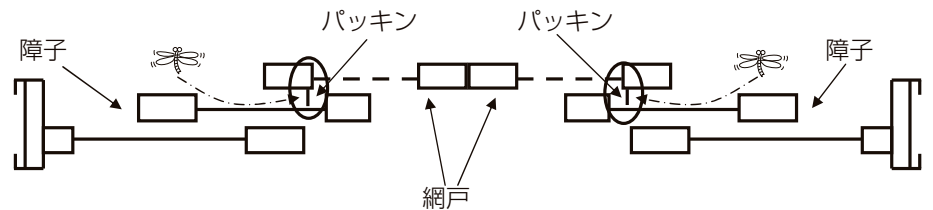


・障子を閉めたとき



引分け窓

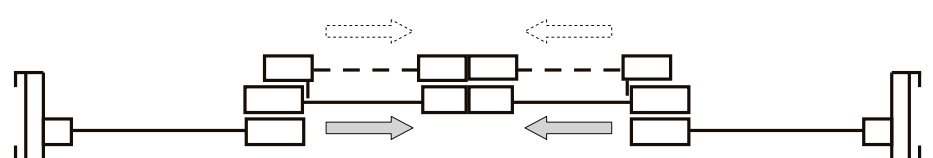
・網戸使用時



・網戸を開けたとき



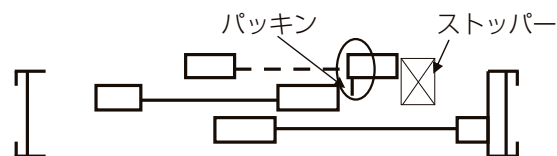
・障子を閉めたとき



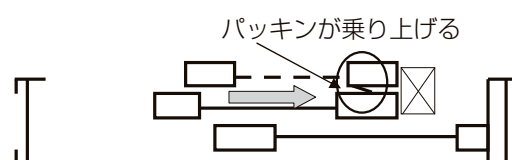
また、網戸を全開にした状態で障子を開けると、パッキンが障子に乗り上げた状態となるため、障子および網戸の操作が重くなります。

また、このパッキンが障子に乗り上げた状態のまま放置しないでください。パッキンにクセがつき、虫の侵入の原因になる場合があります。

・網戸を全開にした状態



・網戸を全開にした状態で障子を開けたとき

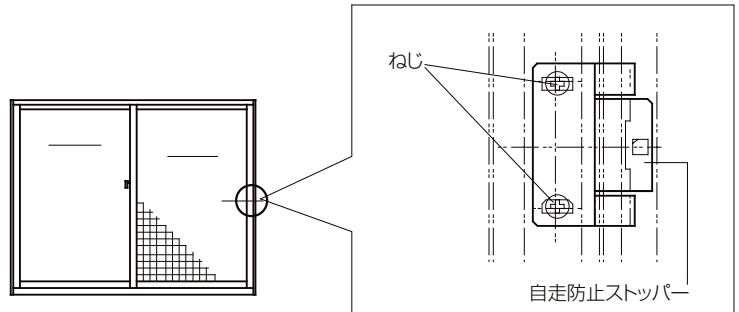


## ■オプション部品のご使用上のお願い

### ■自走防止ストッパー(オプション)(PRO-SE、PRESEA-S、PRESEA-H)

#### ■ご使用上のお願い

- 自走防止ストッパー付網戸は突風による網戸の自走を防止する為に固定式となっています。網戸の開閉や逆側への移動はできません。網戸使用時にはねじを外さないでください。網戸の外れ止めも必ずセットした状態としておいてください。セット方法は44頁を参照ください。



- 網戸の清掃時は網戸を外さず、やわらかい布や電気掃除機を使用して行ってください。

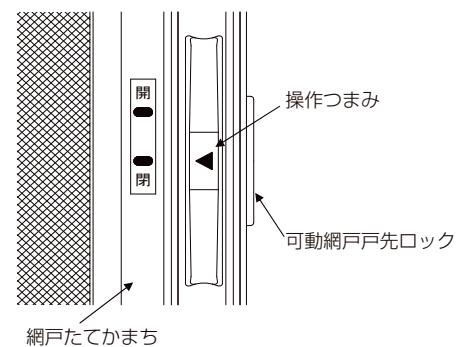
### ■可動網戸先ロック(オプション)(PRO-SE、PRESEA-H)

#### ■ご使用上のお願い

- 通常時には、可動網戸先ロックを施錠してください。風により網戸が自走し、部品等が破損するおそれがあります。網戸の外れ止めも必ずセットした状態としておいてください。(セット方法は44頁を参照ください)

#### 【操作方法】

- ①操作つまみを下げると網戸がロックされます。
- ②操作つまみを上げるとロックが解除され、網戸が開閉できるようになります。

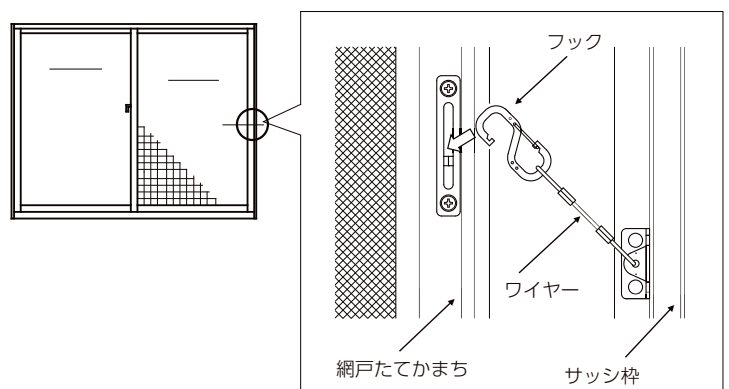


### ■可動網戸自走防止 ワイヤーフック(オプション)

(PRO、RMA-70G・TC、RMN-100、SAMOS-H RF、RMA-100、RM-100N・TB)

#### ■ご使用上のお願い

- 通常時には、網戸にフックをかけてください。風により網戸が自走しないようにしてください。網戸の外れ止めも必ずセットした状態としておいてください。セット方法は44頁を参照ください。



## ■お手入れの場合の可動網戸の外し方

網戸を外す場合、外れ止め部品を解除してください。  
外れ止め部品の解除およびセット方法をご確認ください。

### ■外れ止め部品のセット(その1)

- 外れ止め部品は網戸の落下を防止するために取付けられている部品です。必ずセットしてください。
- 外れ止め部品セット後は、必ず網戸が外れないことを確認してください。
- 掲載以外の商品は、外れ止め形式が異なりますので商品貼付の本体表示ラベルの表示内容をお守りください。

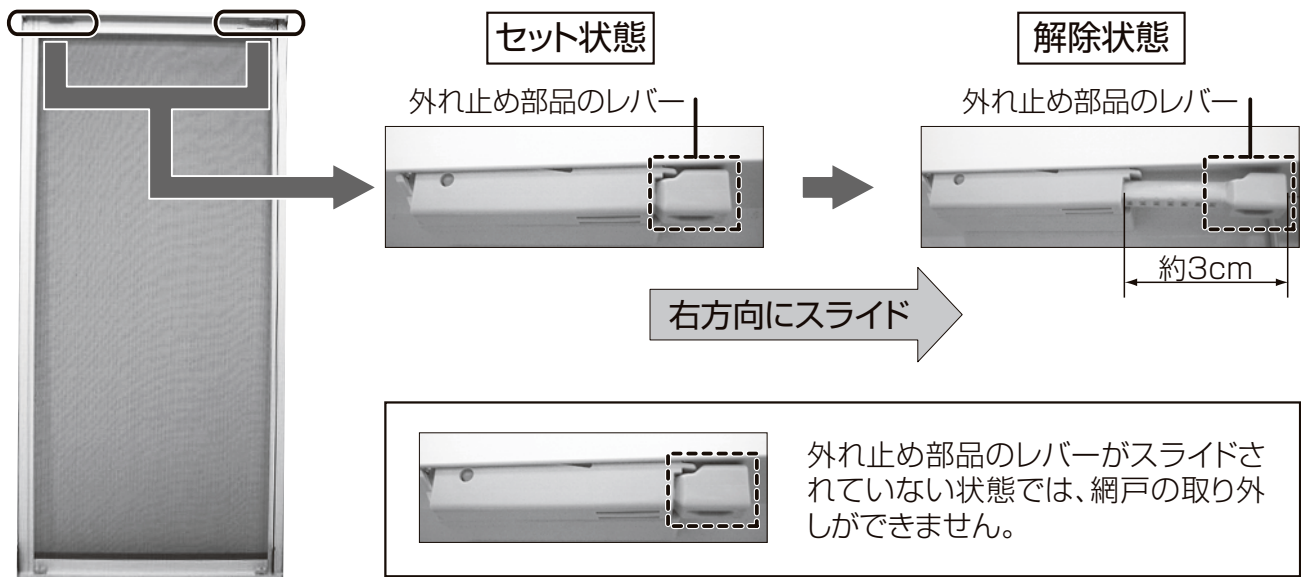
形式	商品名	外れ止め位置	取外し手順	セット手順	セット方法
可動網戸・自走防止ストッパー付き網戸	PRO-SE PRESEA-S PRESEA-H	外れ止め位置  ロック② ← → 解除① → ③ 1段階引出す	①レバーをいっぱい引き出します。 ②網戸を持ち上げ外します。	①操作レバーをいっぱい引出して網戸を建込みます。 ②建込み後、操作レバーをいっぱい押込んで網戸の開閉をします。 ③スムーズに開閉できなければ、操作レバーを1段階引出します。(最大の引出しは2段階までにご確認ください)	※商品により形式が異なります。本体表示ラベルを貼付しています。 表示内容をお守りください。
	PRO	※両端に寄せると解除される。 	①つまみを両端に押します。 ②網戸を持ち上げ外します。	①つまみをドライバー等で両端に押します。 ②網戸を持ち上げ建込みます。 ③つまみが内側にもどっていることを確認します。また、網戸を持ち上げ、下を外に押して外れないことを確認します。	
	RMA-100 RMN-100	内観図 A部つまみ A部つまみ 施錠位置 解錠位置 網戸レール ガイド A部詳細図 B部詳細図 	①つまみを解錠位置に移動します。 ②網戸を持ち上げ外します。	①つまみを解錠位置(右側)に移動します。 ②網戸を上枠レールに入れ建込みます。外付けおよび持ち出し網戸はガイド(B部詳細図)をサッシレールに入れます。 ③建込み後、つまみが施錠位置にあることを必ず確認します。(自動で左側に戻ります) ※建て込みを途中で中断したりするとつまみが施錠位置に戻ってたりしますので、再度①～③の手順でやり直してください。	
	PRO-SE ES・EM・ JS・JM シリーズ SAMOS-H RF	外れ止め ロック 解除 	①外れ止め金具のねじをゆるめます。 ②外れ止めをいっぱい下げます。 ③網戸を持ち上げ外します。	①外れ止め金具のねじをゆるめます。 ②網戸の開閉に支障のない範囲でいっぱい上げます。 ③ねじを締めます。 ④網戸を持ち上げ、下部を外に押して外れないことを確認します。	
	PRO-SE JS・JM シリーズ SAMOS-H RF	つまみ 	①網戸を外す時は、つまみをドライバーなどで引き出してから外してください。	①つまみを手で押し込むか、縦枠に当てて押し込んでください。	

### ■本体表示ラベルの表示例(PRO-SE)

<b>▲ 注意</b> 網戸落下防止のため、外れ止め部品を必ず2箇所かけてください。	<b>外れ止め調整方法</b> 網戸を窓枠に取付けます。レバーを止まるまで押し込みます。開閉が重い場合、2目盛りまで戻すことができます。3目盛り戻すと網戸が外れるおそれがあります。 *調整(2目盛りまで)		PRO-SE	123456789
			A3060512	12/34

## ■ 網戸の取外し方 (PRO-SE用網戸の場合)

① 網戸上部の左右2箇所の外れ止め部品のレバーを止まるまでスライドし解除状態にしてください。



② 網戸を上側に止まるところまで持ち上げた状態で室外側に引いて、網戸をサッシ下部のレールから取り外してください。



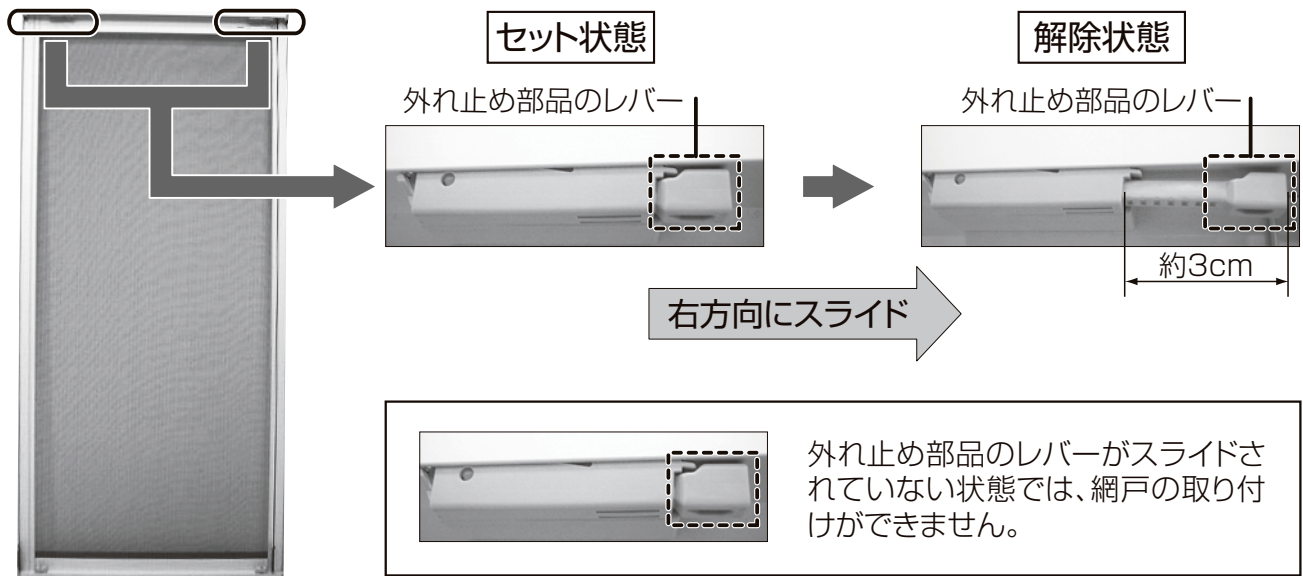
室外側に足場がない場合は、室内側から網戸を取り付けてください。

### ▲ 注意

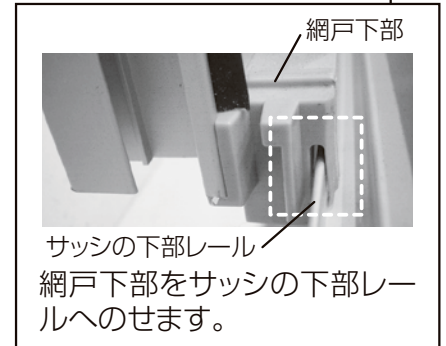
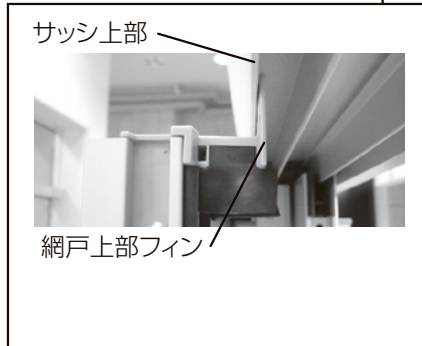
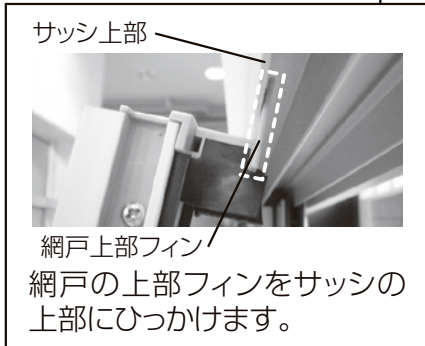
- 網戸を持ち上げるときに、力をかけ過ぎないでください。外れ止めが破損するおそれがあります。
- 室内側から網戸を取り外す場合は、室外側に網戸を落下させないように注意してください。

## ■ 網戸の取付け方 (PRO-SE用網戸の場合)

① 網戸上部の左右2箇所の外れ止め部品のレバーを止まるまでスライドし解除状態にしてください。



② 網戸を上側に止まるまで持ち上げた状態で室内側に押し、網戸をサッシの下部レールに取り付けてください。

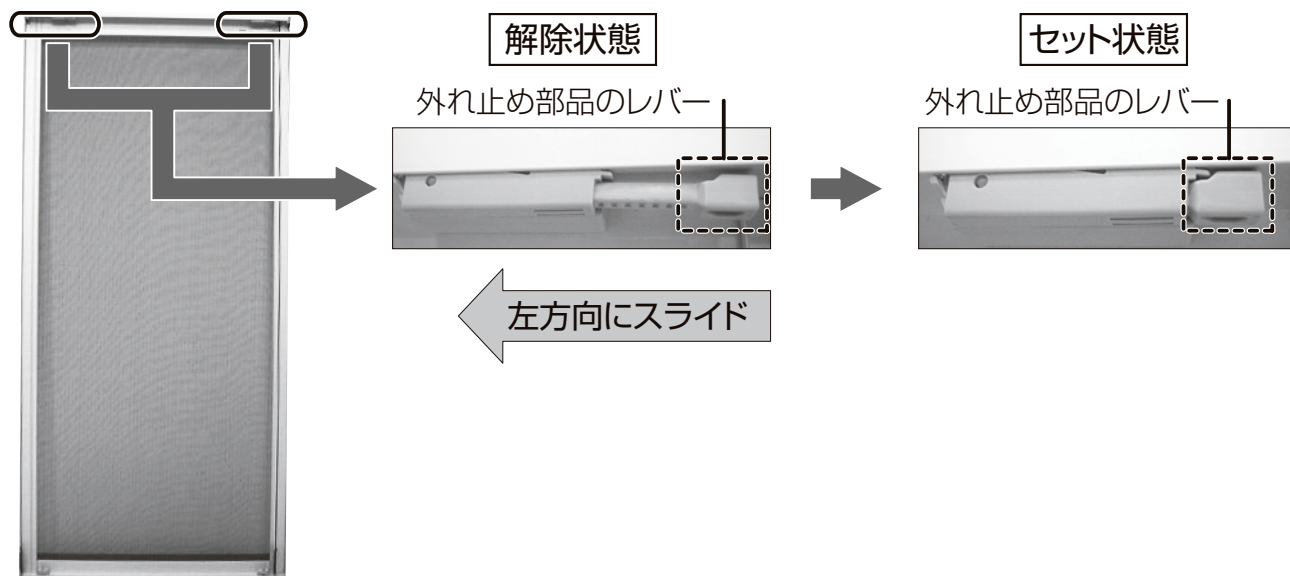


室外側に足場がない場合は、室内側から網戸を取り付けてください。

### ▲ 注意

● 室内側から網戸を取り外す場合は、室外側に網戸を落下させないように注意してください。

③取り付けられた網戸上部の左右2箇所の外れ止め部品のレバーを止まるまでスライドし、セット状態にしてください。



④網戸を動かしてみて重い場合には、網戸上部の左右2箇所の外れ止め部品のレバーを1目盛り、または2目盛り戻してください。

1目盛り戻した場合



2目盛り戻した場合



### ▲ 注意

●網戸外れ止めのレバーは3目盛り以上戻さないでください。3目盛り戻すと網戸が外れるおそれがあります。

⑤網戸を上側に止まるまで持ち上げた状態で室外側に引いて、網戸がサッシ下枠のレールから外れないことを確認してください。

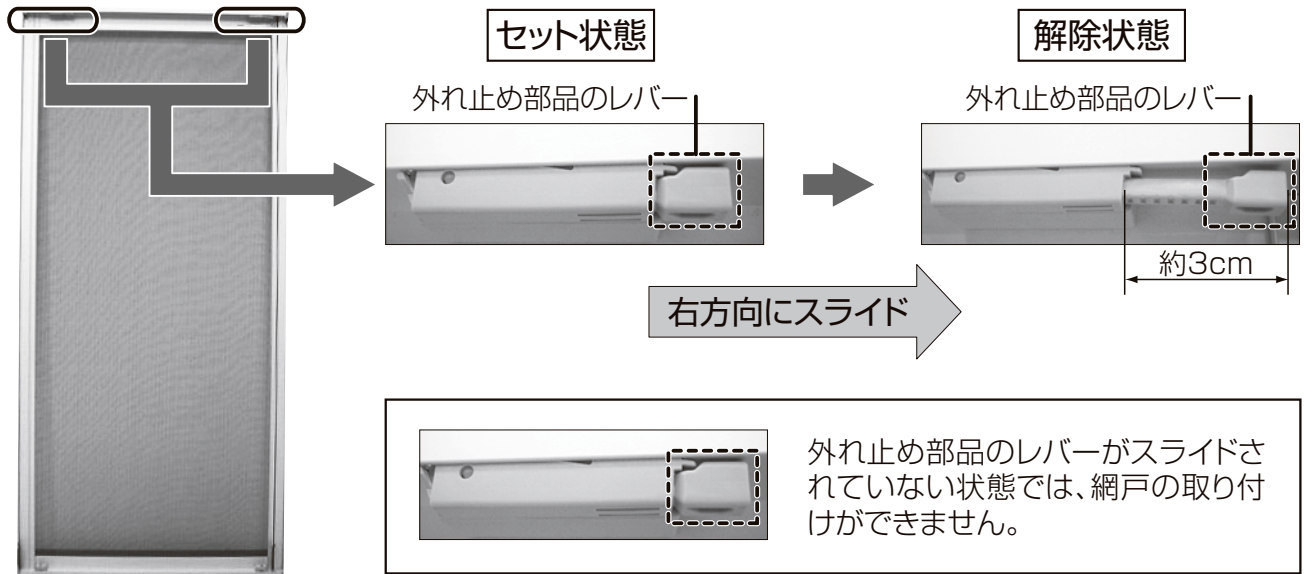


### ▲ 注意

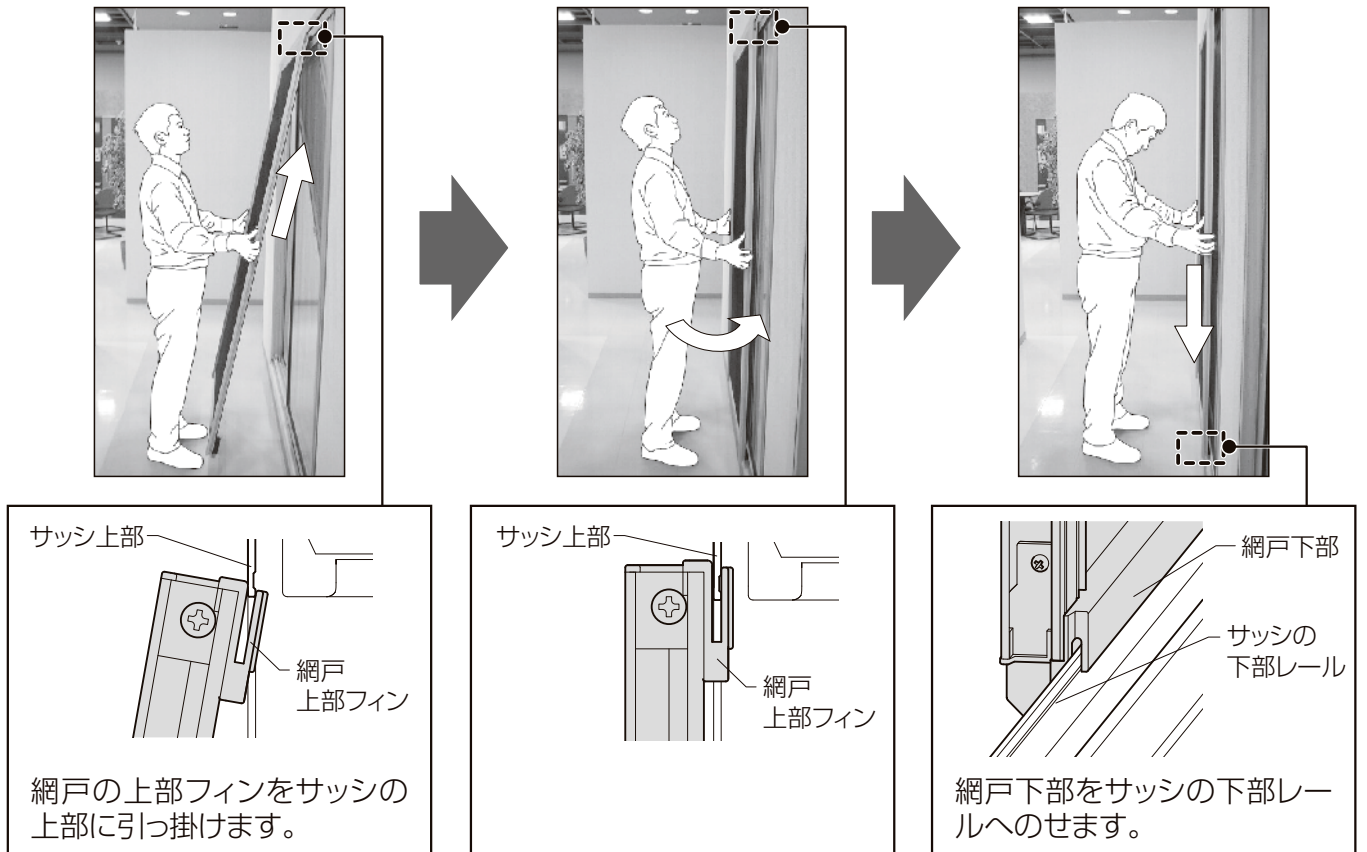
●網戸を持ち上げるときに、力をかけ過ぎないでください。外れ止めが破損するおそれがあります。

■ 網戸の取付け方 (PRESEA-S用網戸の場合)

① 網戸上部の左右2箇所を外れ止め部品のレバーを止まるまでスライドし解除状態にしてください。



② 網戸を上側に止まるまで持ち上げた状態で室内側に押し、網戸をサッシの下部レールに取り付けてください。外れ止め部品のセットは47頁を参照ください。



室外側に足場がない場合は、室内側から網戸を取り付けてください。

**▲ 注意**

● 室内側から網戸を取り付ける場合は、室外側に網戸を落下させないようにご注意ください。

## ■ 外れ止め部品のセット(その2 RMA-70G・TC)

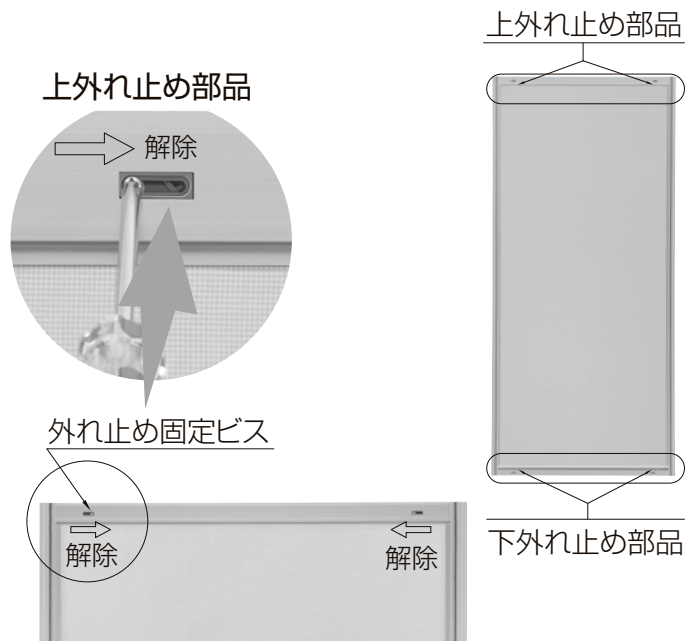
- 外れ止め部品は網戸の落下を防止するために取付けられている部品です。必ずセットしてください。
- 外れ止め部品セット後は、必ず網戸が外れないことを確認してください。
- 掲載以外の商品は、外れ止め形式が異なりますので商品貼付の本体表示ラベルの表示内容をお守りください。

### ①外れ止めの解除

※必ず、上外れ止め部品から解除してください。

### ■上外れ止め部品の解除方法(左右2ヶ所)

(+)ドライバーで外れ止め固定ビスをゆるめ  
そのまま解除方向へビスをスライドしてください。

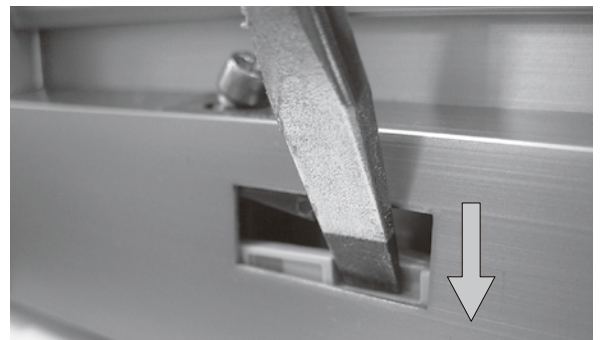


### ■下外れ止め部品の解除方法(左右2ヶ所)

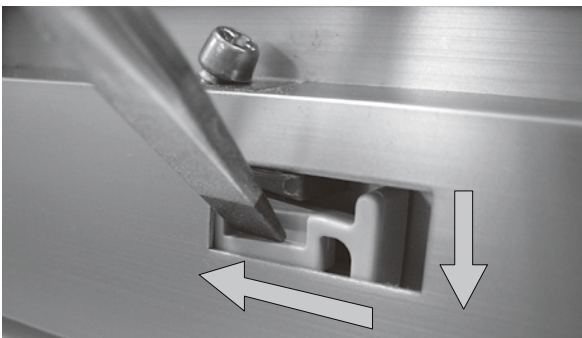
①(-)ドライバーをスライダーの溝に差込んでください。



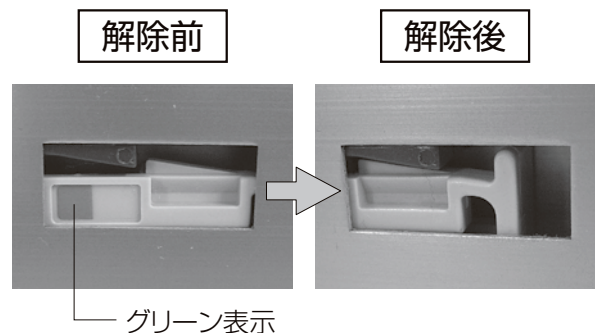
②差込んだ(-)ドライバーを下方に下げてください。



③下に下げながら解除方向へスライドしてください。  
(この時、網戸を少し持上げるとスムーズにスライドします)



④スライドしてグリーン表示が見えなくなると解除完了です。



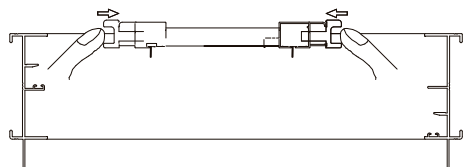
※上図①～④は左側部品の解除方法となります。(右側部品は対称となります)

## ②外れ止めのセット

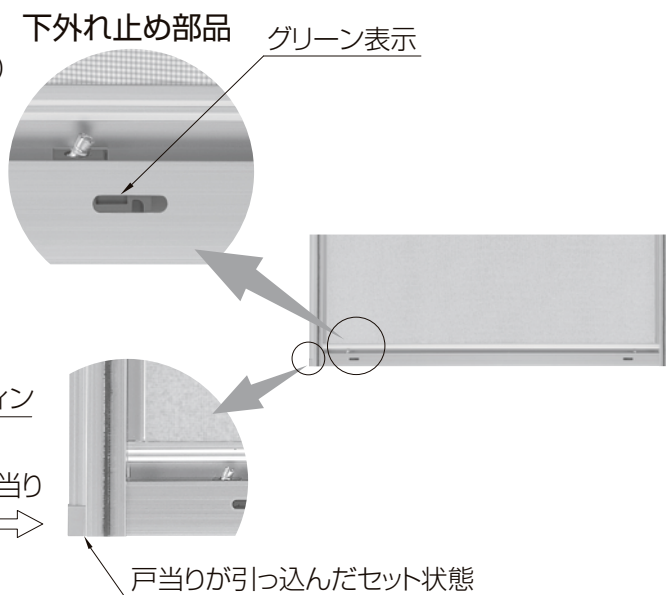
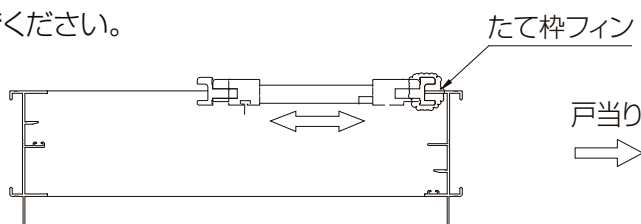
※必ず、下外れ止め部品からセットしてください。

### ■下外れ止め部品のセット方法(左右2ヶ所)

- ①飛び出している戸当りを指で押し込んでください。  
(網戸を少し持ち上げると押し込みやすくなります。)

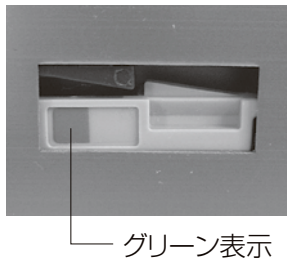


- ②手が届かず押し込みができない場合は、たて枠フィンや障子ストッパーにそえた状態で押し込んでください。



※下外れ止め部品の戸当りは、確実に押し込んでください。

※セット状態になると、四角い切欠き部にグリーン表示が見えます。

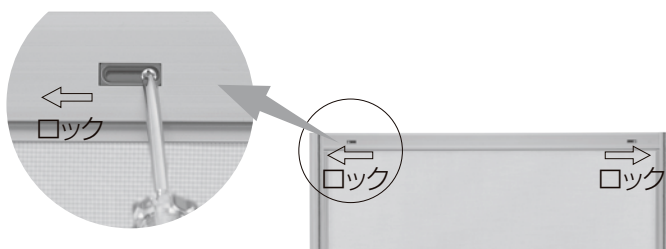


### ■上外れ止め部品のセット方法(左右2ヶ所)

- (+)ドライバーでビスをロック側にスライドさせ、止まったところでビスを固定します。

※外れ止めビスの締めすぎに注意してください。

#### 上外れ止め部品



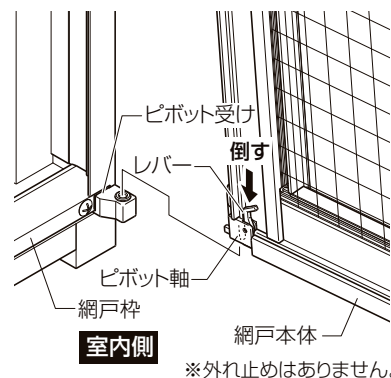
## ■お手入れの場合の固定網戸・開き網戸の外し方

### ■外れ止め部品のセット(その3)

- 外れ止め部品は網戸の落下を防止するために取付けられている部品です。必ずセットしてください。また、商品により形式が異なりますので商品貼付の本体表示ラベルの表示内容をお守りください。
- 外れ止め部品セット後は、必ず網戸が外れないことを確認してください。
- 掲載以外の商品は、外れ止め形式が異なりますので商品貼付の本体表示ラベルの表示内容をお守りください。

形式	商品名	外れ止め位置	取外し手順	セット手順	セット方法
内倒し窓用固定網戸	PRO PRO-SE		内倒し窓・外倒し窓の取扱いのページを参照してください。	<ol style="list-style-type: none"> <li>①外れ止め金具のねじをゆるめます。</li> <li>②上枠に当るまで上に上げます。</li> <li>③ねじを締めます。</li> <li>④網戸を持ち上げ、下部を外に押し外れないことを確認します。</li> </ol>	※商品により形式が異なります。本体表示ラベルを貼付けしています。表示内容をお守りください。
開き網戸	PRO-SE PRESEA-H	<p>●ピボット式</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①網戸を内側に開きます。</li> <li>②網戸下部のピボットレバーを倒すと軸が引っ込みますので、ピボット受けから外してください。</li> <li>③網戸枠上部のピボット受けから、ピボット軸を抜き、網戸を外してください。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①網戸枠上部のピボット受けに、ピボット軸を差し込みます。</li> <li>②下部のピボットレバーを倒すと、ピボット受けに合わせてレバーを離します。</li> <li>③網戸本体を手で引き、ピボット軸がピボット受けに入っていることを確認してください。</li> </ol>	
		<p>●上下スライド式(開き窓用)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ガタツキ防止金具のねじをゆるめ下に下げます。</li> <li>②網戸を持ち上げ外します。</li> </ol> <p>※タテかまち中間にボールチェーン式ストッパーがある場合は共にねじをゆるめて外してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ねじをゆるめます。</li> <li>②ガタツキ防止金具を上へサッシ枠丁番に当てます。</li> <li>③ねじを締めます。</li> <li>④網戸を持ち上げ、下部を外に押し外れないことを確認します。</li> </ol>	

#### ■A部詳細図



# 横引き収納網戸の取扱い

□内付け

## ▲注意

- 外れ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠から外れて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・外れ止め部品が正しくかかっているか、ずれや破損がないか時々点検してください。
- この製品は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。網戸に寄りかかったり押しついたりしないでください。人身事故につながるおそれがあります。
- 網戸に寄りかからないでください。また、押さないでください。網が破れたり、網戸が枠からはずれてケガをするおそれがあります。特に、お子様にはご注意ください。

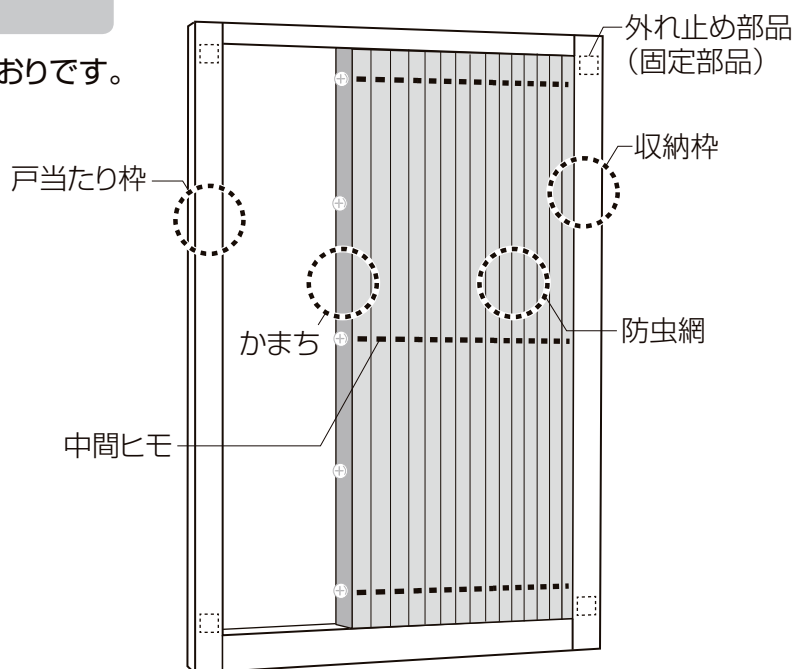


## ■横引き収納網戸各部の名称

横引き収納網戸の各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

- ・防虫網
- ・中間ヒモ
- ・かまち
- ・戸当たり枠
- ・収納枠
- ・外れ止め部品(固定部品)



## ■ご使用上のお願い

- 網戸を使用しないときは、必ず網を収納するようにしてください。網の特性上、開いた状態にしておくと折り目が弱くなって、たたみづらくなることがあります。
- 強風時には使用しないでください。網の不具合やヒモ等部品の破損が生じるおそれがあります。
- 本製品は網戸を折りたたむ構造のため、網の上下を枠部と固定していません。従って風により網がたわむと網と枠の上下部にすき間が生じやすくなり、使用状況によっては虫が入ってくる場合があります。
- 浴室等、常に水が掛かるおそれのあるところには使用できません。

## ■操作方法のお願い

- 開閉操作は縦かまちの中央付近を持ってゆっくり行ってください。上部や下部を持って操作すると縦かまちが斜めになり開閉が重くなったり、ヒモに無理な力がかかって破損の原因になります。また、急な操作は紐の寿命を早める原因になります。
- 両分けタイプ(Mh>2000)は突き合せかまち中央にマグネットが組込まれていますので、網戸引出し時は左右の突き合せかまちを組合せて、マグネットで必ず固定してください。

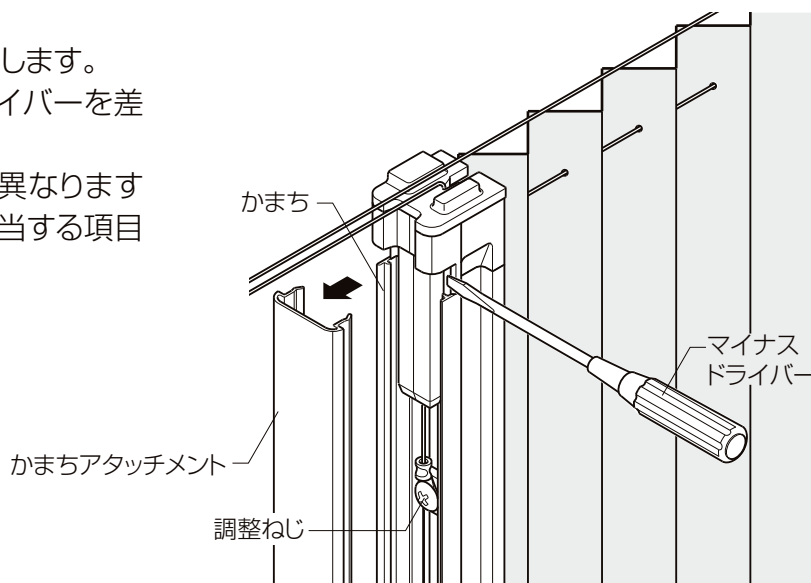
## ■網戸の防虫性について

- 網戸の防虫性は、網目より大きい虫などを防ぐには効果があります。しかし、網戸を可動させるために微小すき間があるため、使用環境によっては、網目より小さな虫やはい回る虫などが侵入する場合があります。  
はい回る虫(カメムシ、テントウムシ、アリ等)は、光や暖気、観葉植物を好みわずかなすき間からでも、押し入ろうとする習性があります。  
従って、網戸があっても、この様な習性を持つ虫の侵入を完全に止めることはできません。  
万一、虫が室内へ侵入した場合は、殺虫剤等による駆除をお願いします。

## ■建付け調整(現象別調整方法)

### ■作動が悪くなった場合

- ①網戸のかまちからアタッチメントを外します。
- ※かまちの端部にある溝にマイナスドライバーを差込むと外しやすくなります。
  - ※不具合の内容により、調整するねじが異なりますので、次項の【現象別調整方法】から該当する項目を選んでください。



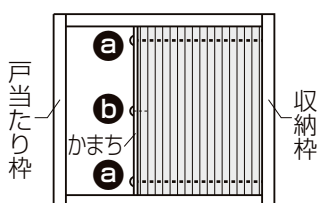
## ■網戸のタイプ

※調整ねじは下記の様に色分けしています。

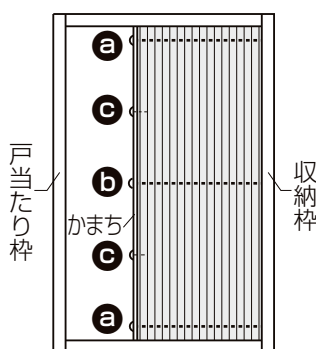
- a…シルバー
- b…ホワイト
- c…ブロンズ

※図は片引きタイプ。  
※両引きタイプも同様の調整方法。

### ●3本ねじタイプ



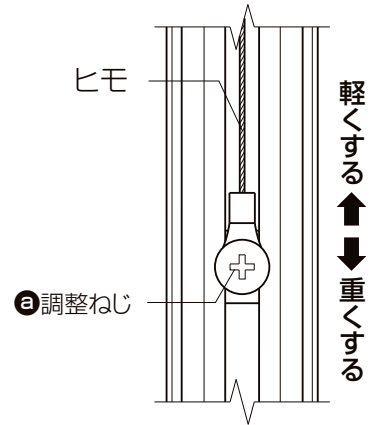
### ●5本ねじタイプ



## ●現象別調整方法

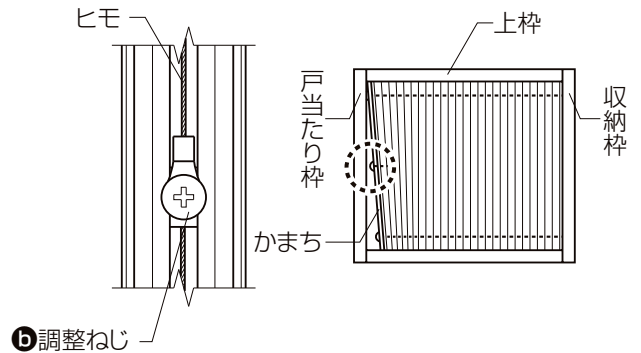
### ■網戸の開閉が重い(軽い)

- ① **a**ねじをゆるめます。
  - ② 軽くする場合は、調整ねじをヒモの見える方向に移動します。  
重くする場合は、逆方向に移動します。
- ※ **a**ねじは2本あります。通常は片方だけで調整できますが、調整しきれない場合は、もう一方のねじも使用してください。



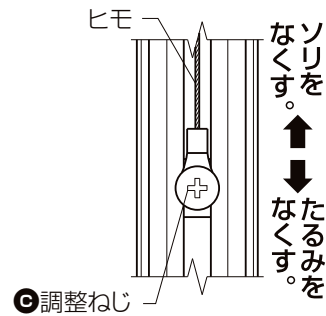
### ■網戸と戸当たり枠の間にすき間が発生

- ① **b**ねじをゆるめます。
- ② かまちを収納枠側に押付け、収納枠とかまちが平行になるようにします。
- ③ **b**ねじをしめて固定します。
- ④ 網戸を数回開閉し、すき間がでないか確認してください。
- ⑤ すき間が直らない場合、①～④をくり返してください。

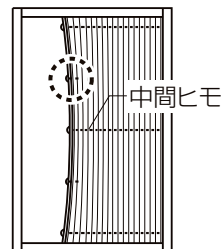


### ■中間ヒモのたるみ、またはかまちにソリが発生

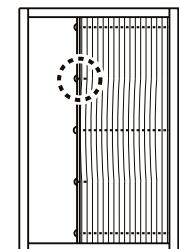
- ① **c**ねじをゆるめます。
  - ② ソリをなくす場合は、調整ねじをヒモの見える方向に移動します。  
たるみを取る場合は、逆方向に移動します。
- ※ **c**ねじは2本あります。通常は片方だけで調整できますが、調整しきれない場合は、もう一方のねじも使用してください。



#### ●ソリ



#### ●たるみ



# 横引きロール網戸の取扱い

## ▲ 注意

- この製品は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。網戸に寄りかかったり押しついたりしないでください。人身事故につながるおそれがあります。
- 網戸に寄りかからないでください。また、押さないでください。網が破れたり、網戸が枠からはずれてケガをするおそれがあります。特に、お子様にはご注意ください。

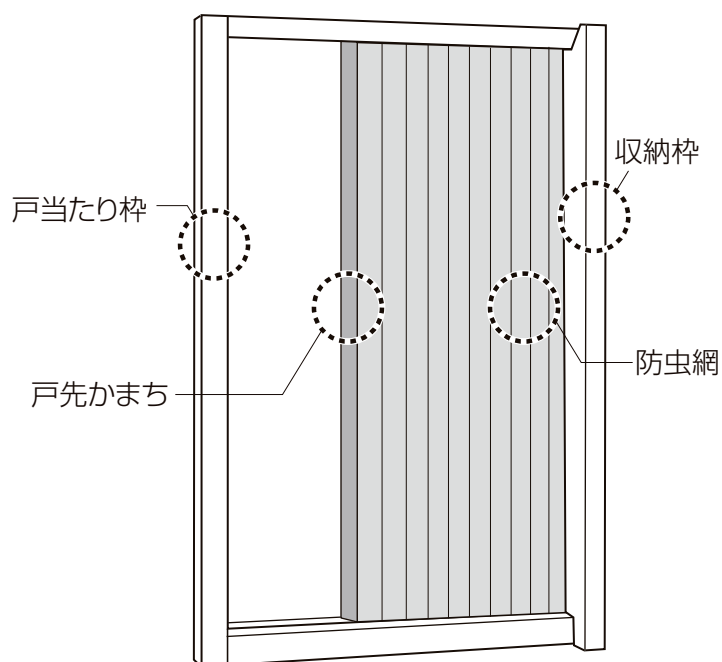


## ■横引きロール網戸各部の名称

横引きロール網戸の各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

- ・防虫網
- ・収納枠
- ・戸当たり枠
- ・戸先かまち



### お願い

- 本商品(中間ストップ仕様を除く)は、手を離すと自動で網が収納されますが、手掛けに手をそえてゆっくり開閉操作を行なってください。収納口付近に手や足などが無いことを確認してから、網を収納してください。はさまれて思わぬケガにつながるおそれがあります。

## ■ご使用上のお願い

- 強風時には使用しないでください。網戸がひらいてしまう、または網を収納できなくなるなどの不具合が生じます。
- 網を収納するとき、収納しきれなかった場合は、戸先かまちを大きく引出して2～3回出し入れを繰り返して収納し直してください。（網が折れ曲がったまま収納されると、クセがつき収納しづらくなるおそれがあります。）
- 網を引出したときに、網の一部にたるみや波打ちが発生する場合がありますが、商品の特性によるもので、機能上の問題ではありません。
- 開閉時のスピードにより、網の収納部よりバタツキ音が発生しますが、商品の特性によるもので機能上の問題ではありません。
- 浴室等、常に水が掛かるおそれのあるところには使用できません。

## ■操作方法のお願い

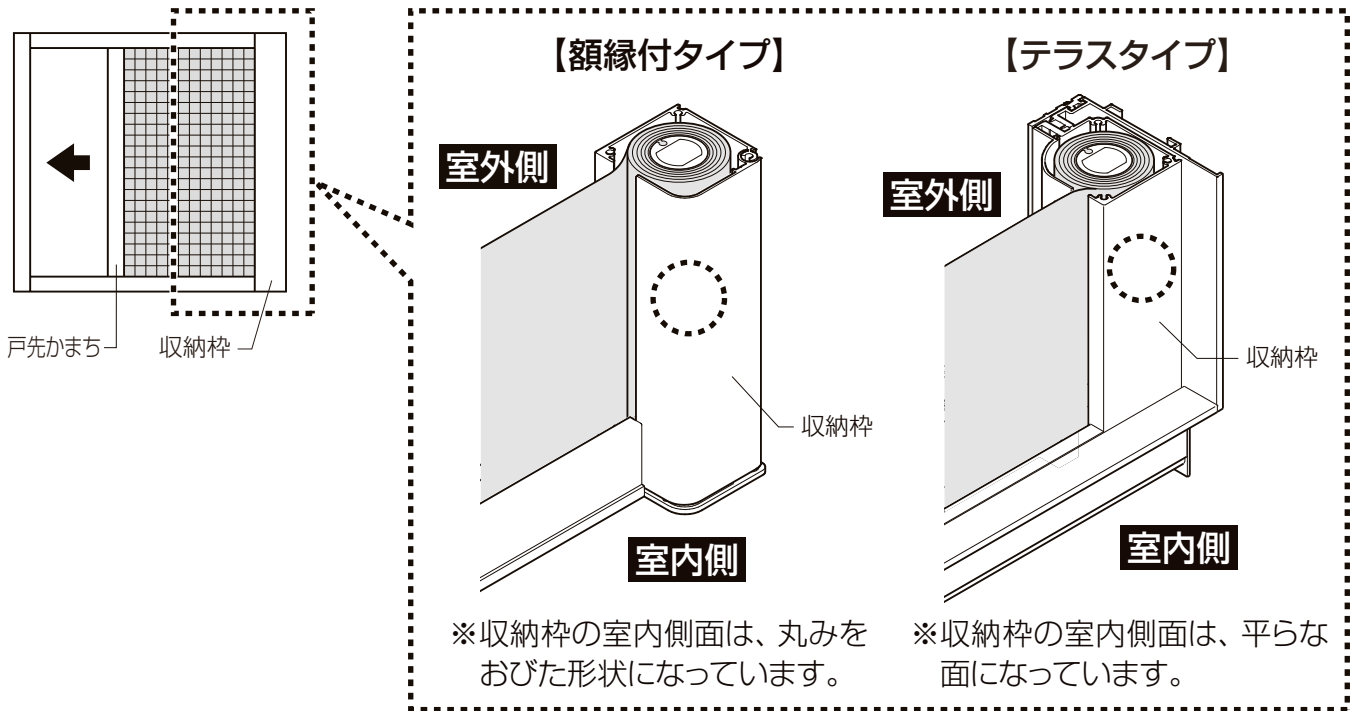
- 網戸の開閉操作は、戸先かまちの中央付近を持って行なってください。上部や下部を持って操作すると、戸先かまちが極端に斜めになり開閉が重くなったり、網がレールから外れる原因になります。（高さのあるハイサッシに取付けてもスムーズな開閉操作を確保するため、戸先かまちの上下にクリアランスを設けています。中央付近を持って操作しないと戸先かまちが斜めになり、開閉が重くなるおそれがあります。）
- 網を引出すとき、網が引っ掛かり戸先かまちが引出せなくなった場合はいったん戻して引出し直してください。

## ■網戸の防虫性について

- 網戸の防虫性は、網目より大きい虫などを防ぐには効果があります。しかし、網戸を可動させるために微小すき間があるため、使用環境によっては、網目より小さな虫やはい回る虫などが侵入する場合があります。  
はい回る虫(カメムシ、テントウムシ、アリ等)は、光や暖気、観葉植物を好みわずかなすき間からでも、押し入ろうとする習性があります。  
従って、網戸があっても、この様な習性を持つ虫の侵入を完全に止めることはできません。  
万一、虫が室内へ侵入した場合は、殺虫剤等による駆除をお願いします。

## ■はじめに

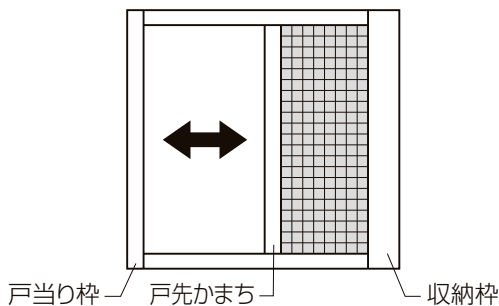
- 本商品は、「横引きロール網戸(額縁付タイプ)」と「横引きロール網戸(テラスタイプ)」の2タイプに分れています。網の収納部(収納枠)の形状で、タイプを見分けることができます。



※なお(テラスタイプ)については、さらに2タイプに分れます。

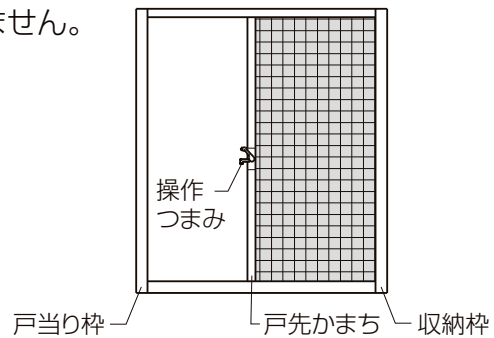
### 【全閉・全開仕様】

- 手を離すと自動で網が収納されます。



### 【中間ストップ仕様】

- 操作つまみがついており、操作つまみを握らないと戸先かまちがその位置で保持され、動かすことができません。



## ■タイプ区分

### 後付タイプ(額縁付タイプ)

- 片開き (全開・全閉)
- 両開き(上下ストッパーなし) (全開・全閉)

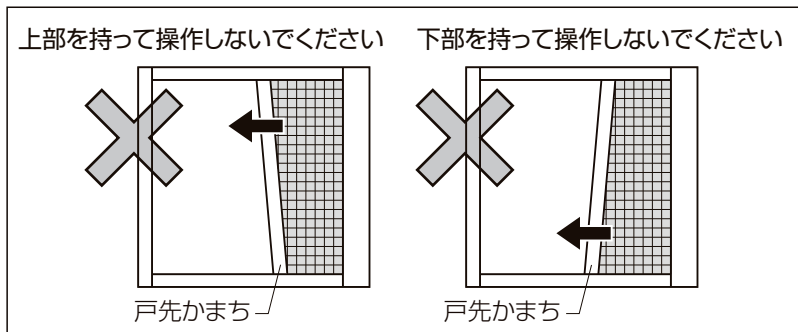
### 先付タイプ(テラスタイプ)

- 中間ストップ仕様
  - 片開き
- 全閉・全開仕様 (中間ストップなし)
  - 片開き
  - 両開き(上下ストッパー付き)

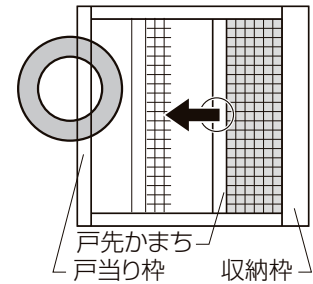
## ■ 網戸の操作方法

### ① 額縁付タイプ・テラスタイプ(全閉・全開仕様)

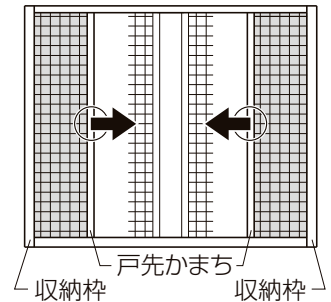
- 開閉操作は戸先かまちの中央付近を持って行ってください。  
(なお、開閉操作中に、戸先かまちが少し斜めになる場合がありますが、問題はありません。ただし、上部や下部を持って操作すると、戸先かまちが極端に斜めになり開閉が重くなったり、網が上下レールから外れる原因になります。)
- 戸先かまちから手を離すと、自動で網が収納されます。自動収納しきれなかった場合は、手を添えて最後まで収納してください。
- 勢いを付けて網を収納しないでください。破損の原因になります。
- 網戸を閉めるときは、戸先かまちと戸当り枠もしくは戸先かまち同士のマグネットが合わさっていることを確認してから、手を離してください。



### 【片引き】 中央付近を持って操作してください



### 【両引き】



### ■ 両引き(上下枠・ストッパー付き)の操作方法

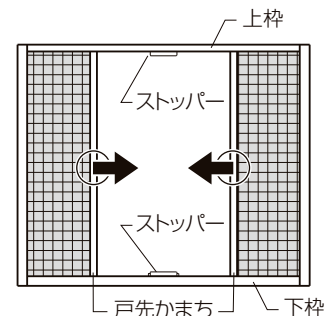
- テラスタイプ(全閉・全開仕様)の両引きを、テラスやベランダのような大きな窓に取付ける場合、上下枠中央にストッパーが付きます。このストッパーにより、片側だけの網戸を出し切ったままで保持することができます。

#### ● 網戸を使用する(閉める)とき

- ① 片方の戸先かまちを上下枠のストッパーにロックするまで引出す。(上枠ストッパーはロックがなく磁石のみなので、ずれた場合はもう1度磁石に合せてください)
- ② もう一方の戸先かまちを引出し、かまち同士のマグネットを合せて、固定します。

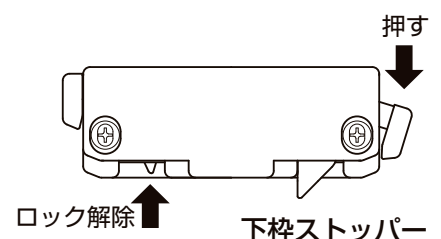
#### ● 網戸を収納するとき

- ① ロックのかかっていない方の戸先かまちを動かします。(どちらか先に引出した方の戸先かまちだけロックがかかります)
- ② 下枠ストッパーのつまみを押してロックを解除します。
- ③ 残っていた戸先かまちを動かします。



### <右のつまみを押したとき>

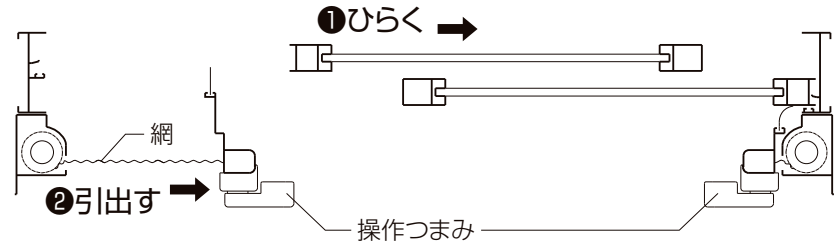
- 右のつまみを押すと左のロック、左のつまみを押すと右のロックが解除されます。



## 2 テラスタイプ(中間ストップ仕様)

### ■ 網戸の操作方法

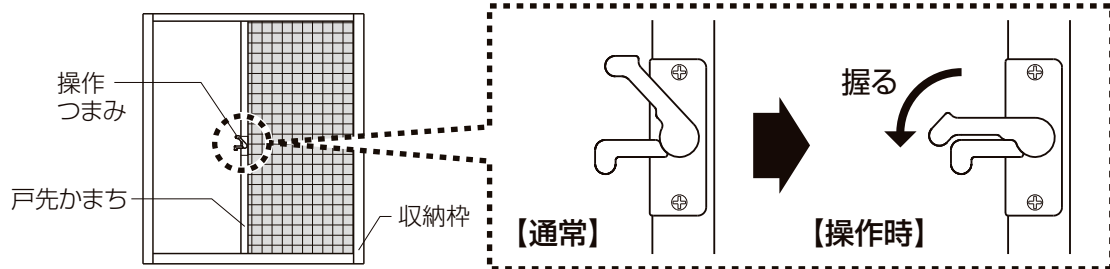
- ① サッシの障子をひらきます。
- ② 操作つまみを握ってから、網戸を引出します。



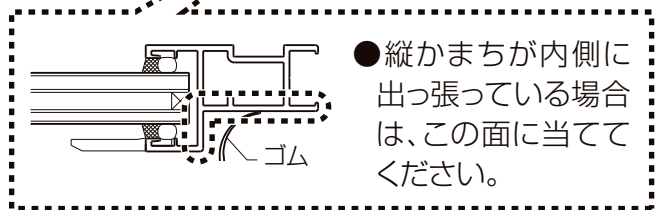
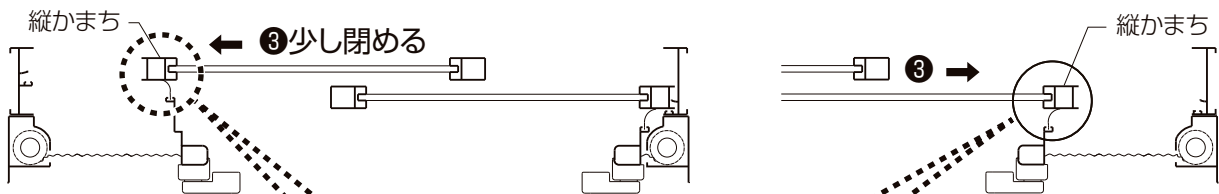
例) 両開きのとき

### ■ 操作つまみについてのお願い

- 戸先かまちを動かす場合は、操作つまみを握ってから動かしてください。  
操作つまみを握らないと、戸先かまちがその位置で保持され、動かすことができません。



- ③ 網戸戸先かまちのゴムに、サッシの縦かまちが当たるまでサッシの障子を閉めてください。



### ■ 操作上のお願い

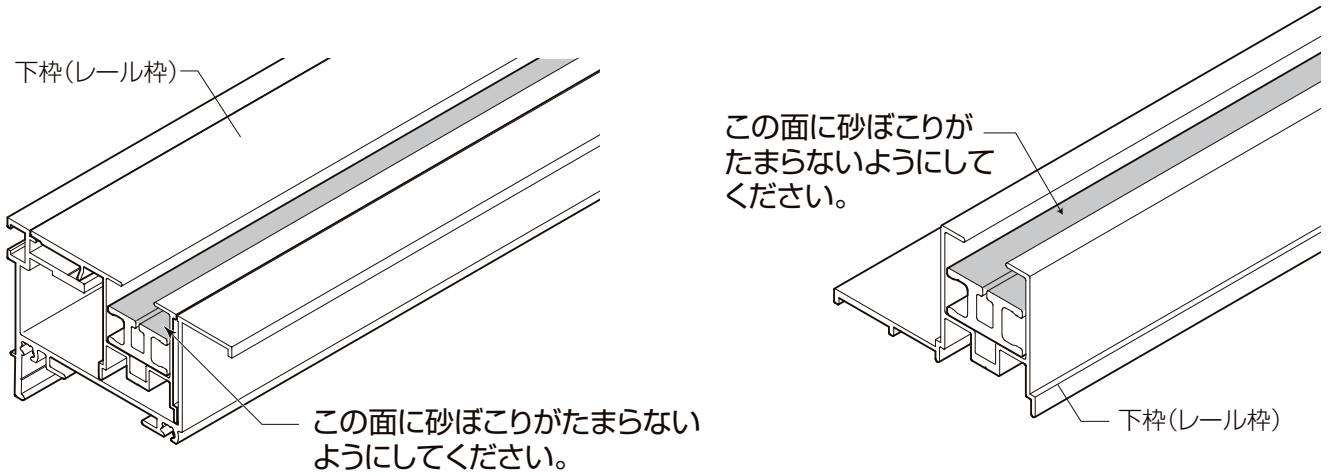
- 網戸は障子の全開位置までは引出せない設定になっています。室外側から操作つまみを操作できるようにするためです。

## ■レール枠清掃時のご注意

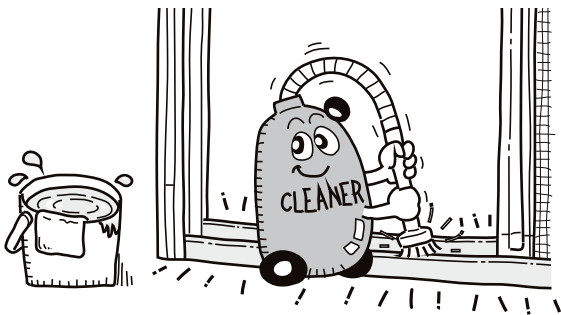
●下枠(レール枠)内に、砂ぼこりがたまらないように掃除機等で定期的に清掃してください。

汚れを放置しておくと開閉できなくなります。(図1)

※中間ストップ仕様の場合は、戸先かまちが保持されなくなります。



(図1)

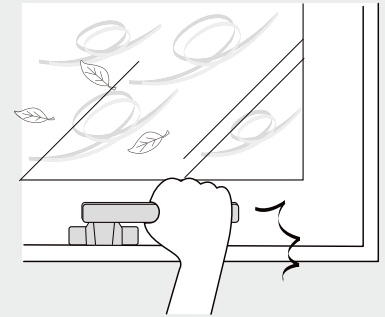


# 突き出し窓・すべり出し窓の取扱い

□PRO-SE □PRO

## ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)を掛けてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

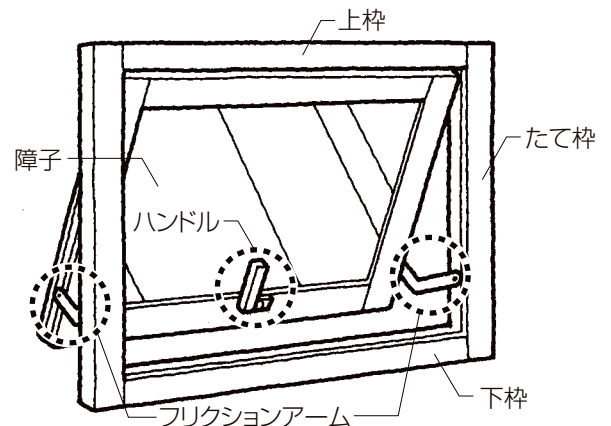


## ■突き出し窓各部の名称

突き出し窓の各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

- ・丁番
- ・ハンドル
- ・フリクションアーム
- ・障子
- ・上下枠
- ・たて枠

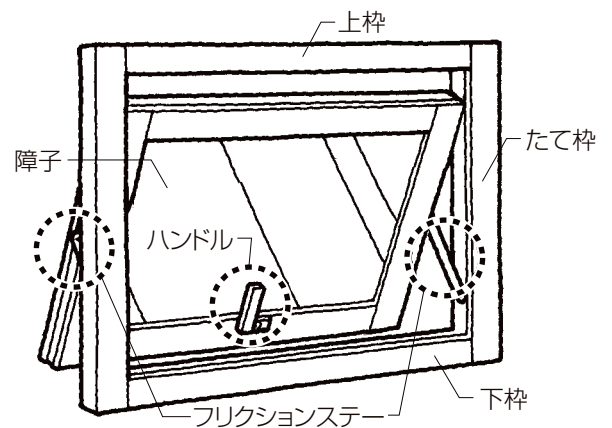


## ■すべり出し窓各部の名称

すべり出し窓の各部の名称は、下記のとおりです。

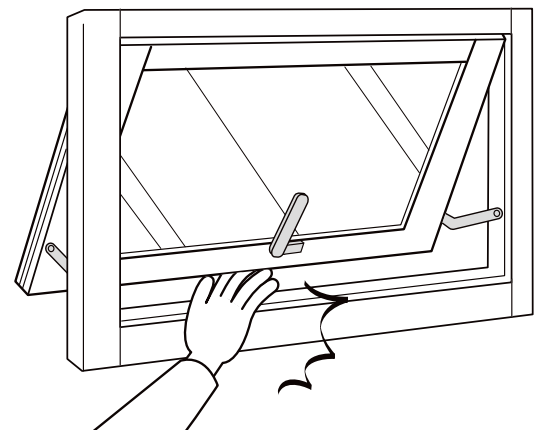
### 主要な部品

- ・ハンドル
- ・フリクションステー
- ・障子
- ・上下枠
- ・たて枠



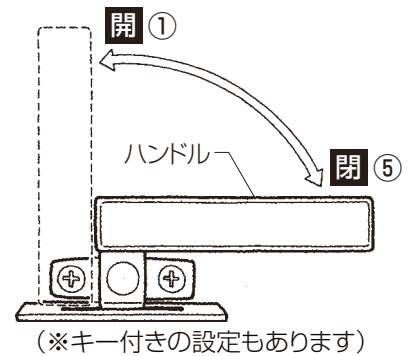
## ■ご使用上のお願い

- 障子開放時、ストップ機構はありませんので、障子をささえながら行ってください。風、あるいは物が当たって障子が閉まることがあります。
- 窓を閉めるとき、無理な力を加えないでください。ハンドル等が破損するおそれがあります。
- 開閉時に窓枠に手を置かないでください。開閉した障子に指をはさんで思わぬケガをするおそれがあります。



## 障子の開閉

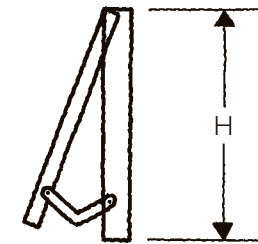
- ①障子を開けるときは、ハンドルを上へ90°回転させ、ロックを解除してください。
- ②ハンドルを持ち、障子が止まるまで押出してください。
- ③窓の両側に付いているフリクションアーム・ステーが伸びて障子が止まります。(出寸法約200mm・突出し窓の場合)
- ④障子を閉めるときは、ハンドルを上向きのまま手前に引いてください。
- ⑤障子を閉めたら、必ずハンドルを横向きにしてロックしてください。



## 突き出し窓

室外側

室内側

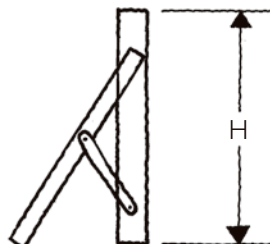


※障子の出寸法は、窓の高さには関係ありません。

## すべり出し窓

室外側

室内側



### ●開き角度

※サッシ高さにより、角度が違います。

- 商品に**注意ラベル**を貼付してありますので、その指示をお守りください。

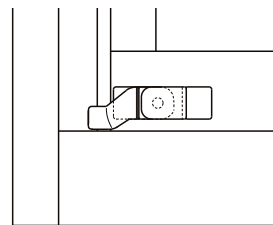


### ▲注意

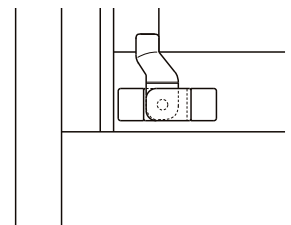
窓やガラスの落下防止のため、風の強いときは窓を閉めて、必ず施錠してください。

## PRO-SE サブロック(オプション)の操作方法

- ①ロック部を回転させて、ロック状態にすることで、ロック機構が働きます。
- ②解除するときには、ロック部を90°回転させます。
- 防犯のため、就寝・外出時には必ず窓を閉めて、ハンドルで施錠すると同時にサブロックをかけてください。



ロック状態



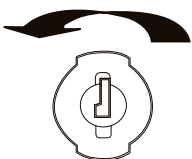
解除状態

## PRO-SE キー付ハンドル操作方法

- キー付ハンドルの施解錠は、下記に示す要領にて行ってください。

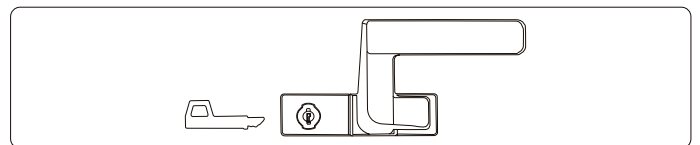
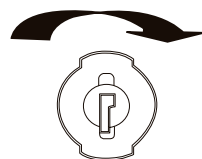
### ●鍵をかけるとき

- 鍵を差込み反時計回りに回す。



### ●鍵をあけるときの

- 鍵を差込み時計回りに回す。



### 【サッシ金物の鍵について】

ハンドル等のサッシ金物の鍵は堅固な施錠を保証するものではありません。

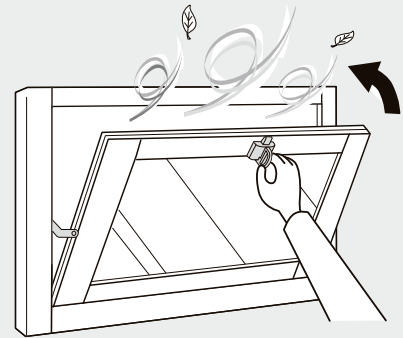
いたずらや不正な解錠およびキーを完全に差し込まずに無理な力でキーを回す等の誤操作では、開いてしまう場合があります。

# 内倒し窓・外倒し窓の取扱い

□PRO-SE □PRO

## ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(トップラッチ)をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

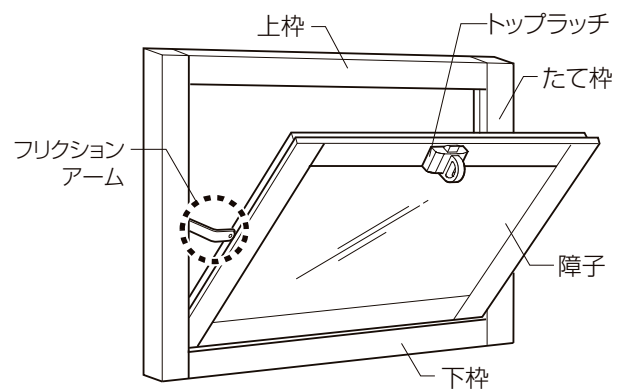


## ■内倒し窓各部の名称

内倒し窓の各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

- ・トップラッチ
- ・フリクションアーム
- ・障子
- ・上下枠
- ・たて枠

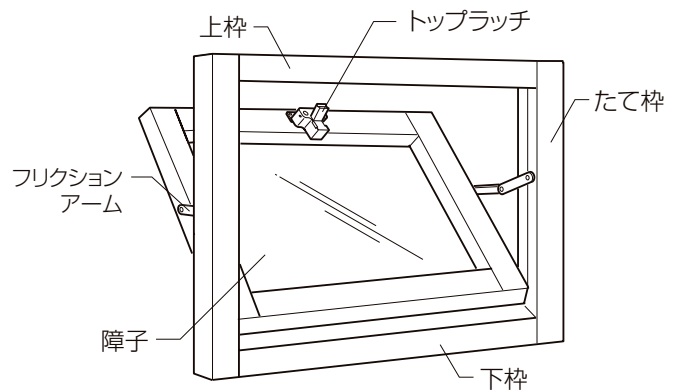


## ■外倒し窓各部の名称

外倒し窓の各部の名称は、下記のとおりです。

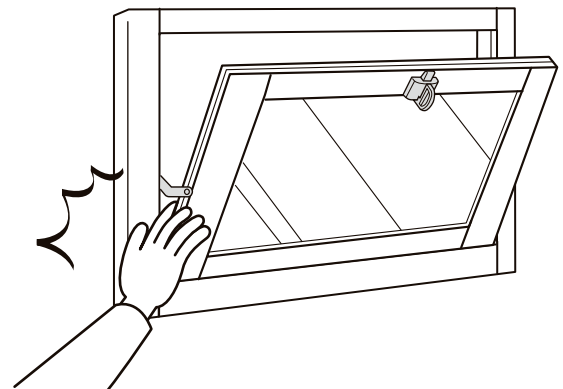
### 主要な部品

- ・トップラッチ
- ・フリクションアーム
- ・障子
- ・上下枠
- ・たて枠



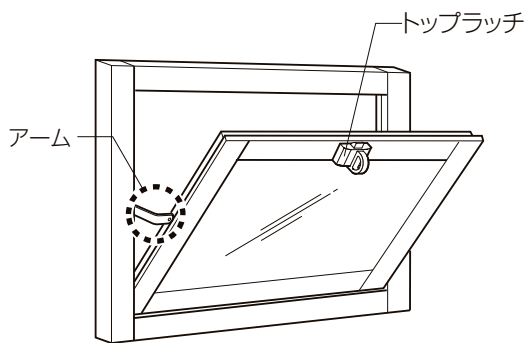
## ■ご使用上のお願い

- 障子を閉めるときはトップラッチをしっかり持って閉めてください。風にあおられることがあります。
- 開閉時に窓枠に手を置かないでください。開閉した障子に指をはさんで思わぬケガをするおそれがあります。

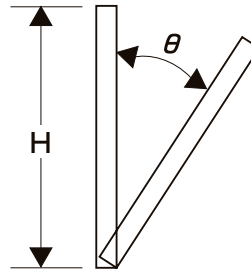


## ■障子の開閉(内倒し窓)

- ①トップラッチを下に引いてください。窓の位置が高くて手が届かない場合は、フック棒(オプション品)を使用してください。
- ②トップラッチを下に引いたまま、手前に引いてください。
- ③窓の両側に付いているアームが伸びて障子が止まります。
- ④障子を閉めるときは、トップラッチを持って押してください。
- ⑤トップラッチが完全に引っ掛かるまで押してください。

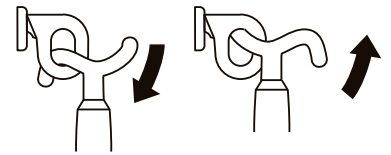


### ■障子の開き角度



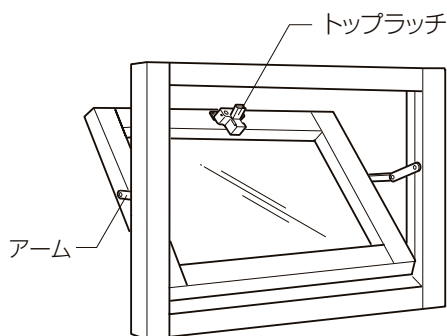
※サッシ高さにより角度が違います。

### ■フック棒(オプション品)

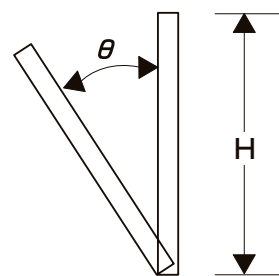


## ■障子の開閉(外倒し窓)

- ①トップラッチを下に引いてください。窓の位置が高くて手が届かない場合は、フック棒(オプション品)を使用してください。
- ②トップラッチを下に引いたまま、外側に押してください。
- ③窓の両側に付いているアームが伸びて障子が止まります。
- ④障子を閉めるときは、トップラッチを持って引いてください。
- ⑤トップラッチが完全に引っ掛かるまで引いてください。



### ■障子の開き角度



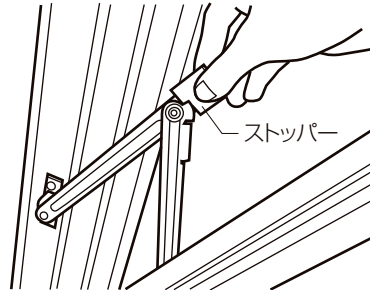
※サッシ高さにより角度が違います。

## ■内倒し窓の清掃時操作方法

### ■PRO-SE 2段ストッパー仕様するとき

●アームストッパーを操作して、内倒し角度を大きくすることができ、ガラス外面の清掃ができます。操作するときは、必ず障子を手でささえながら行なってください。

- ①アームのストッパーを引きます。
- ②ストッパーを少し回転させ、アームのツメに引っ掛けます。
- ③反対側のストッパーを同様に操作します。
- ④窓を手でささえながら開きます。
- ⑤窓を閉めるときは、そのまま閉めることができます。ストッパーはセット状態にもどります。



### 清掃時操作方法

- 窓の開閉は、必ず窓を支えながら作業をしてください。
- ①ストッパーを引いてください。
- ②ストッパーを回転させ、アームのツメに引っかけてください。
- ③反対側のストッパーを同様に操作してください。
- ④窓を手で支えながら開いてください。



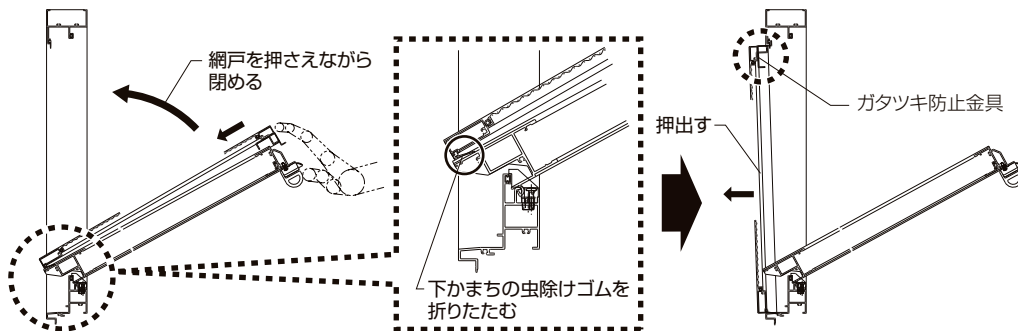
### ■PRO-SE 標準アームストッパー仕様するとき

●内倒し角度を大きくすることはできませんので、ガラス外面の清掃時は市販のモップ（柄付のクリーナー）等の活用をお願いします。

## ■内倒し窓用固定網戸の脱着方法

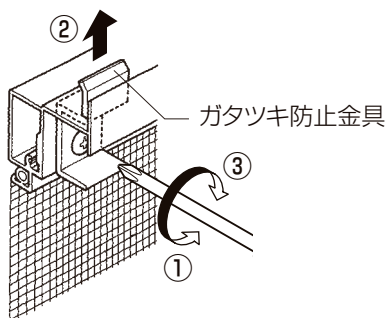
### 【網戸建て込み方法】

- ①障子の外側に網戸を乗せます。
- ②網戸を下に押さえながら障子を閉めます。
- ③障子を再度開き、網戸を外に押し出します。
- ④ガタツキ防止金具をセットします。



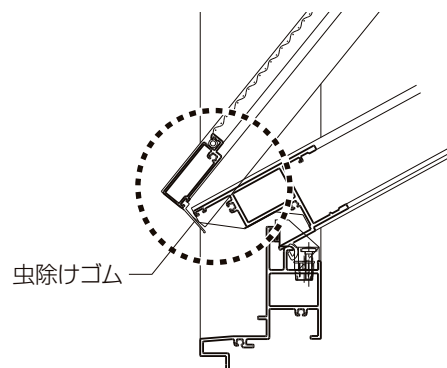
### 【ガタツキ防止金具セット方法】

- ①ねじをゆるめます。
- ②ガタツキ防止金具を上げます。
- ③ねじを締めます。



### 【網戸取外し方法】

- ①ガタツキ防止金具を解除します。
- ②網戸上かまちを室内側へ引き込みます。
- ③虫除けゴムのベース部が障子に引っ掛からないよう下かまちを持ち上げながら網戸を引き込みます。

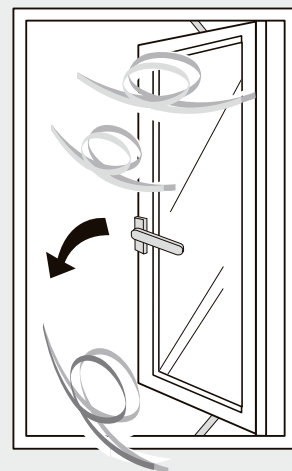


# たてすべり出し窓の取扱い

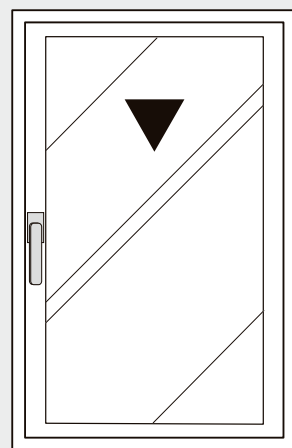
□PRO-SE □PRO-SE100 □PRO □PRESEA-H □RMA-70G・TC

## ▲ 注 意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(ハンドル)をかけてください。風で障子が動くため、錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

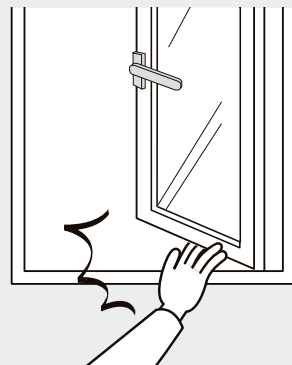


- 非常用進入口(ガラスに▼マークがついている窓)は、非常時に消防活動等のために使用する窓です。常時は閉鎖し、施錠してください。風により窓やガラスが落下するおそれがあります。(外部開放対応小開口調整器仕様を除く)



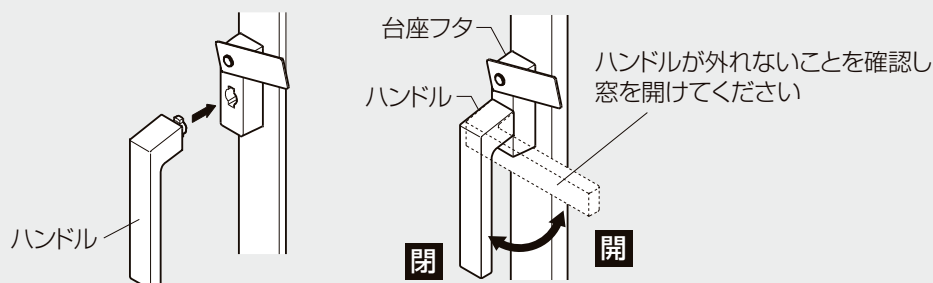
- 外部開放対応小開口調整器仕様の場合、開口制限の解除は窓のメンテナンス時および清掃時のみとし、換気等のために解除はしないでください。また、開口制限を解除して窓を開けている間は、必ず障子固定フックで障子を固定してください。窓を閉め開口制限の施錠操作後、必ず窓を開けて施錠されていることを確認してください。風により窓やガラスが落下するおそれがあります。

- 障子の開閉時は、障子が動き出したら枠と障子の間で指を挟まないように、アームストッパーまたは調整器から手を離してください。手や指を挟み、思わぬケガにつながるおそれがあります。



## ▲ 注意

- 脱着ハンドルを使用し窓を開ける場合は、ハンドルを90°に回して、確実にハンドルがロックされて外れないことを確認してから窓を開けてください。ハンドルがロックされていないと外れて落下するおそれがあります。



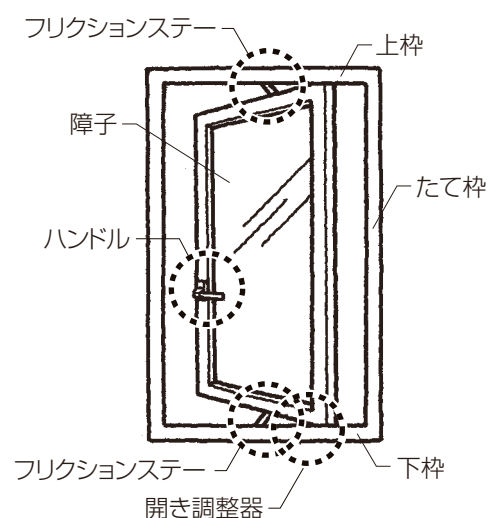
- 清掃などの必要があるときを除いて、障子は全開しないでください。風で障子が動くため急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

## ■ たてすべり出し窓各部の名称

たてすべり出し窓の各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

- ・ハンドル
- ・フリクションステー
- ・開き調整器
- ・障子
- ・上下枠
- ・たて枠



## ■ ご使用上のお願い

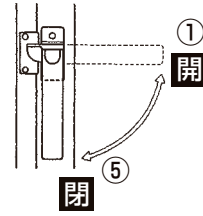
- 障子を開けたときは必ずアームストッパーまたは開き調整器で固定してください。突風により閉まる場合があります。
- アームストッパーまたは開き調整器の操作はハンドルをしっかり持って行ってください。風にあおられることがあります。
- 障子を動かすときは、必ずアームストッパーや調整器を解除してから行ってください。障子や金物が破損するおそれがあります。
- 障子を閉めるときは、ハンドルを水平に保ったまま(開位置)閉めて、障子が枠のパッキン材に当たってからハンドルを閉位置にしてください。ハンドルやサッシが破損するおそれがあります。

## 障子の開閉

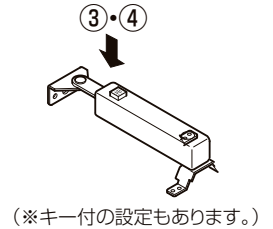
### 調整器仕様(オプション)

- ①ハンドルを上90°回してください。(ロックが解除され、障子が開閉可能になります。)
- ②ハンドルを持ち障子を押出してください。(開き調整器が働き、設定された角度で自動的に障子がストップし、固定されます。)
- ③さらに開く場合は、「押」を押しながら、障子を開いてください。
- ④障子を閉めるときは、開き調整器の「押」を押し動き出したら離し、障子を閉めてください。
- ⑤障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。

### ■ハンドル



### ■開き調整器



※ガラスに▼マークが付いている窓は非常用進入口で障子が90°開くように設定されています。

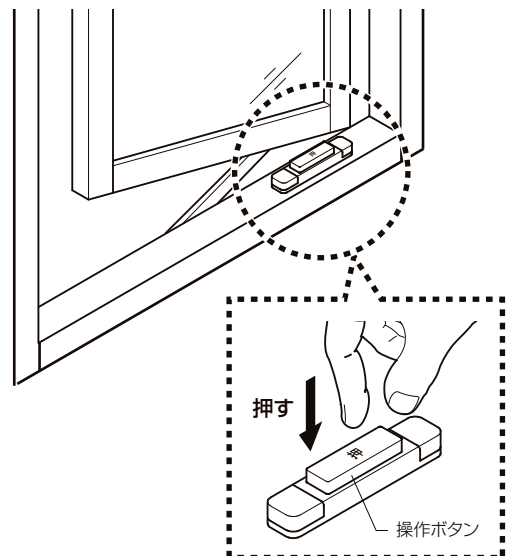
- 商品に**注意ラベル**を貼付けしています。表示内容をお守りください。

**▲ 注意**  
窓や、ガラスの落下防止のため、風の強いときは窓を閉めて、必ず施錠してください。

**▲ 注意**  
この窓は、非常時に消防活動等のために使用する窓です。風による窓やガラスの落下防止のため、常時閉鎖し、施錠してください。

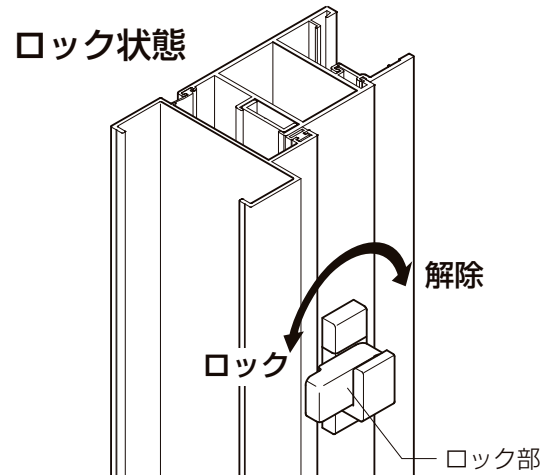
### ■ストップ付フリクションステー(オプション)

- 下枠にあるボタンの「押」を押しながら障子の開閉を行ってください。障子が動きだしたら、ボタンから手を離してください。(開き調整器を使わないときにオプションで使用します。)



## ■サブロック(オプション)の操作方法

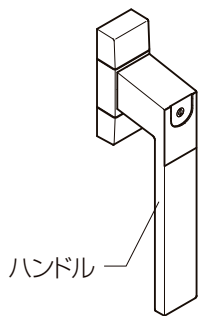
- ①ロック部を回転させて、ロック状態にすることで、ロック機能が働きます。
  - ②解除するときには、ロック部を180°回転させます。
- 防犯のため、就寝、外出時には必ず窓を閉めて、ハンドルで施錠すると同時にサブロックをロックしてください。



## ■ハンドルの種類(オプション)

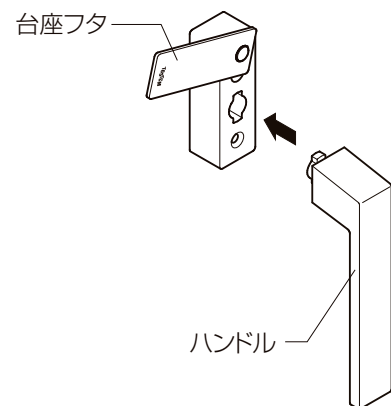
### ■キー付ハンドル

- ハンドルの鍵穴にキーを挿入して操作することにより、ハンドルの回転を止めたり、動かしたりすることができるタイプです。
- ※キー施錠時はハンドルがロックされます。その際無理な力でハンドルを回そうとすると破損する場合があります。



### ■脱着ハンドル

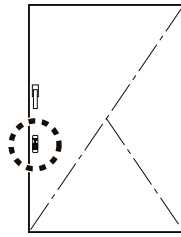
- 通常時はハンドルを外しておき、メンテナンス時にハンドルを挿入してハンドルを回転させ、障子の開閉を行なうタイプです。
- ※台座フタは、吊元側に回してください。



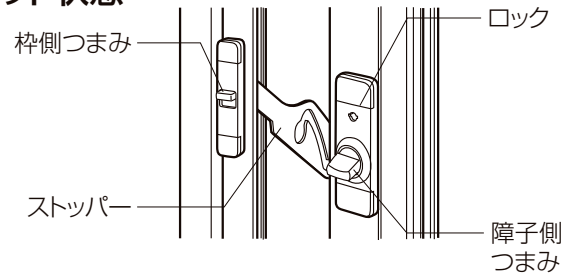
## ■小開口ストッパー(オプション)の操作方法(PRO-SE)

- 換気時にセット状態にして使います。
- 障子を閉めるときは障子のハンドルを持って枠側をつまみを下げながら閉め、動き出したらつまみを離し障子をそのまま閉めます。

※障子側つまみの無いタイプもあります。  
このタイプは、ストッパーの解除はできません。

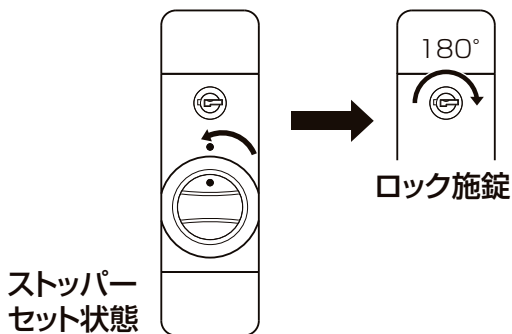


### セット状態



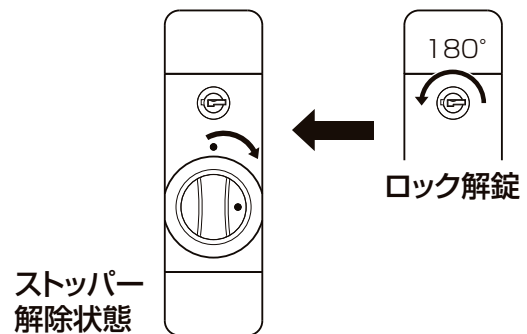
## ■ストッパーのセット方法

- ①障子を閉めます。
- ②障子側をつまみを90°左に回してマーク(ストッパーセット)を合わせます。
- ③ロックを、キーまたはコインで回し施錠します。(ロック施錠)



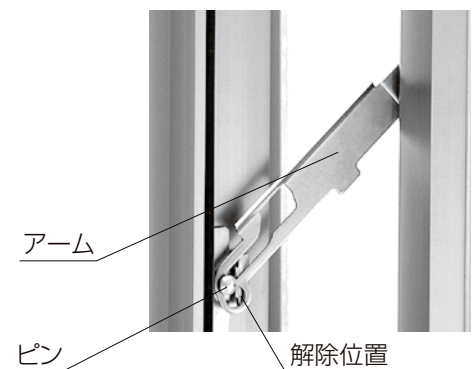
## ■ストッパーの解除方法

- ①枠側をつまみを下げ、障子を閉めます。
- ②障子側のロックを、キーまたはコインで回し解錠します。(ロック解除)
- ③障子側をつまみを右へ90°回します。(ストッパー解除)



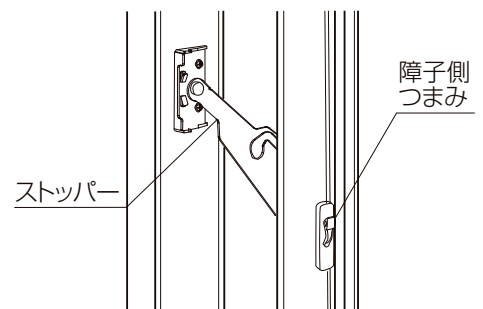
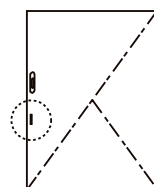
## ■開口制限部品(RMA-70G・TCオプション)

- たて枠とたてかまちの間に開口制限部品が取り付けられている場合(右写真)は、障子の開口が制限されます。解除位置でアームピンを抜いていただくと、全開可能になります。開口制限部品を解除した状態で障子を閉めると、元に戻ります。



## ■小開口ストッパーの操作方法(PRO-SE100)

- 窓を開けるときは常にセット状態にして使います。
- 障子を閉めるときは障子のハンドルを持って障子側をつまみを下げながら閉め、動き出したらつまみを離し障子をそのまま閉めます。



## ■外部開放対応小開口調整器仕様(PRO-SEオプション)

●通常時の使用方法は、調整器仕様(オプション)を参照ください。ただし、障子は少ししか開きません。

### ●窓のメンテナンス時および清掃時に全開にする場合

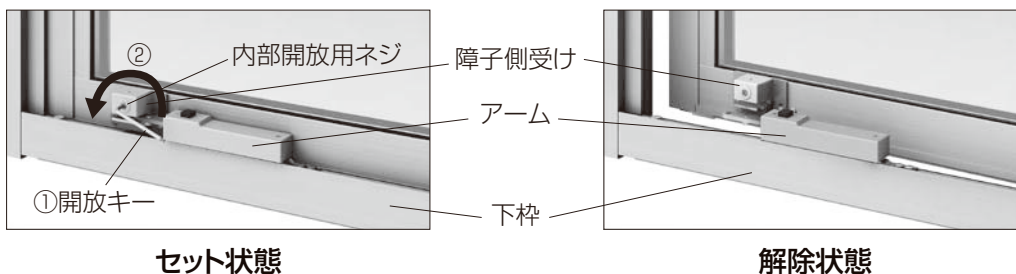
#### ■開口制限の解除方法

- ①開放キーを内部開放用ネジ部に差し込みます。
- ②開放キーを反時計回りに180度回転させます。
- ③障子側受けとアームが分離します。
- ④分離したアームは、障子や人にぶつからないよう、下枠と平行にしておきます。

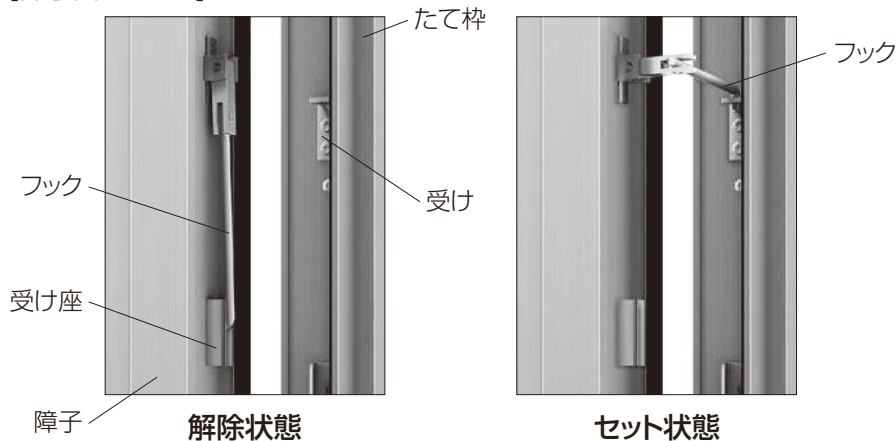
#### ■開放制限を解除して窓を開けている間の障子固定フックのセット方法

- ①障子側のフックを引っ張り、受け座からフック先端を外します。
- ②フック先端をたて枠側の受けに差し込みます。

#### 【外部開放対応小開口調整器】



#### 【障子固定フック】



### ●全開時から閉鎖する場合

#### ■障子固定フックの解除方法

- ①フック先端を持ち上げ、たて枠側の受けから外します。
- ②フック先端を障子側の受け座へ押し込みます。

#### ■開口制限のセット方法

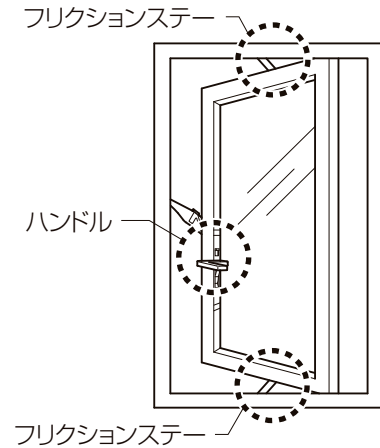
- ①アームを障子側受けに差し込みます。
- ②開放キーを内部開放用ネジ部に差し込みます。
- ③開放キーを時計回りに180度回転させます。
- ④窓を開けて、施錠されていることを確認します。

※外部ハンドルを操作して解除した場合には、外部ハンドルを元の状態(水平)に戻した後に開放キーを操作してください。

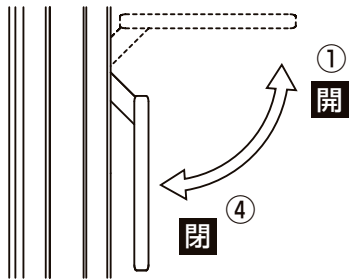
## ■障子の開閉(PRESEA-H)

### ■換気時(通常開閉)

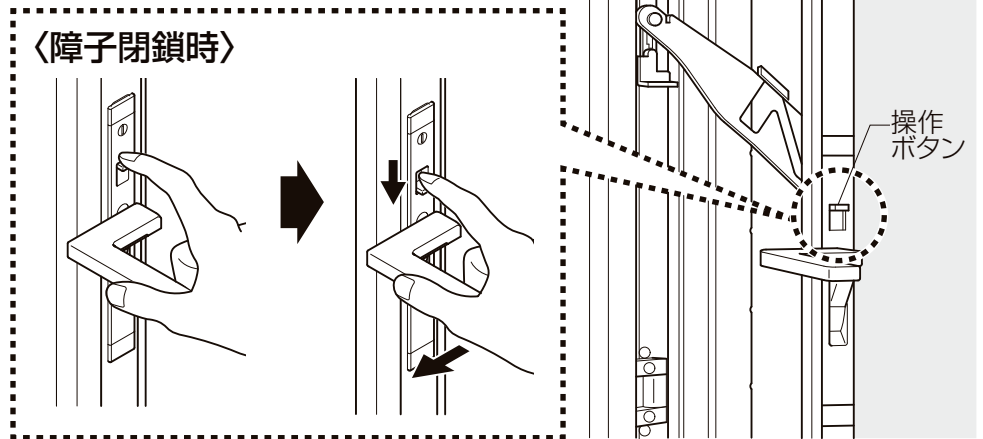
- ①ハンドルを上90°回してください。  
(ロックが解除され、障子が開閉可能になります。)
- ②ハンドルを持ち障子を押し出してください。(小開口ストッパーが働き、設定された有効開口(戸先側約60mm)で障子がストップし、固定されます。)
- ③障子を閉めるときは操作ボタンを指で押し下げてハンドルを引いてください。障子が動き出したら操作ボタンから指を離し、障子を閉めてください。
- ④障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。



### ■ハンドル



### ■小開口ストッパー一体化ハンドル



## ■全開時(清掃などで小開口ストッパーを解除する場合)

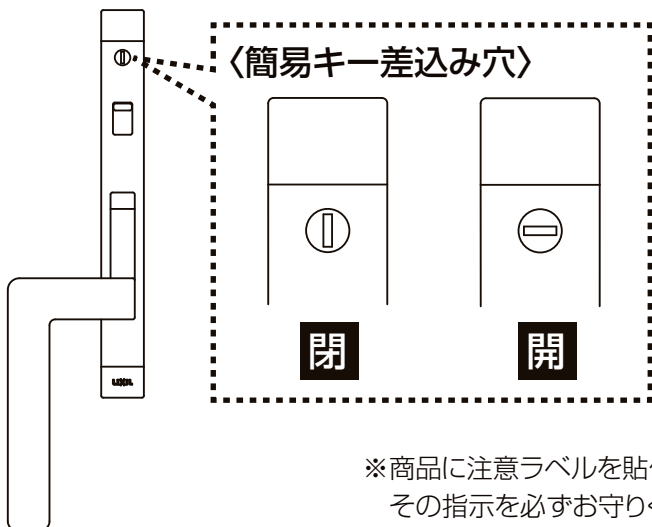
- ①ハンドルを上へ90°回してください。  
(ロックが解除され、障子が開閉可能になります。)
- ②全開用簡易キーを差し込みます。
- ③差し込んだ簡易キーを90°回してください。
- ④簡易キーを手前に引いた状態のまま障子を開けてください。
- ⑤障子を閉めるときはハンドルを水平に保ったまま閉めてください。  
(操作ボタンを押し下げる必要はありません。)
- ⑥障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。

### 〈全開用簡易キー操作手順〉



## ■小開口ストッパー—体化ハンドル

## ■全開用簡易キー



※商品に注意ラベルを貼付してありますので、その指示を必ずお守りください。

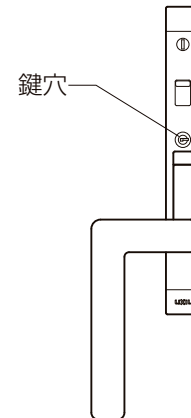
**▲ 注意**

風が強いときは窓を全開しないでください。  
風にあおられて、窓やガラスが落下するおそれがあります。

## ■ハンドルの種類(オプション)(PRESEA-H)

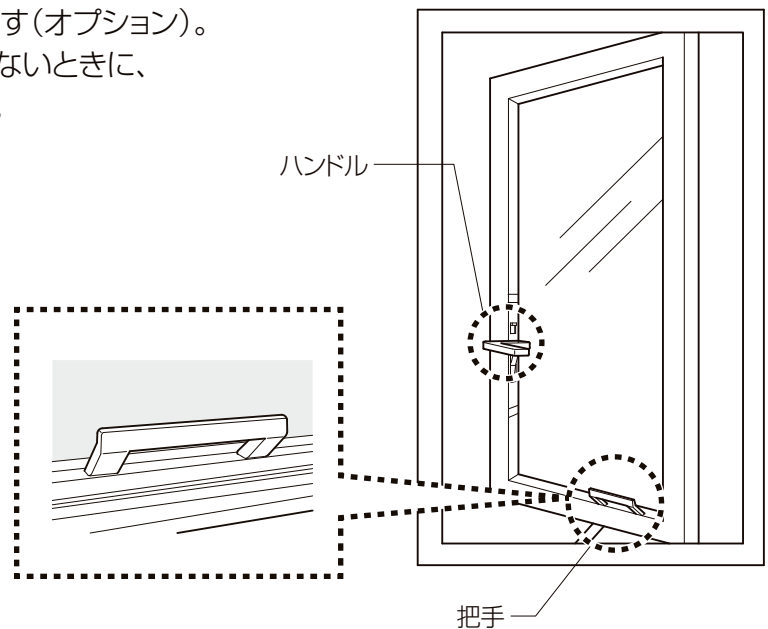
### ■鍵付ハンドル

- ハンドルの鍵穴に鍵を挿入して操作することにより、ハンドルの回転を止めたり、動かしたりすることができるタイプです。



## ■把手(オプション)の操作方法(PRESEA-H)

- 窓サイズが大きいときに障子下に取り付けます(オプション)。障子全開時にハンドルを持って操作ができないときに、この把手を握って開閉操作をしてください。



## ■サブロック(オプション)の操作方法(PRESEA-H)

- ①ロック部の操作ボタンを押し下げることによってロック機能が働きます。
- ②ロックを解除するときは、操作ボタンを上に戻します。

### お願い

- 障子を開閉するときは、サブロックを解除した状態で行ってください。サブロックが破損するおそれがあります。

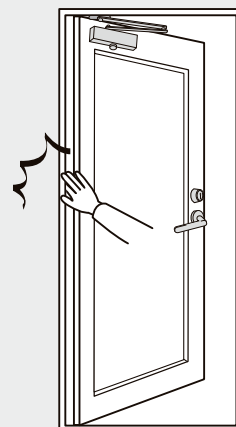


# 開きドア・通風ドアの取扱い

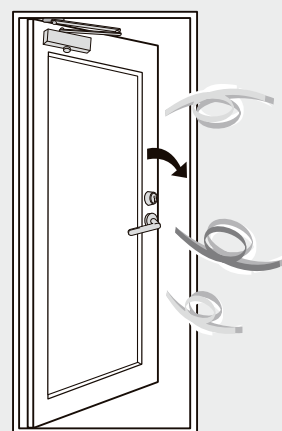
□PRO-SE □PRO □PRESEA-H

## ▲ 注 意

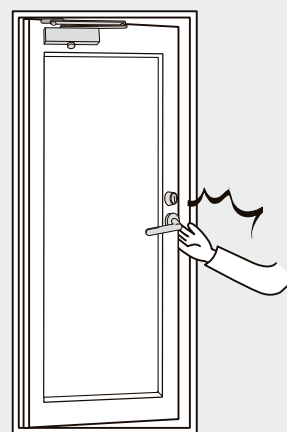
●ドアの開閉時には、吊元側のすき間に手を置かないでください。指を挟んで大ケガのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。



●風の強いときはドアを閉めてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やケガにつながるおそれがあります。(アームストッパーは簡易固定金具のため、特に注意願います。)

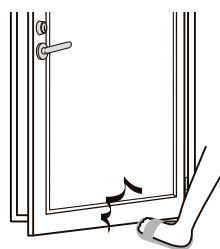


●ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指を挟み、思わぬケガをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。



## お願い

●ドアの開閉時に、下端部が足にあたらないようにご注意ください。足を挟んで大ケガをするおそれがあります。特にお子様やサンダル履きでの開閉にはご注意ください。

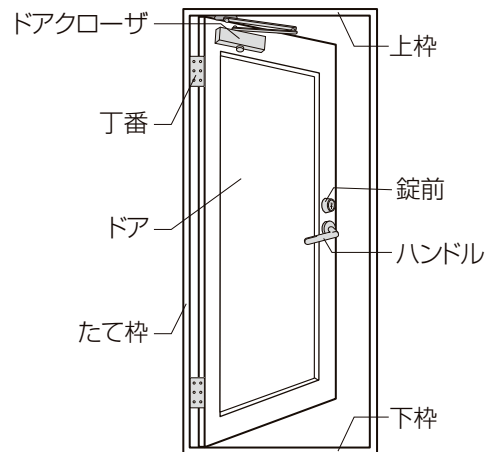


## ■開きドア各部の名称

開きドアの各部の名称は、下記のとおりです。

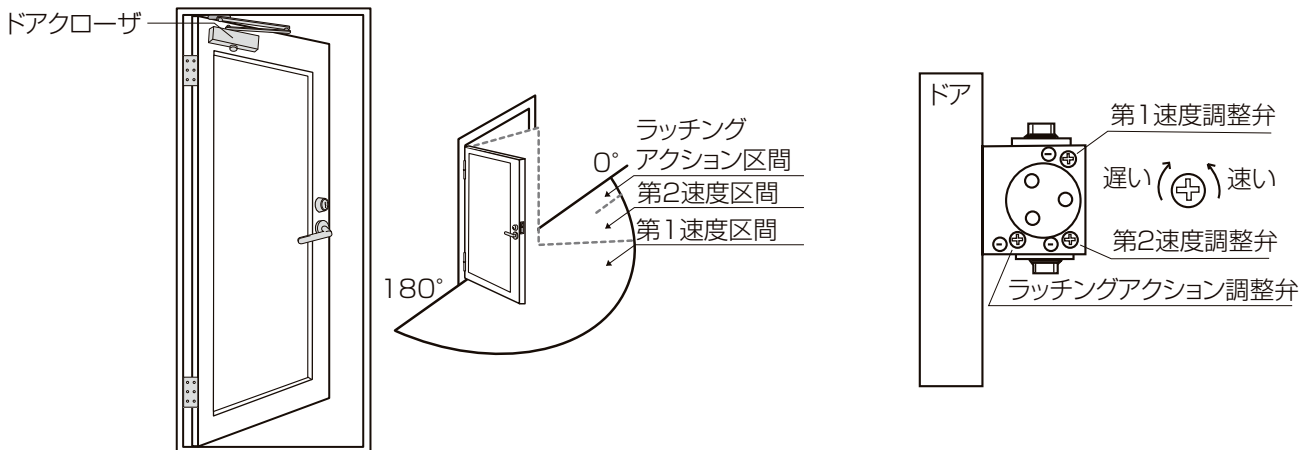
### 主要な部品

- ・ハンドル
- ・ドア
- ・錠前
- ・上下枠
- ・ドアクローザ
- ・たて枠
- ・丁番



## ■ドアクローザ(自閉装置)

- 開けた扉を自動的に閉める装置で、ストップ付きとストップなしの2種類の商品があります。(ストップ付は90°以上開けたときに、閉鎖時90°でストップします。閉まる方向に力を加えるとストップは解除されます。)
- ドアクローザは引渡し時に閉鎖速度調整をしておりますが、使用中に閉鎖速度が変化してきますので定期的な点検が必要です。また、同室内で扉以外の開口部(窓など)が開いていると、風の流動により閉鎖速度が速くなったり完全に閉まりきらない場合がありますので注意してください。



## ■閉鎖速度の調整方法

- ドアの閉鎖速度は、ドアクローザ本体の調整バルブ横の第1、第2速度調整弁を確認し、ドライバーで調整してください。(調整は、2mm程度の微小な回転で行ってください。)
- ドアを強くすばやく閉める場合は、ラッチングアクション調整ねじを反時計方向に回転すると、すばやくドアが閉まります。ただし、BL認定ドアクローザーについては、速度調整は、ドアの閉鎖速度の調整が必要な場合は、建物管理責任者、施工業者または当社にご連絡ください。

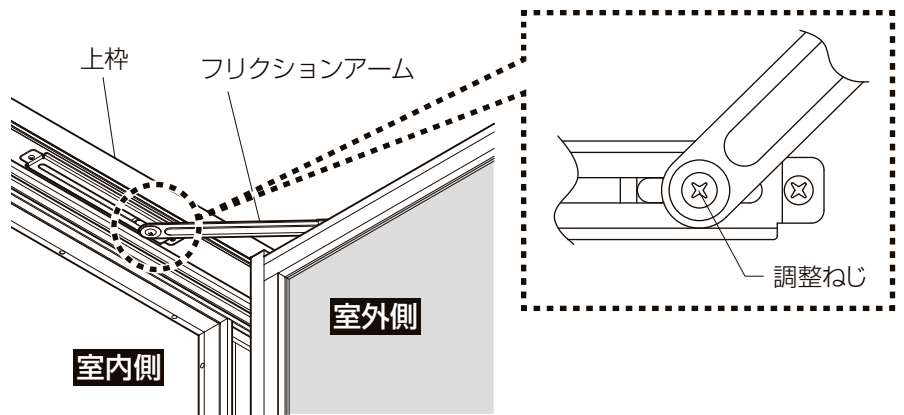
## ■お手入れについて

- 本体およびアーム、取付ブラケットの取付ねじやアームの連結ねじにゆるみが生じていないか時々点検して、締め直してください。締め付けがゆるいと落下や故障の原因になります。
- ドアの開閉で異常が感じられた場合は、メンテナンス方法に従い、点検と調整をおこなってください。(調整が難しい場合は、施工業者様に調整を依頼してください。)
- ドアクローザの調整弁は、ゆるめすぎると弁が抜け油洩れしますので、ゆるめすぎないようにしてください。  
※ドアクローザ本体が油もれをした場合は、閉鎖速度の調整が不可能になり危険ですので、交換の必要があります。  
※ドアクローザは、保証期間が2年になっています。

## ■フリクションアーム(PRESEA-H)

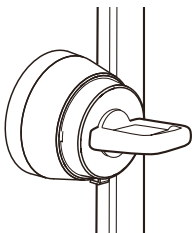
### ■メンテナンス方法

- 開け放したドアが風で閉まったりバタついたりするおそれがある場合は、調整ねじを右に回して開閉をきつくしてください。

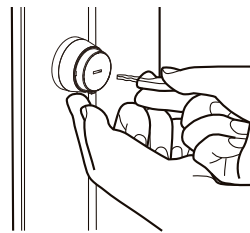


## ■セキュリティサムターン(オプション)

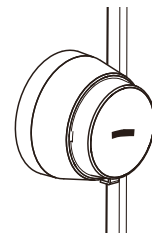
- 防犯のため、就寝時や外出時は、室内側のサムターンを取外してください。
- 室内側に付いているサムターンは、ボタンを押すだけで簡単に取外すことができます。万一ガラスを割られて外から手を入れられても、サムターンがないため鍵が開けられないシステムです。(なおサムターンのキーで外部シリンダーは操作できません。)



サムターンが装着されている状態



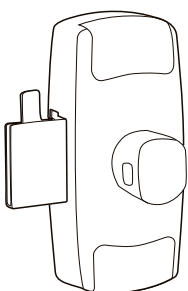
シリンダー下部のボタンを押すだけでサムターンを取外せます。



サムターンを取外した状態

## ■面付本締め錠(防犯仕様)

- サムターンは普通に回すだけでは空転して施解錠できません。サムターンの両側のボタンを指ではさんだまま押して回してください。

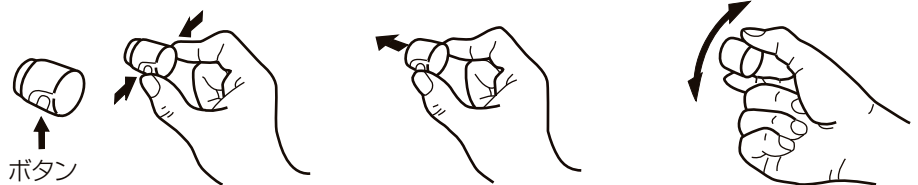


### サムターンの使用方法

1 ボタンをはさむ

2 はさんだまま押す

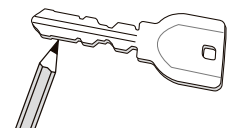
3 押したまま回す



## ■錠前

### ■日常の簡単なメンテナンスの方法

- ①キーの抜き差しや回転が悪くなったら、鉛筆(軟らかい芯)の粉や黒鉛粉または、シリンダー専用潤滑剤を使用してください。鉛筆を使用する場合は、キーの切り込み面を鉛筆でなぞったあと、キーで抜き差しを数回行ってください。鍵穴には絶対に油を注さないでください。注入直後は良くてもホコリを吸着し、かえって動きを悪くします。
- ②錠・ストライク、ハンドルまたはノブの取付ねじに緩みが生じたら、ねじを締め直してください。

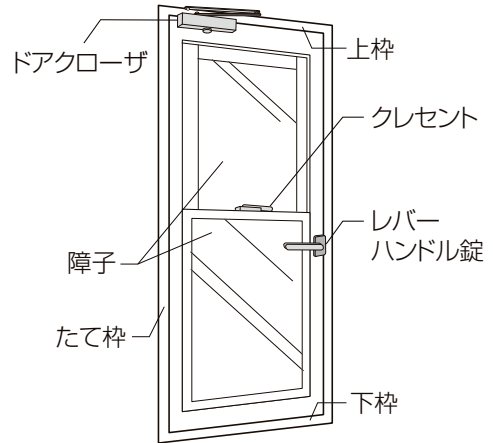


## ■通風ドア各部の名称

通風ドアの各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

- ・レバーハンドル錠
- ・クレセント
- ・ドアクローザ
- ・丁番
- ・障子
- ・上下枠
- ・たて枠

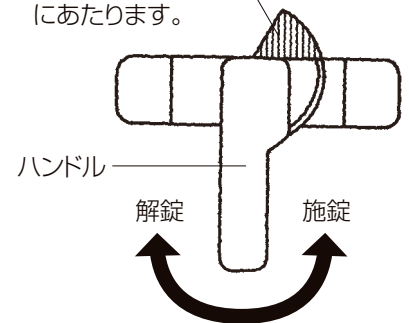


## ■ご使用上のお願い

### 【クレセント操作について】

- ハンドルを左に180°回転させてから障子の開閉を行ってください。ハンドルを途中で止めると、障子に当たり形材にキズを付けたり、部品が破損したりします。
- 外出やおやすみの際には、上げ下げ窓を全閉しクレセントを掛けてください。

※この部分が外障子にあたります。



## ■メンテナンス時のお願い

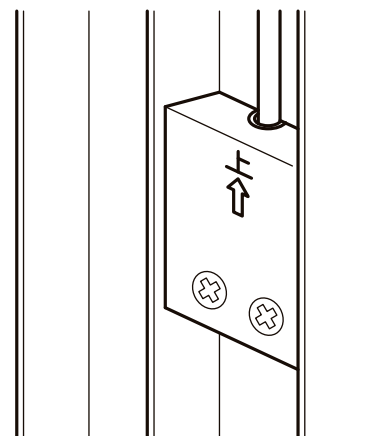
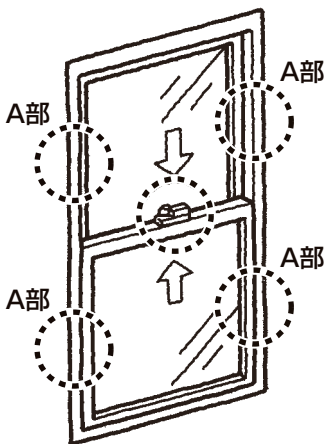
- 上げ下げ窓部の障子ストッパーは、ガラスの交換などのメンテナンス以外は外さないでください。外したときは、必ず取付けてください。手や指をはさむ原因になるおそれがあります。
- ※障子ストッパーは、左右両側についています。(下記A部)
- ※ドアクローザの調整方法、錠前のメンテナンス方法は、76頁をご覧ください。

## ■障子の開閉

### ■クレセント方式

- ①ハンドルを左に180°回してください。ロックが解除され、障子が移動可能になります。
- ※ハンドルは必ず180°回転させてください。ハンドルを途中で止めると、障子が当たり、破損します。
- ②閉めるときは、ハンドルが当たらないことを確認し、障子をスライドさせてからハンドルを回してロックしてください。

### ■A部詳細図(障子ストッパー)



### ▲ 注意

- 障子ストッパーはガラスの交換・クレセント受け調整以外は外さないでください。
- 外した時は必ず取付けてください。手や指をはさむ原因になるおそれがあります。
- ※障子ストッパーは左右両側についています。

※上下の障子がすれ違わないように、障子ストッパー部品が取付いています。商品に**注意ラベル**を貼付けしています。表示内容をお守りください。

## ■網戸の脱着

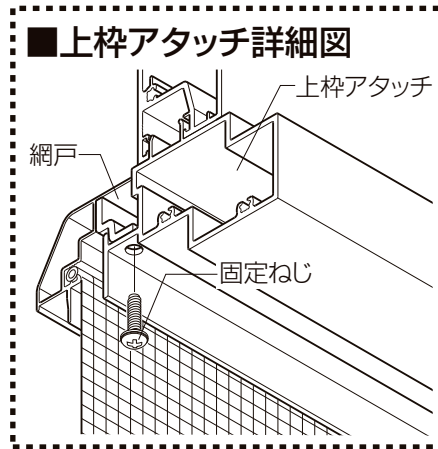
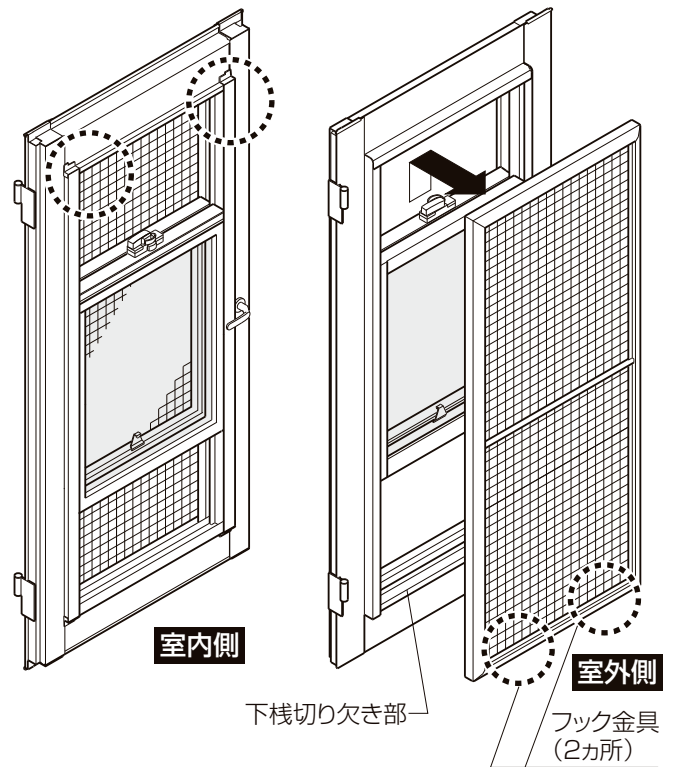
### ■網戸を取外すには

- ①窓を全開し、室内側から上枠アタッチ固定ねじ(2カ所)を外します。
- ②室外側から網戸の左右をつかみ、持上げながら外します。

### ■網戸を取付けるには

- ①室外側から網戸のフック金具(2カ所)を下棧の切欠きに差込み、網戸を持上げながら上部をかぶせます。
- ②室内側からねじを固定します。

## 上枠アタッチ(2カ所)

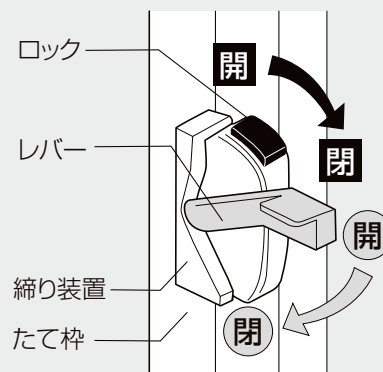


# シーガルウィンドウの取扱い

□シーガルウィンドウ

## ▲注意

- 風の強いときは窓を閉めて、必ず錠(締め装置)をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下等のおそれがあり、思わぬケガや事故につながります。

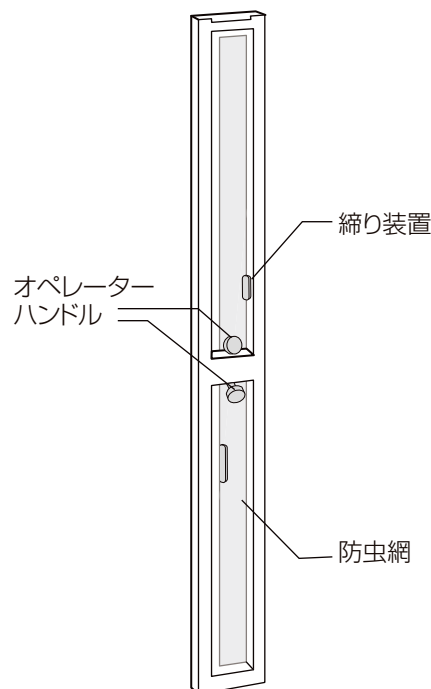


## ■シーガルウィンドウ各部の名称

シーガルウィンドウの各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

- ・オペレーターハンドル
- ・締め装置
- ・防虫網

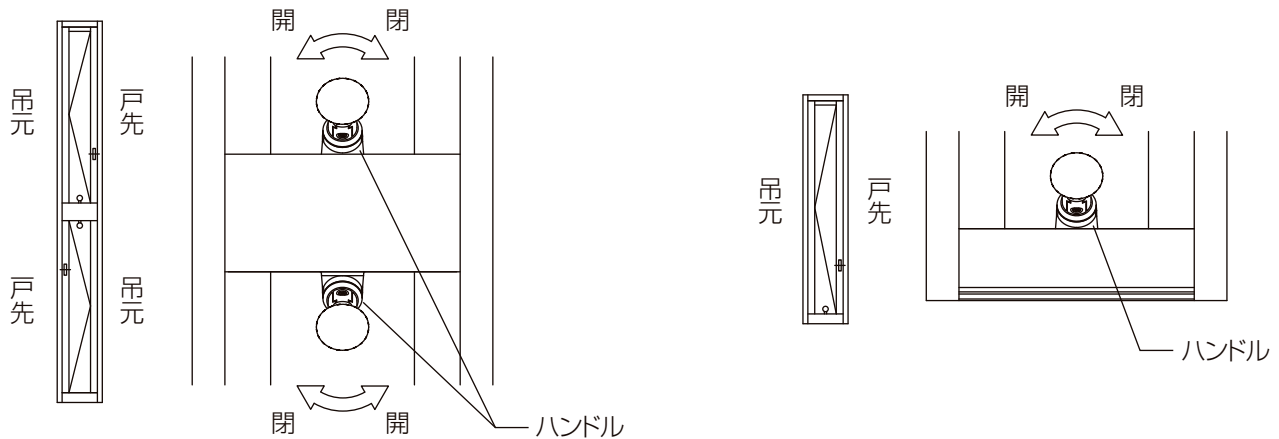
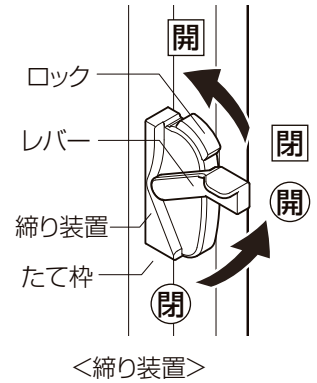


## ■ご使用上のお願い

- 障子を開けるときは、必ず締め装置を解除(ロック、レバーを開の位置)してから行ってください。障子や金物が破損するおそれがあります。
- 障子の開けきり、閉めきり付近において、ハンドルの回転が重くなったら、それ以上回さないでください。破損のおそれがあります。特に開放方向では、障子は50°程度しか開きませんのでそれ以上回さないでください。
- 障子を閉めた後は必ず錠(締め装置)をかけてください。障子が引き寄せられず、サッシの諸性能(耐風圧、気密、水密等)が保持できません。
- 雨天の場合は障子を開けたままにしないでください。雨水の浸入が原因で思わぬところから水漏れをするおそれがあります。
- 障子が開いた状態で、障子をもって内外にゆすると動きます。これは、機構上によるもので不具合ではありません。

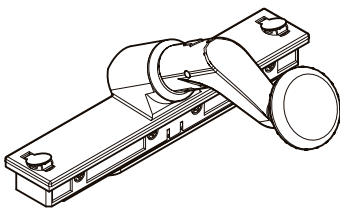
## ■障子の開閉

- ①錠(縮り装置)のロックを**開**位置にし、レバーを**開**位置にして開錠してください。
- ②ハンドルを回すと障子が開きます。(約50度)
- ③ハンドルを逆に回すと障子が閉まります。(障子の開く向きとハンドルを回す方向は下図の通りです。障子の戸先-吊元が逆の場合、ハンドルを回す方向は下図とは逆になります。)
- ④障子を閉めたら必ず縮り装置のレバーを**閉**の位置にしてください。

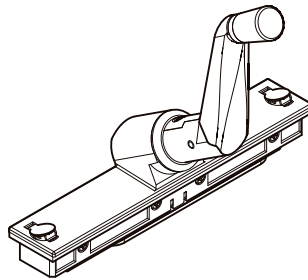


## ■ハンドルの種類(オプション)

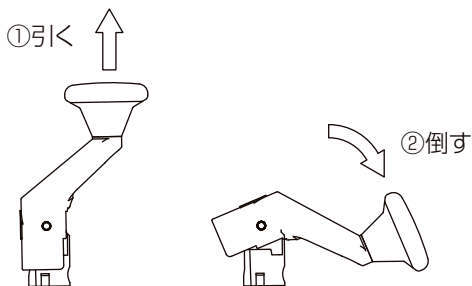
### ■オプションハンドルA



### ■オプションハンドルB



- オプションハンドルは下図のようにハンドルを引くと折りたためます。



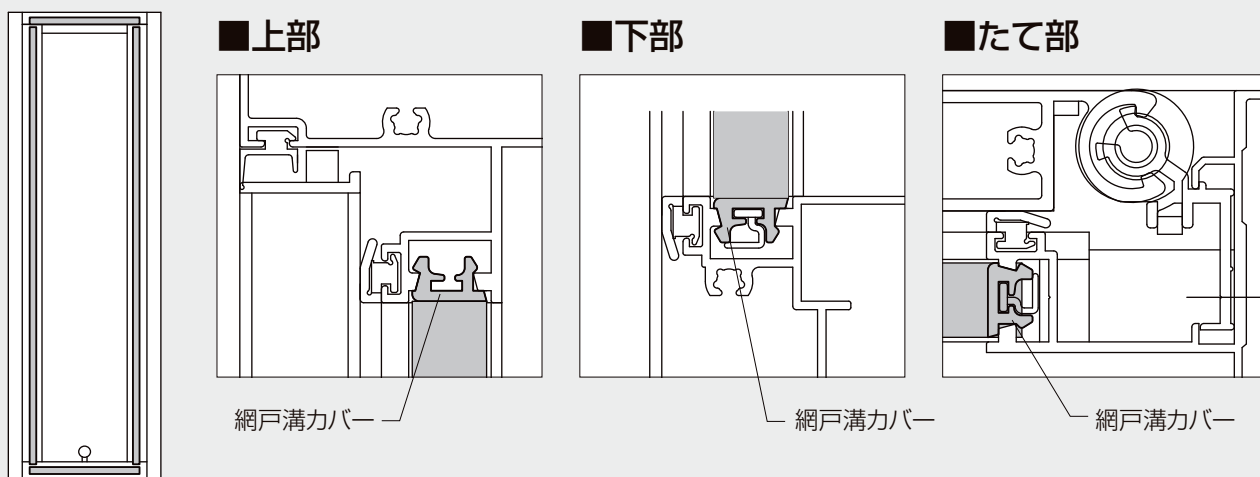
※開閉の際はハンドルを引いた状態のまま操作しないでください。故障の原因になります。

# シーガルウィンドウ用網戸の取扱い

□シーガルウィンドウ

## ▲注意

- 網戸を外したままにしないでください。また網戸無し仕様時に取り付ける溝力バーは外さないでください。雨漏りの原因になるおそれがあります。



## ■ご使用上のお願い

- 網戸によりかかったり、網を押ししたりしないでください。網がたるんだり、網戸本体や網が外れるおそれがあります。(図1)

- 網戸の取付け、取外しは本取扱い説明書内の手順・注意事項を守ってください。  
網戸を破損するおそれがあります。

- 網戸の網や網を押さえているアタッチメントおよび網戸溝力バーは樹脂部品です。  
直接日光があたったり、ご使用いただいている立地条件や自然環境によって、劣化が早く進むことがあります。時々点検をして、網の破れ、大きなたるみ、網の外れ、アタッチメントのひび割れなどが無いか確認してください。異常があれば早めに交換してください。



図1

## ■網戸の防虫性について

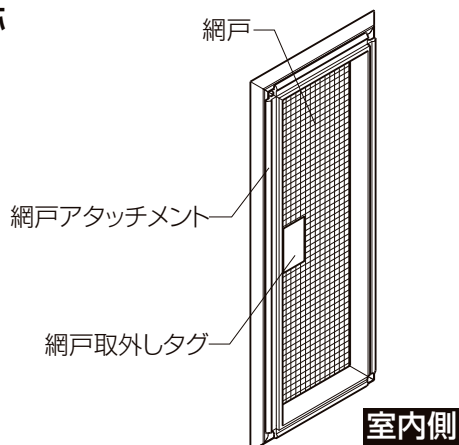
- 網戸の防虫性は、網目より大きい蚊などを防ぐ効果があります。しかし、使用環境によっては、網目より小さい虫やはい回る虫などの防虫性が劣る場合があります。

## ■網戸の特徴

- 本製品はお客様が網を外して水洗いや破れによる交換(取外し・取付け)できる構造にしていますので、お客様が簡単に交換できます。そのため、一般的な網戸とは違い、網の張り状態を緩めに設定しています。

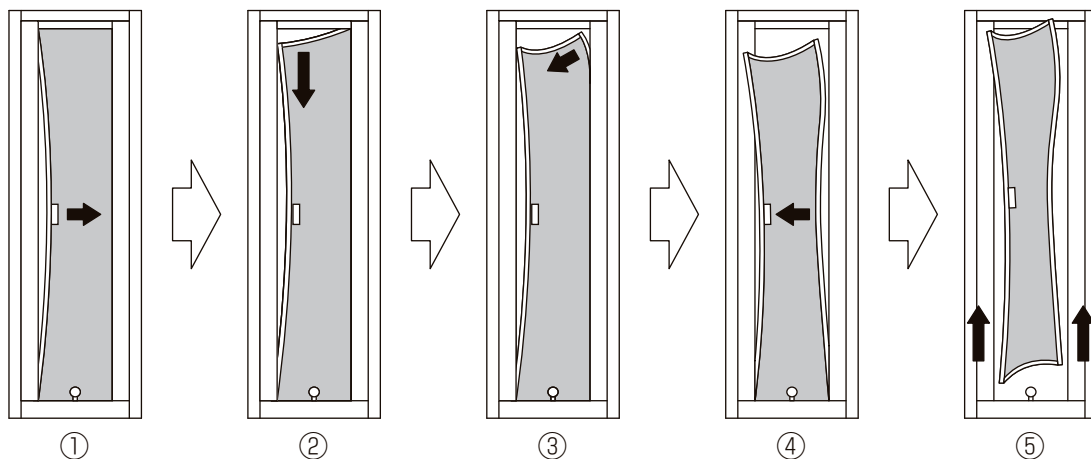
## ■ 網戸付き仕様

### ■ 網戸各部の名称



### ■ 網戸の取外し

#### ● 網戸の取外し順序



① 網戸取外しタグを持ち、横方向に引っ張り、たてのアタッチメントを外してください。

※アタッチメントは上下コーナー部付近を除き全長を外してください。

② 次にたてのアタッチメントを下方へゆっくりと引っ張り、上のアタッチメントのコーナー部を外してください。

③ さらに上のアタッチメントをゆっくり横方向に引っ張り、反対側のたてのアタッチメントのコーナー部を外してください。

④ たてのアタッチメントのコーナー部が外れたら、残りの部分は横方向に引っ張って外してください。

⑤ 両側のたてのアタッチメントが外れたら、下のアタッチメントのコーナー部付近のたてのアタッチメントをゆっくり上方に引っ張って、下のアタッチメントを外してください。

(上図はハンドルが下側にある場合を示します。ハンドルが上側にある場合は、上下のアタッチメントを外す順序を逆にしてください。)

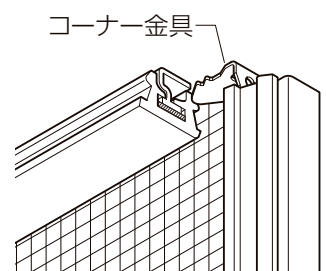
#### お願い

※アタッチメントは、手前に引かないでください。

横方向、上下方向ともまっすぐゆっくりと引っ張ってください。

外し方により網戸のコーナー金具が外れたり、破損する場合があります。

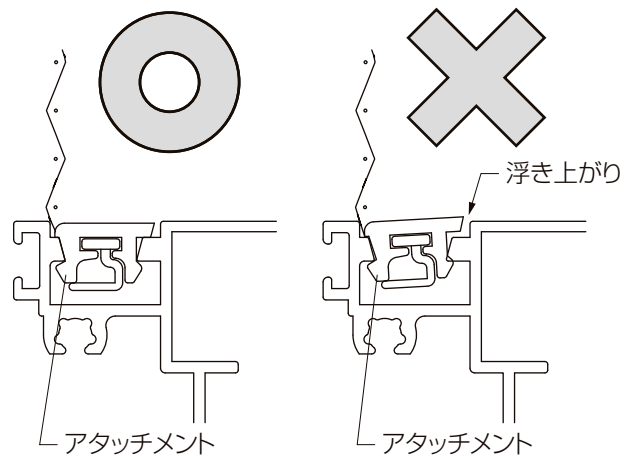
コーナー金具が外れたり破損した場合は網戸の交換をしてください。



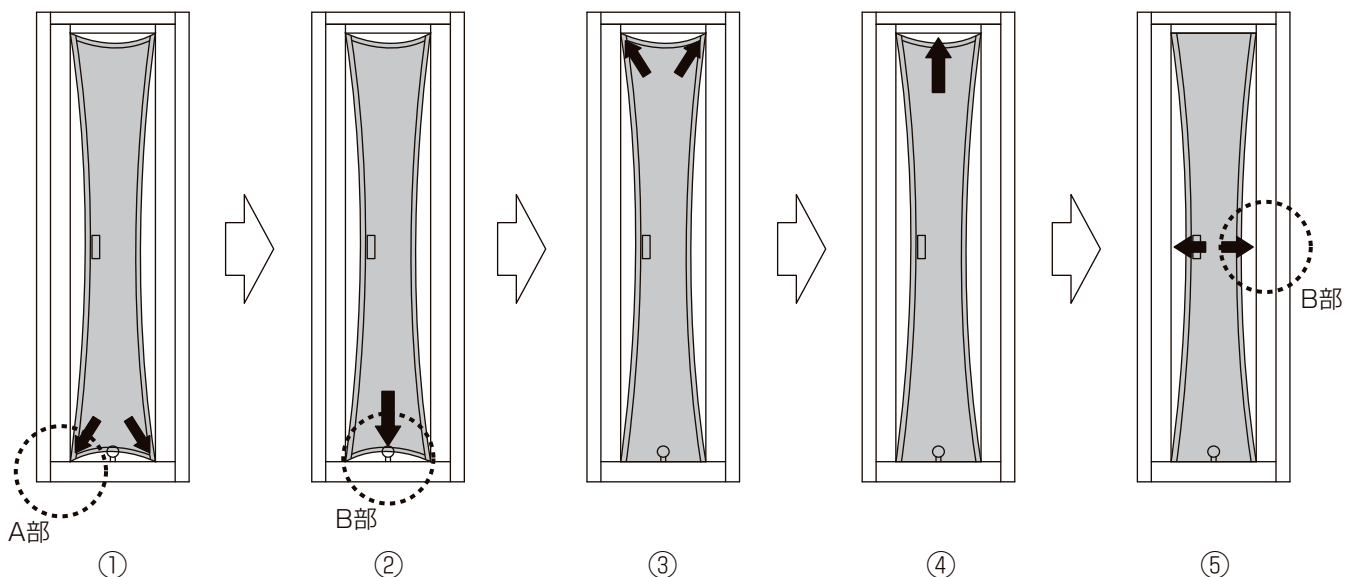
## ■網戸の取付け

### お願い

- ※取付け前に、サッシ枠の溝部のゴミを除去してください。
- ※アタッチメントは、最後まではめ込んでください。サッシ枠よりも浮き上がっている状態では、最後まではめ込まれていません。この場合、気密性能が低下し、サッシの諸性能(気密、水密等)が保持できません。



## ●網戸の取付け順序



網戸アタッチメントを、枠の面の溝部へはめ込んでください。

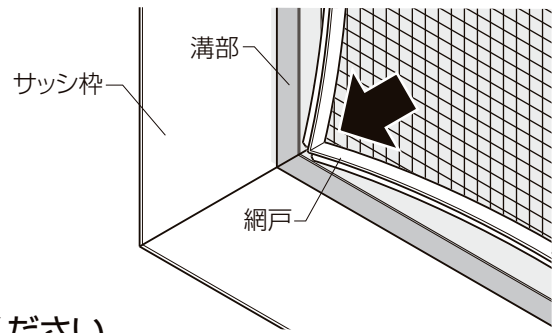
- ①アタッチメントコーナー部を、ハンドルがある側の枠のコーナー溝部へ押し込みはめ込んでください。(A部)  
※アタッチメントは樹脂製のため、たわませながらはめ込みできます。
- ②残りの直線部をはめ込んでください。(B部)
- ③④同様にハンドルがない側の枠の溝部にアタッチメントをはめ込んでください。
- ⑤両たてのアタッチメントをはめ込んでください。(B部)  
※コーナー部の網が、シワにならないようにアタッチメントをはめ込んでください。

お願い

■A部詳細図

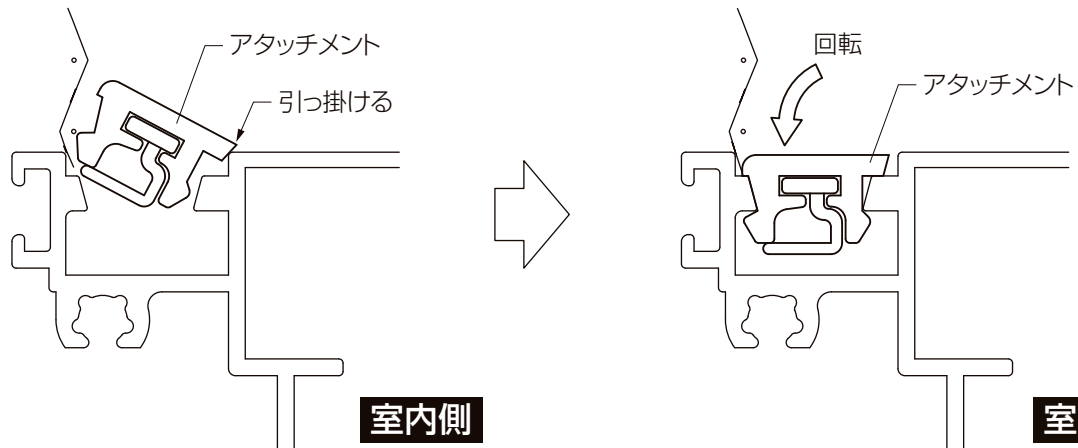
※アタッチメントは、ねじらないでまっすぐはめ込んでください。

※アタッチメントの角を枠の角に合わせてください。



■B部詳細図

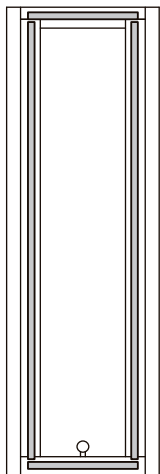
※室内側を先に引っ掛け、回転させてはめ込んでください。



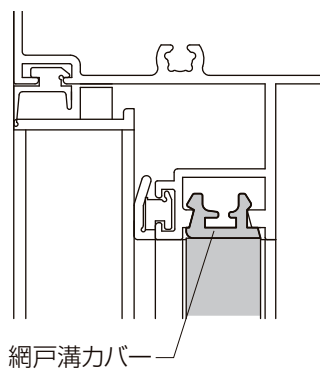
■網戸無し仕様

■網戸溝カバー

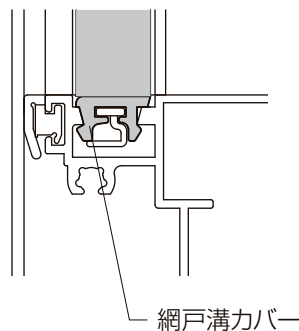
網戸を取付けない場合には枠の溝部にカバー材がはめ込まれています。



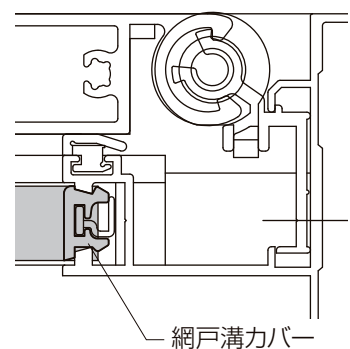
■上部



■下部



■たて部



# シーガルスリットの取扱い

□シーガルスリット

## お願い

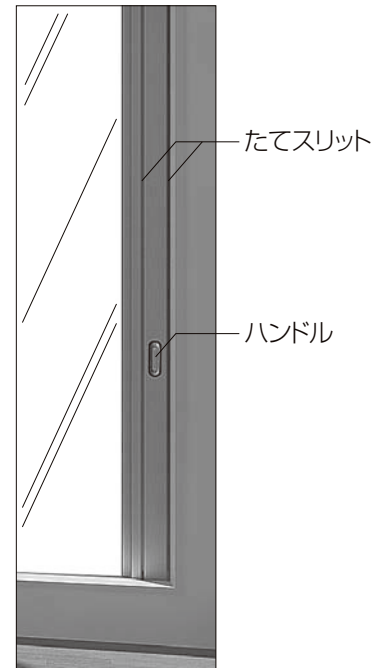
- 降雨時は、必ず錠(ハンドル)をかけてください。錠をかけないと雨水が室内に入るおそれがあります。

## ■シーガルスリット各部の名称

シーガルスリットの各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

- ・ハンドル



内観イメージ

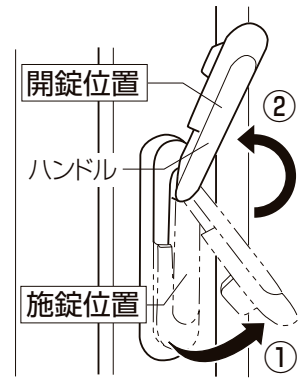
## ■ご使用上のお願い

- ハンドルを回すときは商品に張付けしてあります操作ラベルの記載手順をお守りください。
- ステンレス網に、ほこりをためないように、時々清掃してください。  
十分な換気が出来なくなるおそれがあります。
- ステンレス網の清掃は先端ブラシ付きの掃除機で吸い取るか、雑巾で軽く拭いてください。  
先端ブラシの無い掃除機で吸ったり、拭く時に網を強く押すと、網が変形したり外れるおそれがあります。
- ステンレス網を清掃する際に外すカバーは、まっすぐ引っ張らず、下端からカバーをねじりながら片側ずつはめ合いを外してください。  
まっすぐ引っ張ると、カバーの変形や部品が破損するおそれがあります。

## ■換気装置の開閉

### ■換気装置を開けるとき

- ①施錠位置のハンドルを手前に引きます。
- ②そのまま、矢印の方向に180°、開錠位置までハンドルを回します。  
これで換気装置は開いた状態になります。  
(矢印の方向は操作ラベルに記載されています。)



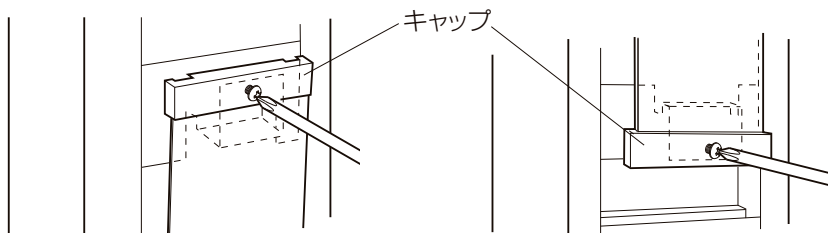
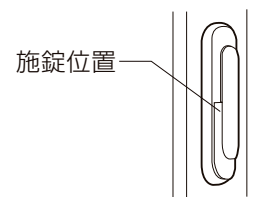
### ■換気装置を閉めるとき

- 逆の手順でハンドルを操作して施錠位置に戻して、換気装置を閉めます。

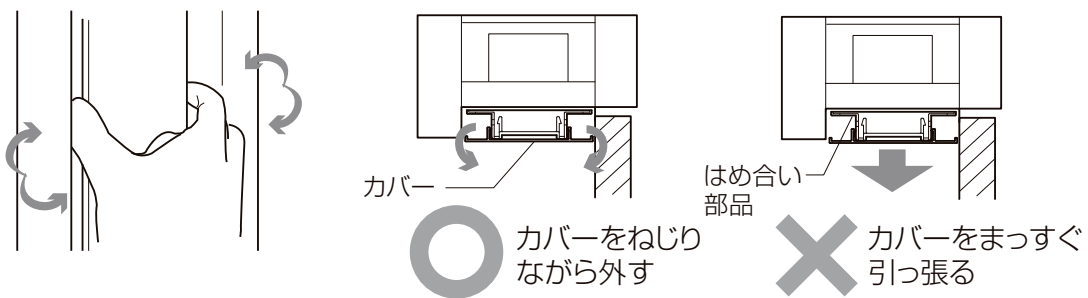
## ■ステンレス網の清掃方法

### ■カバーの外し方

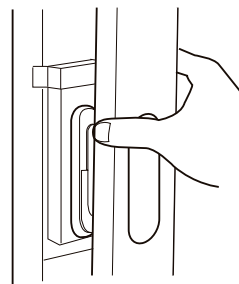
- ①ハンドルが施錠位置にあることを確認してください。
- ②カバー上下のキャップのねじを外してください。  
(外したねじは清掃後につけ直すまで、無くさないように保管してください。)



- ③カバーを持って下端からねじりながら片側ずつはめ合いを外してください。  
まっすぐ引っ張ると、カバーの変形や部品が破損するおそれがあります。

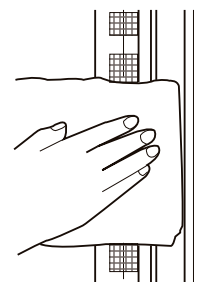


- ④はめ合いがすべて外れたら、カバーを手前に引いて取り外してください。



### ■清掃方法

- ステンレス網を先端ブラシ付きの掃除機で吸い取るか、雑巾で軽く拭いてください。  
網を強く押すと、変形したり、外れるおそれがあります。



# インプラスの取扱い

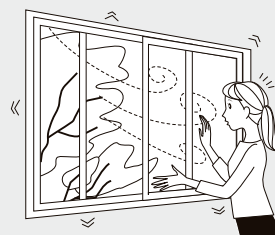
□インプラス

## ▲ 注 意

「インプラス」は、既存外窓の内側に取り付けることを前提とした商品です。外窓と比較すると耐風圧強度や水密性能が低いいため、以下のことに注意してご使用ください。

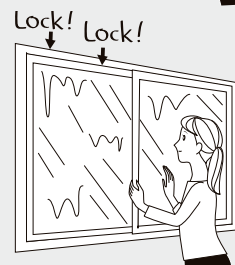
- 風が強い時は、「インプラス」の外側の外部サッシも必ず閉めてください。

「インプラス」は既存外窓の内側に取り付けることを前提としていますので、耐風圧強度は外窓より低くなっています。外窓が開いている状態で「インプラス」に強風が当たると、障子が脱落して事故やケガにつながる可能性があります。



- 雨が降りこむときは、外部サッシも閉めてください。

「インプラス」は水密性能は考慮されていません。外窓が開いている状態で「インプラス」に雨が当たると、室内側に漏水する可能性があります。



- 上下枠や額縁などにぶらさがったりしないでください。

重さによって破損や脱落したりして、事故やケガにつながる可能性があります。



- ガラス障子に寄りかからないでください。

障子はずれたり、ガラスが割れたりして、事故やケガにつながる可能性があります。



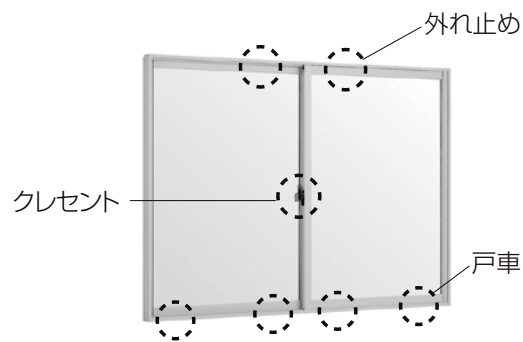
- 引違い窓の障子の建て込み・建付け調整後、必ず外れ止めを取付けてください。障子が落下するおそれがあります。

## ■インプラス各部の名称

引違い窓の各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

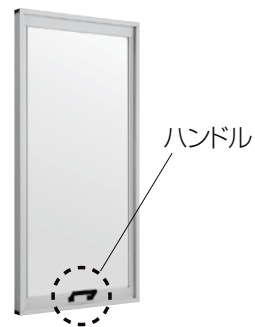
- ・クレセント
- ・外れ止め
- ・戸車



FIX窓の各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

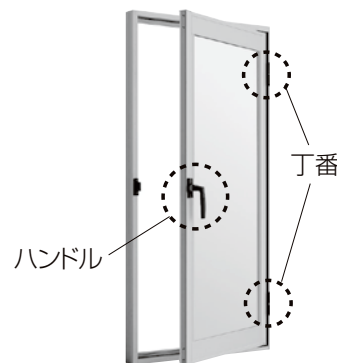
- ・ハンドル



開き窓・テラスの各部の名称は、下記のとおりです。

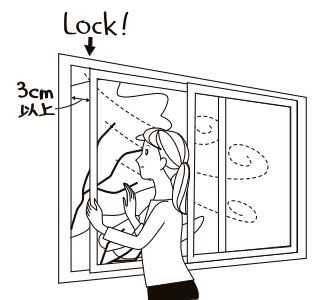
### 主要な部品

- ・ハンドル
- ・丁番

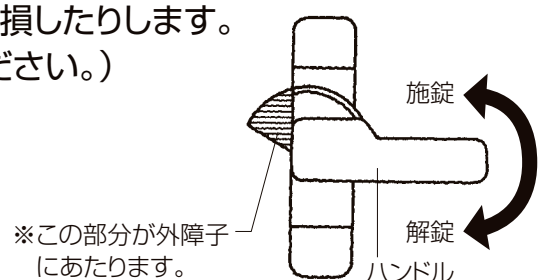


## ■ご使用上のお願い

- マンションなどで、台風など特に強風時に、外部サッシをしっかりと閉めた上で、「インプラス」を3cm以上開けてください。台風などの強風時に玄関や外気に面した窓が開くと、急激な負圧が「インプラス」にかかり、障子が外れるおそれがあります。

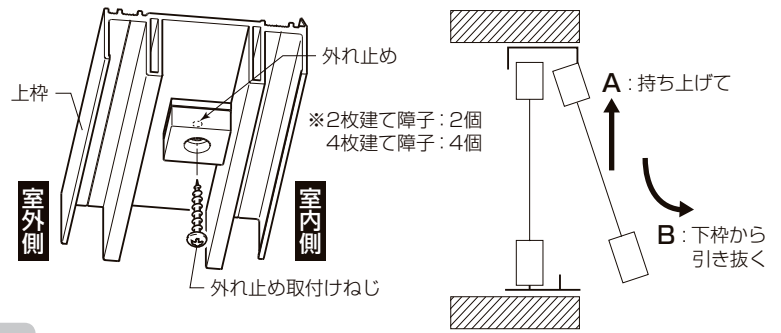


- オプションでクレセントが付いている場合は、ハンドルを下に180°回転させてから障子の開閉を行ってください。ハンドルを途中で止めると、障子に当たり型材にキズを付けたり、部品が破損したりします。(ロック付き、キー付きはその解除を先に操作してください。)



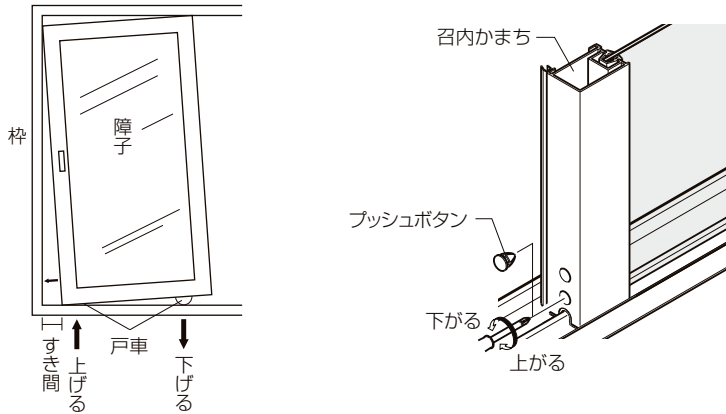
## ■引違い窓の障子のとりはずし方

- 障子をはずすときは、下記を参照してください。
- ①上枠に付いている「外れ止め」をはずします。
  - ②内側の障子からA→Bの手順ではずします。
  - ③同じ要領で外側の障子をはずします。
- ※再度障子を建て込む際は、逆の手順で行います。



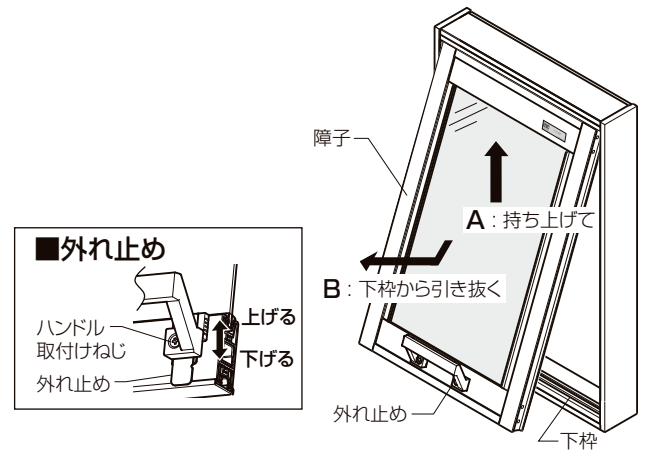
## ■引違い窓の戸車調整(建付け調整)

- 開口部に狂いが生じて、建付けが悪いときに、戸車の高さ調整をしてください。
- ①障子の下端にあるプッシュボタンをいったんはずし、調整ねじを回し、高さを調整します。
- ※障子を上げたい場合……右に回す(時計回り)  
障子を下げたい場合……左に回す(反時計回り)
- ②調整後はプッシュボタンを戻してください。



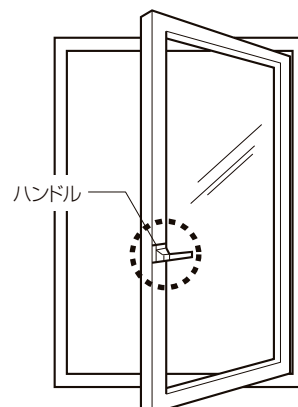
## ■FIX窓の障子のはずし方

- ①ハンドル右側の取付けねじを反時計回りにゆるめ、外れ止めにいっぱい上げてください。
  - ②ハンドル右側の取付けねじを時計回りに締め付け固定します。
  - ③A→Bの手順で外します。
- ※再度障子を建て込む際は、逆の手順で行います。



## ■開き窓・テラスドアの障子の開閉

- ①ハンドルを上90°回してください。(ロックが解除され、障子が開閉可能になります。)
- ②ハンドルを持ち、手前に引いてください。
- ③障子を閉めたら必ずハンドルを下向きにロックしてください。



# 手すり(ベランダ・廊下用)の取扱い

## ▲ 警 告

人の転落・製品の破損による被害のおそれがありますので、下記事項を守ってください。

- 製品の上には絶対にのらないでください。転落するおそれがあります。
- 製品から身をのりださないでください。

※お子様が手すりの側にいるときは、絶対に目を離さないでください。また、手すりの近くには、植木台や箱などのように足掛かりとなる物を置かないでください。



## ■保守点検について

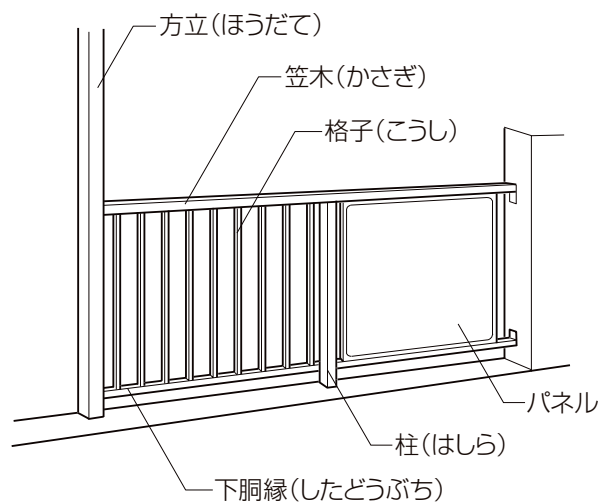
ご使用中に不具合が発生することがあります。そのまましておきますと、手すりが破損し、人身事故などの原因になるおそれがあります。次の様な不具合がないかどうか、お手入のときなどを利用して点検してください。

- 手すりを手でゆするとグラグラする。
- 格子(パネル)や部材が外れたり、曲ったりしている。
- パネルに大きなキズや、ひび割れがある。
- ねじや部品などが外れたり、ゆるんでいる。
- 部材や部品が腐食している。
- 柱の埋込み部や建物との取付け部に腐食や、コンクリートのひび割れがある。

※上記の不具合があった場合は、建築物の管理責任者・販売店・施工店または、当社支店・営業所へご連絡ください。

※その他、日常点検において、開閉や施錠等に不具合を発見された場合は、早急に弊社へご相談ください。

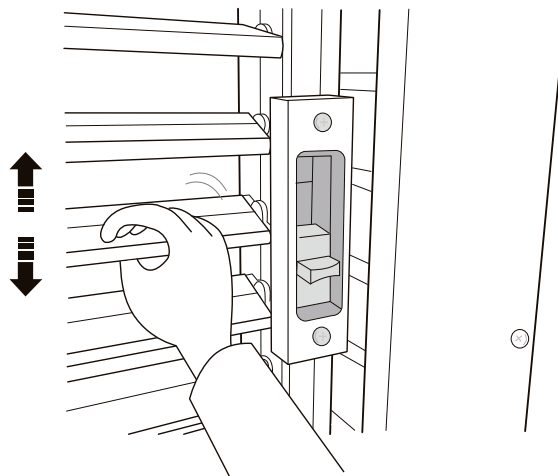
※メンテナンス、修理は必ず販売店、弊社の地域ごとの営業事業所またはLIXIL修理受付センターへご用命ください。



# Vルーバの取扱い

## ■ご使用上のお願い

●開閉操作はルーバーを手で持って行わないでください。故障の原因となります。

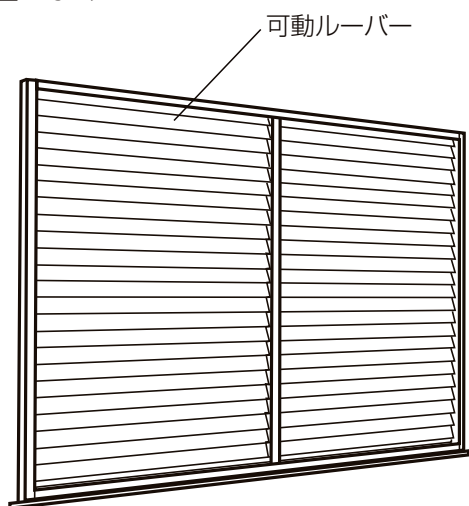


## ■Vルーバ各部の名称

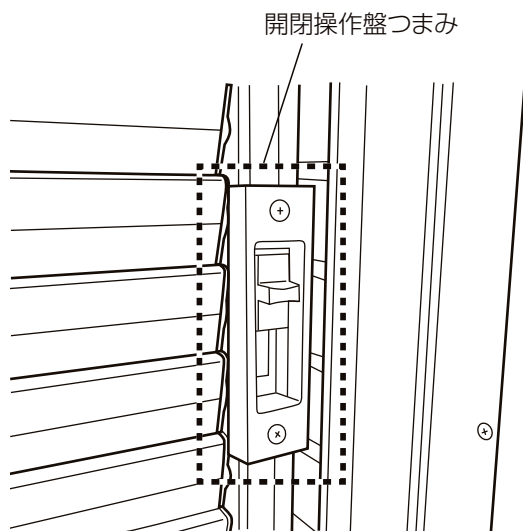
Vルーバの各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

- ・可動ルーバー
- ・開閉操作盤つまみ



室外側



室内側

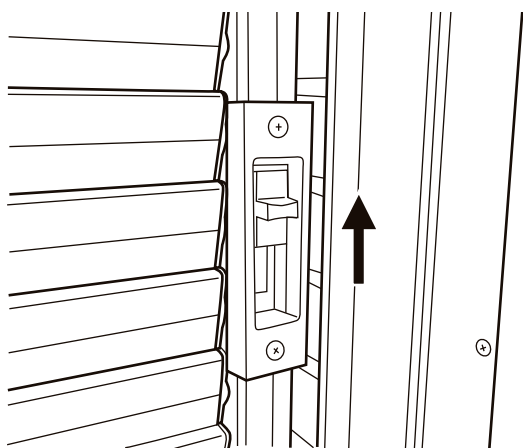
## ■操作方法

- 開閉操作盤のつまみを上下させることで、ルーバーの角度調整ができ、その位置でルーバーが自動的に固定されます。
- ・一般タイプは左右どちらか1個所に開閉操作盤がつきます。
- ・中方立付の場合は、左右に1個所ずつに開閉操作盤がつきます。
- ・上下分割可動仕様の場合は、片側の上下2個所に開閉操作盤がつきます。

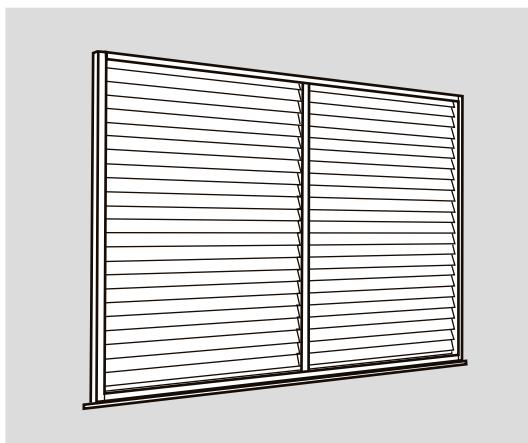
## ●閉めるとき

- 開閉操作盤のつまみを上いっぱいに移動させると、全閉状態になります。

内観



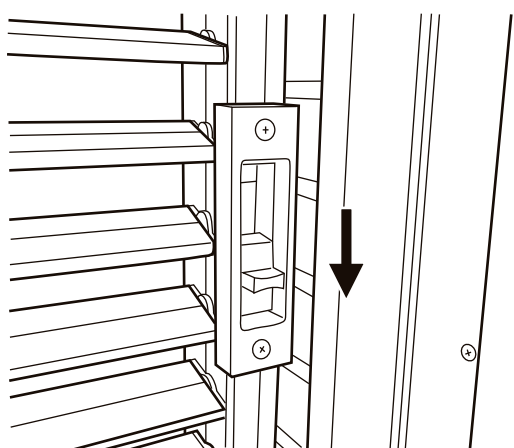
外観



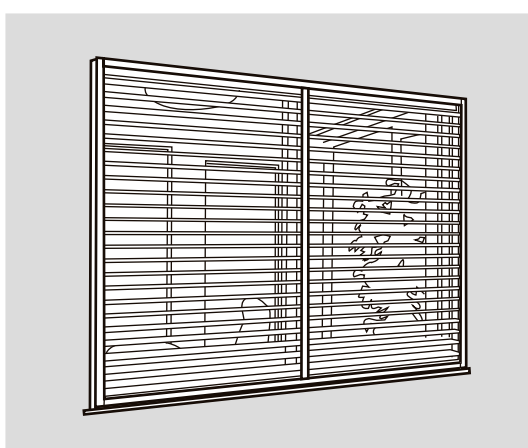
## ●開けるとき

- 開閉操作盤のつまみを下いっぱいに移動させると、全開状態(ルーバーがほぼ水平)になります。

内観



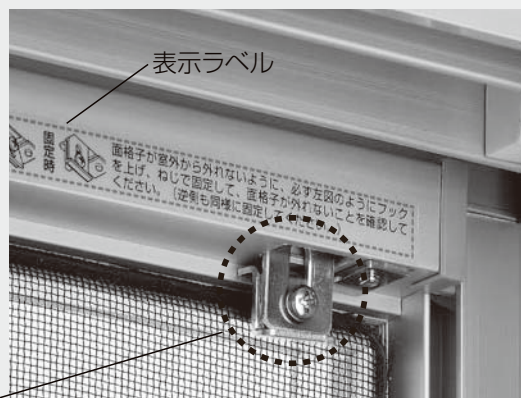
外観



# 網付面格子の取扱い

## ▲ 注意

●お手入れなどのために面格子を外した後、再び窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ず所定の位置にセットし固定してください。またご使用中、外れ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。外れ止め部品が正しくかかっていないと、面格子の落下による事故(人身・物損)につながるおそれがあります。



外れ止め部品

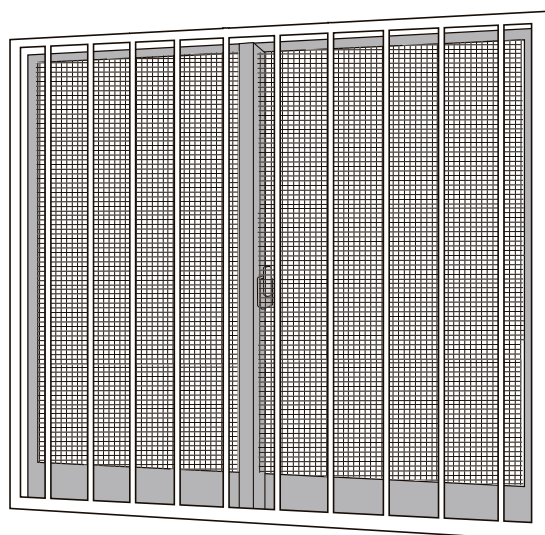
室内側

## ■ 網付面格子各部の名称

網付面格子の各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

- ・面格子一体防虫網
- ・外れ止め



室外側

## ■ 網付面格子の取付け・取外し方法

### ● 取付け方法

- ① 上部外れ止め部品(フック)のねじを緩め、上枠の外れ止め部品をいっばいに下げます。(図1、4)
- ② 中棧がある場合には中棧外れ止め部品のねじを緩め、壁側に寄せます。(図1)
- ③ 網付面格子本体を建て込みます。(図2)
- ④ 上部外れ止め部品を上げてねじで固定し、次に中棧の外れ止めを中央側に寄せてねじで固定して面格子が外れないことを確認してください。(図3、4)

図1 取外し時外れ止め

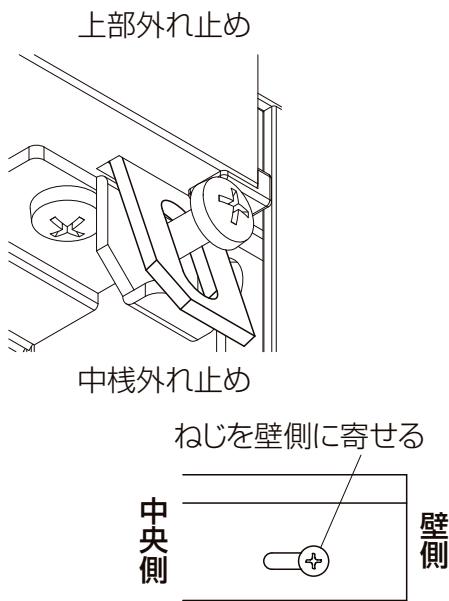
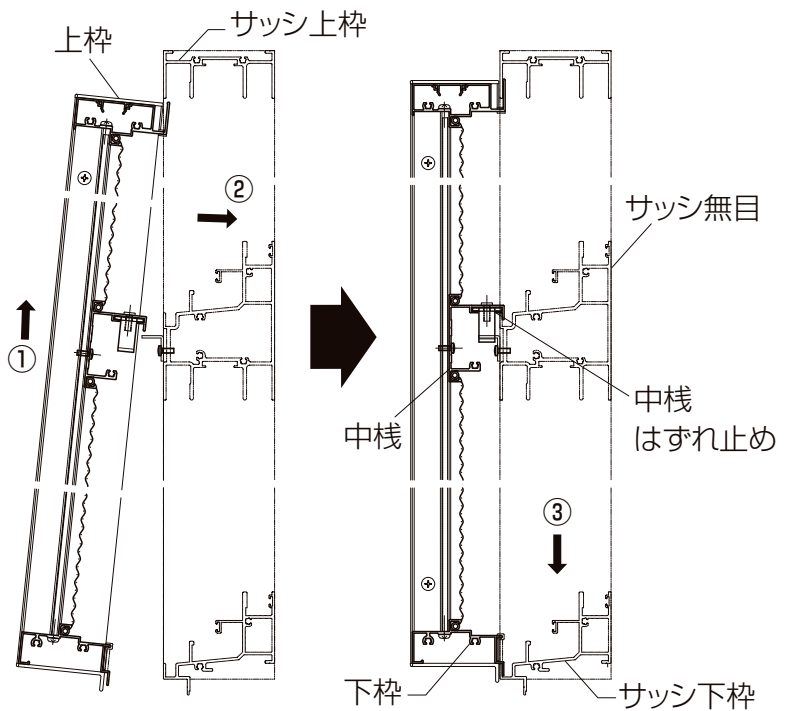


図2 建て込み方法



※面格子に中棧が取り付けられている場合は中棧をサッシ無目にひっかけて取付けてください。

図3 取付け時外れ止め

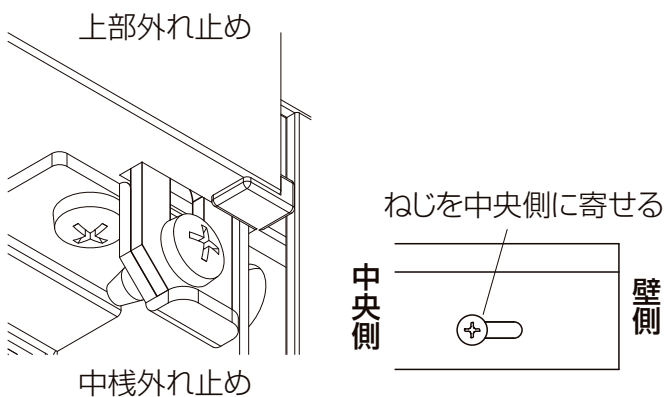
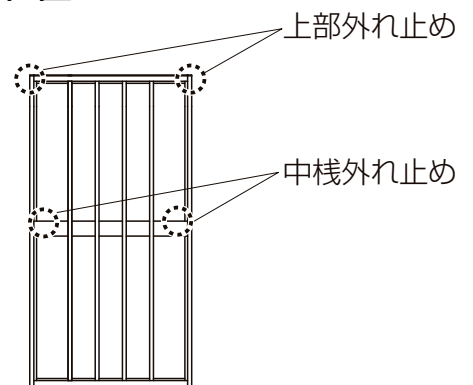


図4 外れ止め位置



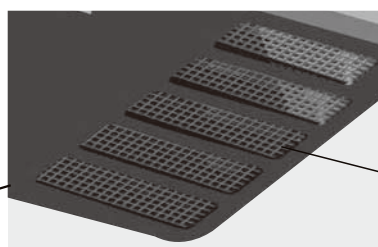
### ● 取外し方法

- 取外しは、取付けと逆の手順で行ってください。

# 換気口用消音ボックス(クレール)の取扱い

## お願い

- 本製品は自然換気(第3種換気方式=自然給気+機械排気)用として外壁ダクト端末部に取付ける給気専用の換気ボックスです。台所等油煙の多い場所では使用しないでください。(目詰まりによる換気量不足の原因となります。)
- 清掃は、普通の汚れの場合水で濡らしたやわらかい布かスポンジで拭いた後、乾いた布で水分をふき取ってください。  
洗剤を使用する際は中性洗剤を用い真水で十分洗い流してください。残っていると腐食の原因となります。
- 吸気口防虫ネットは目詰まり防止の為、定期的に外部側よりはたきややわらかい布で破損に注意の上土ぼこり等を落としてください。掃除機での吸引や、ブラシで強くこすると内部吸音材や防虫ネットが破損するおそれがありますので使用はお控えください。



吸気口防虫ネット

- 本製品は焼付け塗装を施しております。洗剤を含め酸性またはアルカリ性の溶剤は腐食や変色の原因となりますので使用はお控えください。

## ■換気口用消音ボックス(クレール)各部の名称

換気口用消音ボックス(クレール)の各部の名称は、下記のとおりです。

### 主要な部品

- ・換気口用消音ボックス本体
- ・吸気口防虫ネット



本体

吸気口防虫ネット

# アフターメンテナンスについて

## 保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。  
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

## 修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、必ず販売店、弊社の地域ごとの営業事業所または「**LIXIL修理受付センター**」にご相談ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日またはご入居日 ※分譲住宅(建売)、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障または異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

## 個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、LIXILオフィシャルサイトの「**プライバシーポリシー**」をご覧ください。

## 点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター

## 点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。  
技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。  
部品代は、修理に使用した部品代です。  
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

## 修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品(商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含まれます。)の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。電装系部品については製造打ち切り後7年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打ち切り後2年としております。

※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。  
また、修理用部品の供給が難しい場合は新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

## 交換用部品について

お客さまご自身でお取替えいただける部品については、LIXILオフィシャルサイトよりご注文いただけます。

- LIXIL PARTS SHOP <https://partsshop.lixil.co.jp/shop/default.aspx>
- 掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店または当社お客さま相談センター ☎0120-126-001にご連絡ください。
- 大臣認定防火設備(個別認定)の場合、類似部品への交換や新たな部品の追加設置、ガラス破損時の交換等実施した場合、防火認定不適合になる可能性があります。必ず最寄りの弊社営業事業所に確認願います。

【安全・安心にご使用いただくには専門業者による定期的な維持管理が重要です】

日頃からサッシに異常が無いか、操作・作動状況の変化が無いかを注意していただき、異常を感じたら速やかに専門業者にご相談ください。

安全に係る部品として、引違い窓等の戸車、はずれ止め、ストッパーなどは、10年\*を目安に交換することを推奨します。異常が確認されない場合でも、時間とともに故障のリスクが高まる可能性があります。

(※使用環境により異なります。また保証期間ではありません。)





ビル商品取扱説明書

株式会社 LIXIL

納 付 書 (配布依頼書)

年 月 日

御中

工 事 名	
所 在 地	

上記工事の商品を正しく使用していただき、性能・機能保持のため、  
**ビル商品取扱説明書**を居住者さまにお渡しく下さい。

社名

キ リ ト リ

② ビル商品取扱説明書

株式会社 LIXIL

受 領 書

年 月 日

御中

工 事 名	
所 在 地	

上記工事の**ビル商品取扱説明書**を受領致しました。

施工者よりの引き渡し日 年 月 日

社名

キ  
リ  
ト  
リ

## 株式会社 LIXIL

---

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで  
受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ **0120-126-001** FAX. **03-3638-8447**

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は  
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで  
受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ **0120-413-433** FAX. ☎ **0120-413-436**

<https://www.lixil.co.jp/support/>

### 安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

### 個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 
- 写真は印刷のため、実際の色と異なる場合がございます。現物またはサンプルなどにてご確認ください。
  - 仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
  - 本カタログ掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。

株式会社 LIXIL



地球環境のためにLIXILは  
業界トップランナーとして  
先進的な取組をしています。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトから  
ご確認ください。

業務用	AG9000	02	2022.1.20 発行
-----	--------	----	--------------

